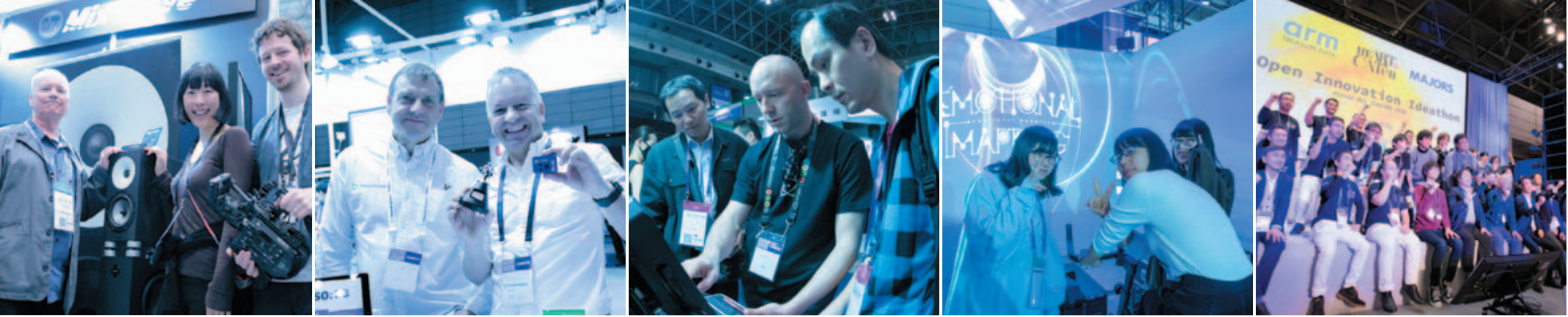


Broadmedia & Entertainment
Inter BEE

REVIEW 2018



INTER BEE ONLINE
www.inter-bee.com



#interbee2018



REVIEW 2018

WHAT WILL YOU DO NEXT?



Table of Contents

Graphic Report

Topics	02
DIGITAL CONTENT EXPO	04
INTER BEE IP PAVILION	06
INTER BEE 5G	08
4K8K	10
INTER BEE FORUM	12
INTER BEE EXPERIENCE	16
INTER BEE IGNITION	20
INTER BEE CONNECTED	24
INTER BEE CREATIVE	28

Ceremony Report

Opening Ceremony / Reception Party	32
--	----

Exhibition Report

News Center Pick up-1	34
News Center Pick up-2	36
News Center Pick up-3	38
News Center Pick up-4	40
Exhibit Map	42
Exhibitor List	48
Online Magazine Headline	50

Forum & Event Programs

INTER BEE FORUM	58
INTER BEE EXPERIENCE	62
INTER BEE IGNITION	63
INTER BEE CONNECTED	64
INTER BEE CREATIVE	66

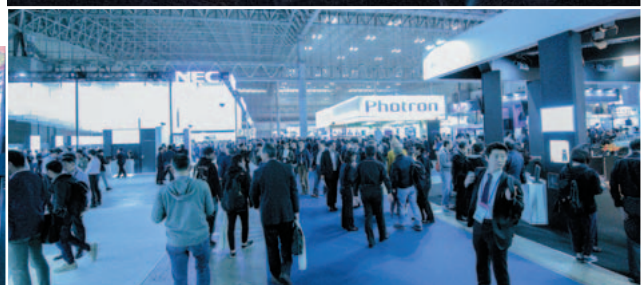
Results

Publication and Promotion	68
Visitor Profile	70
Exhibitor Profile	72
Exhibition Outline	73

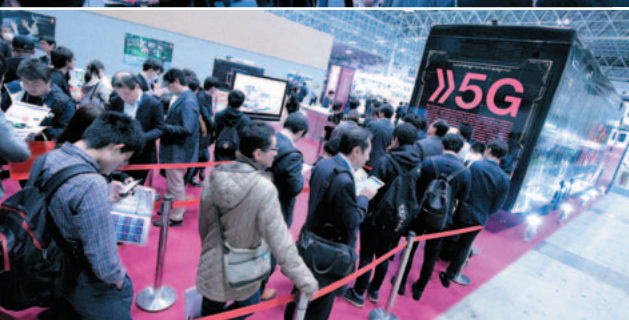
Photo by : Shigeharu Yoshihara
Akane Inagaki
Toshitaka Nakamura
KURANO PHOTO
Seiji Abe
Katsumi Miyasaka



Broadmedia & Entertainment



過去最多の40,839名が来場!



IP伝送、AI、5G、新技術への期待と可能性に注目

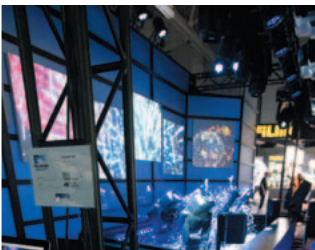


高品位オーディオシステムと世界規模の音響体験





新4K8K衛星放送開始、メディア新時代の幕開けを飾る



ライブエンターテイメント、メディアコミュニケーションの拡大



先端デジタル技術と融合するコンテンツビジネス



出展者1,152社・団体(過去最多)



同時開催 **DCEXPO** デジタルコンテンツEXPO 2018

日本のコンテンツビジネス競争力強化を目指し同時開催 VR・ARコンテンツ制作やVTuberをめざすクリエイターが集結



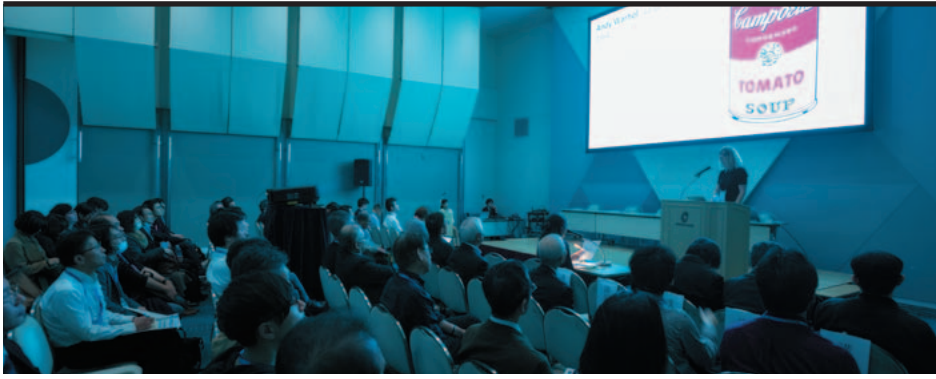
Inter BEEの今年の新たな展開として、一般財団法人デジタルコンテンツ協会(DCAJ)が主催する先進的なコンテンツ技術の催し「デジタルコンテンツEXPO2018」が同時開催となった。これまで10年にわたり、日本のアート、コンテンツの最新技術を紹介してきたDCEXPO。世界最大のCGとインタラクティブメディアの催しとして知られるSIGGRAPHとも連携し、交互の優れたコンテンツ技術の交流を続けている。DCAJの市原専務理事は「より実用化に向けたビジネスマッチングを重視し、B2B色の強い場での開催を目指した」とねらいを語る。「先進的なコンテンツ技術をクリエイターや開発パートナーに知ってもらうことで、その技術を活用したビジネスが事業化される契機とし、日本のコンテンツ産業の競争力を強化するとともに、開発パートナーとなった企業にとってもマーケットを拡げたい。」

DCEXPOには、基調講演などのセッションや、最新映像やVR作品の上映会などとともに、CG、VR・AR、デジタル映像、ゲームなど、幅広いジャンルにおける数多くのコンテンツ表現技術が出展された。さらに研究段階のアイデア等を提案するInnovative Technologies、コンテンツ技術によるビジネスの共創

を目指し、経済産業省事業の一環として実施したBizTech*Matchなどの提案型の出展を集めたエリアも見られた。

基調講演では、テレグジスタンスの提案者である東京大学名誉教授の館 暉氏が登壇し「テレグジスタンスの今 - 時空間瞬間移動産業とテレグジスタンス社会への挑戦 -」と題した講演が開催され、館氏が長年進めてきたテレグジスタンスの技術が注がれたアバターロボット「モデルH」も登壇して“時空間瞬間移動”のデモが実施された。

セッションではSIGGRAPHのコンピューター・アニメーション・フェスティバル(CAF)で上映された最新のデジタル映像が上映されたほか、第26回 国際学生対抗バーチャルリアリティコンテストや、VTuberハッカソンを開催するなど、新たなメディアを舞台に活躍する若手のクリエイターが集まった。



INTER BEE IP PAVILION

IP実機接続デモをInter BEEで初の実施! IP化がもたらすものとはなにか? 今後の10年につながる特別企画



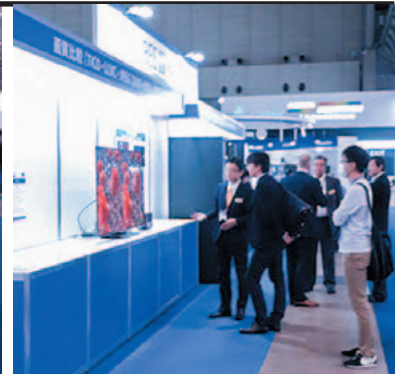
IPネットワークの高速化が急激に進む今、次世代のライブ映像制作と配信を実現する IPライブ伝送を紹介した「INTER BEE IP PAVILION」では、リレーセミナーでのプレゼンテーションとあわせてIP関連企業の展示を実施。また、Inter BEEでは初めてとなるIP実機接続デモを実施した。

番組制作の高精細化が進み、また、ネットの動画配信など、コンテンツの多メディア、多デバイス展開が進む中で、放送局が次世代の設備をIP化する検討が進められている。局内のIP化は、映像素材の伝送だけでなく、番組制作の現場やアーカイブ、中継設備などトータルな切り替えが必要になり、変更項目は機材の末端にまで及ぶことになる。

放送設備のIP化は、設備のスリム化だけでなく、映像・音声・メタデータの統一管理が可能になり、これまでになかった新しい機能の実現が期待できるなどのメリットがあるが、機器間の相互接続性や障害時対応、IPに関する技術スキルの醸成などの検証が必要となっている。

IP実機接続デモは、「SMPT E ST2110 インターオペラビリティ」、「SMPT E ST2022-6 インターオペラビリティ」、「ARIB STD B73 インターオペラビリティ」、「画質比較(JPEG-XS・TICO・LLVC・J2K)」の4つのコーナーで展開。幕張メッセ 国際展示場Hall3の「INTER BEE IP PAVILION」に設置したIP実機と、各出展ブースのIP実機を実際に接続し、デモの様子を様々な角度から来場者にご覧いただける場となった。

Date:	Nov. 14-16
Place:	Exhibition Hall 3
Area:	234 sqm
The Number of Participant Companies	
	SMPT E ST2110: 14 companies
	ARIB STD B73: 7 companies
	SMPT E ST2022-6: 6 companies
	Image Quality Comparison: 5 companies
The Theme of Keynote Speech:	"Next multimedia entertainment X Experience design - New urban entertainment that brings people together"
The Number of Sessions:	32 sessions
The Number of Audiences:	1,029 Audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	38 exhibitors



11月16日(金)には、INTER BEE FORUM 基調講演6「IPライブ伝送の規格と導入事例」を開催した。NHK、スカパー JSAT 株式会社、株式会社QVCジャパン、東海テレビ放送株式会社、奈良テレビ放送株式会社、三重テレビ放送株式会社より、IP導入へ向けた今後の考え方、導入事例など最新の取り組みを紹介した。

システムをIP化するか、ベースバンドとするか、という判断が今後の10年に大きな影響を与えると言われる中、IP化がもたらすメリットとデメリットについて、様々な議論の礎となるセッション、パネルディスカッションの内容に、会場は立ち見で動けないほどの非常に多くの聴講者が集まった。



INTER BEE ((5G))

5Gの大容量・低遅延が生み出す高臨場感と没入感 新たなコンテンツビジネス実現へ向け強力に開発牽引



国内でも2019年にはプレサービスが始まる5G(第5世代移動通信システム)。

超高速な通信速度、超低遅延など、これまでの移動通信の枠をはるかに超えるスペックを実現することで、映像・コンテンツ業界にとってどのような可能性があるのか、大きな期待がかかる。

展示場に設けられた「INTER BEE 5G」エリアでは、株式会社NTTドコモが、5Gにより実現する新しい映像空間を体験できるデモ用大型バスを出展し、注目を集めた。車内では前面7K、両側面3Kの大スクリーンに4Kプロジェクター 4台を用いて高精細な映像を投影して、スタジアムや観光地などの環境を仮想的に作り出し、5.1ch対応の音響設備も用いて高臨場感と没入感のある様々な空間を演出した。また、ソニー株式会社ブース内のカメラスタジオの映像をバス車内にライブに投影するソニービジネスソリューション株式会社との共同デモを実施した。

また、株式会社フジテレビジョンと株式会社NTTドコモの共同開発による「Diorama Stadium 2018」も展示された。これは、タブレットを使ってTV中継映像や試合、レースの様々な情報をARで合成することで、全く新しいスポーツ観戦を楽しむことができる。将来的には5Gエリアが広がることで外出先でも気軽にリアルタイムな中継を視聴する事が出来る。

Date:	Nov. 14-16
Place:	Exhibition Hall 8
Area:	180sqm
The number of Booth Visitors:	1,134 visitors
The Theme of Keynote Speech:	5G Session 2018
The Number of Speakers:	3 speakers
The Number of Audiences:	590 audiences



基調講演「5Gセッション2018」では、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社の大手移動通信事業者3社が登場し、5Gの現状と今後について解説があった。

3社ともに、今後の5Gを活用したソリューションについて、パートナー企業との共同開発に力を入れている様子がうかがえた。中には、放送局、映像コンテンツ制作会社などが参加している事例も多数あった。



4K8K

新4K8K衛星放送開始で高まる放送新時代への機運 放送開始事業者9社の代表が登壇し意気込みを語る



今年のInter BEEは、新たな放送サービスとして、新4K8K衛星放送が開始となる12月1日を2週間後に控えての開催となり、基調講演をはじめとしたセッションや、機器展示では、4K8Kの放送番組制作に関する話題が数多く見られた。

Inter BEE 2018の初日、11月14日(水)に開催した基調講演では、日本放送協会 専務理事・技師長 児野昭彦氏が「始まる、4K8K新時代 ～放送開始まで2週間～」と題し、NHKの4K/8K放送番組の紹介、地上波放送の高度化について説明。また、一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB) 理事長 福田俊男氏は「いよいよ始まる4K8K放送」と題し、A-PABが行っているサポート内容などについて紹介した。

基調講演の最後には「新4K8K衛星放送事業者によるサービス開始に際してのメッセージ」と題し、12月1日から新4K8K衛星放送を開始する事業者9社の代表によるサービス開始の意気込みとお薦め番組が紹介された。

登壇した新4K8K衛星放送事業者9社の代表者

- ・日本放送協会 専務理事・技師長
児野 昭彦 氏
- ・株式会社 ビーエス朝日 代表取締役社長
菊地 誠一 氏
- ・株式会社BS-TBS 代表取締役社長
相子 宏之 氏
- ・株式会社BSテレ東 代表取締役社長
石川 一郎 氏
- ・株式会社ビーエスフジ 代表取締役社長
亀山 千広 氏
- ・株式会社東北新社メディアサービス 代表取締役社長
木田 由紀夫 氏
- ・SCサテライト放送株式会社 代表取締役社長
佐々木 良太 氏
- ・株式会社QVC サテライト 代表取締役社長
塙 雄一郎 氏
- ・株式会社スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長
古屋 金哉 氏



機器展示会場では、A-PABがブースを出展し、新たな映像表現を支える4K8K制作の最新技術が紹介された。また、上記9社の各チャンネルの番組やコンテンツの紹介、さらには、新4K8K衛星放送に対応したテレビなど、市販受信機の実機デモと受信システム機器の実機展示による受信方法が紹介されたほか、機器展示会場入り口のフロアには、4K8K対応の大型ディスプレイが設置され、番組紹介などの4K8Kコンテンツが常時表示され、多くの来場者が立ち止まって高精細映像に入っていた。

会場内ではこのほか、カメラから編集、送出に至るまでの4K8Kの番組制作に関するさまざまな機器が展示。NHK、民放各局における実際の導入事例も多数見られた。また、大型の高精細ディスプレイなど、4K8Kの高精細画像を活用したパブリックビューイングやデジタルサイネージなど多彩な活用事例も紹介された。



INTER BEE FORUM

5G、AI、eスポーツなど未来を見据えたテーマが続々
ポスト2020へ向け、胎動を始めたコンテンツビジネス



INTER BEE FORUMは今年、40セッションが実施され、昨年に続き、コンベンションホールAのセッションでは定員500名を大きく超えるケースがいくつも見られた。

毎年注目を集めるINTER BEE CONNECTEDの基調講演「ネットとテレビの境目からテレビの未来を語る」では、ネットとテレビ文化の違いを知る登壇者が、テレビの未来に期待を込めて意見を交わし、テレビ業界に向けてメッセージを送った。さらに同日開催された基調講演では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催後を見据え「2020年代における放送サービスの姿と視聴スタイルの変化」と題した講演が開催された。

同じく、初日の開催で注目を集めたのが特別講演「eスポーツでつかめビジネスチャンス」だ。日本テレビグループや東海テレビなど、放送業界からのeスポーツに関わる当事者も参加する同セッションでは、勃興するeスポーツビジネスに、放送がどのように関わるかについての議論が重ねられ、Inter BEEならではのセッションとなった。

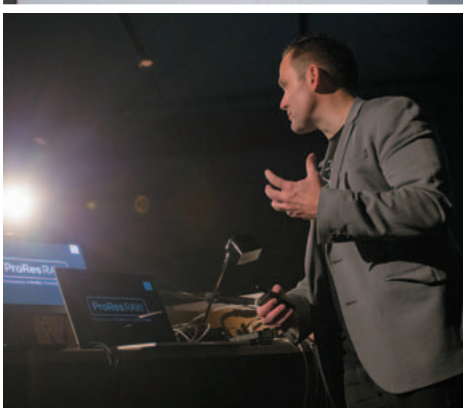
Date:	Nov. 14-16
Place:	International Conference Hall
Area:	1,947 sqm (5 Rooms)
The Number of Sessions:	40 sessions
The Number of Speakers:	111 speakers
The Number of Audiences:	7,355 audiences (Total)





2日目に開催された基調講演では「スマートブロードキャストへの挑戦!」と題し、IPTVフォーラム理事長の村井純氏と三菱総合研究所営業本部の中村秀治本部長により、203×年のブロードキャストを予測するという大胆なセッションを展開した。また、自然災害の多かった2018年ならではのテーマ「災害情報の提供とAIの活用」が開催され、注目を集めた。さらにINTER BEE CREATIVEの基調講演では、日本発の人気コンテンツ「ゴジラ」で世界を驚かせた映画監督の樋口真嗣氏とポリゴン・ピクチュアズの塩田周三社長が登場し、日本発のコンテンツの魅力、展望について語った。





3日目には、INTER BEE IGNITIONの基調講演が開催され、世界最高峰のデジタルアート集団「Momentum Factory」が登壇。世界的エンターテインメントプロジェクトを紹介、日本の新しい都市型エンターテインメントの拡張性などを議論した。

大手携帯通信事業3社（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク）の5G担当者が揃って登壇した基調講演「5Gセッション2018」、現在進行中の大きな課題でもある番組制作環境のIP化に関する基調講演「IPライブ伝送の規格と導入事例」は、会場収容数をはるかに超える聴衆を集め、多くの人の関心を集め、講演に聴き入った。

INTER BEE EXPERIENCE *X-Speaker*

ワールドクラスのSRスピーカー試聴体験イベント 今年も内外著名15ブランドのスピーカーが競演



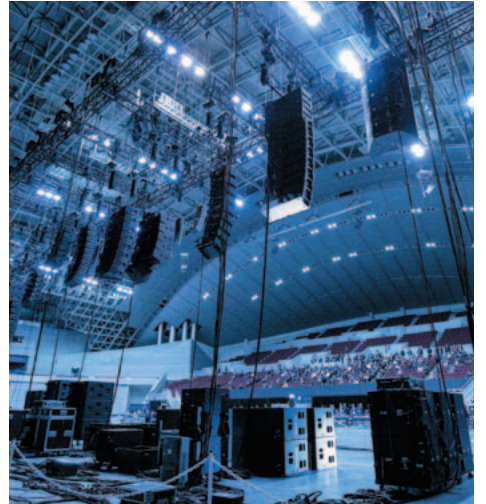
今年のINTER BEE EXPERIENCE : X-Speaker(SRスピーカー体験デモ)は、昨年に引き続き国内外の著名15ブランドのSRスピーカーが参加。ラインアレイスピーカー14製品、ポイントソーススピーカー1製品が3日間を通じて音の競演を行った。

今年もイベントホールのスケールをフル活用して、参加した全てのラインアレイスピーカーをフライング設置し、ワールドクラスの試聴イベントと評価されるにふさわしい、圧倒的な試聴体験空間を実現した。

特に今回の特徴として、小型ラインアレイと中・大型ラインアレイというカテゴリー区分はそのままに、様々なライブ空間に適合させその能力の発揮を確認するためのリスニングエリアを共通化したことだ。アリーナから南側2階席までをリスニングエリアを設定することで、大型のホールやイベント空間を想定しながら、小型ラインアレイでは年々進化しているそのパワーを、また中・大型ラインアレイでは本来持っている実力を、それぞれの個性や特長を遺憾なく発揮しながらアピールする場となった。

年間を通じて数多くのコンサートや音楽イベントが開催され、ライブエンターテインメント市場がますます隆盛するなか、欧州、北米、日本というサウンドテクノロジーの先進地から、そのなかでもトップクラスのスピーカーが集結するInter BEE。音響のプロフェッショナルユーザはもとより、それを旨とする若い世代やライブエンターテインメントに関心のある人たち、そしてアジアをはじめとした海外ユーザなど、更に多くの人たちに今後も体感してほしい。

Date:	Nov. 14-16
Place:	Event Hall
Area:	3,098 sqm (Arena)
The Number of Products Brands:	15 brands
The Number of Presentations:	30 presentations
The Number of Audiences:	4,227 audiences (Total)



INTER BEE EXPERIENCE X-Headphone🎧 | X-Microphone🎙️

気軽に自由に最高品質の音を体験できる場として定着
初参加の6ブランドを加え、過去最大規模で実施



今回で3回目となり、プロオーディオ部門の定番企画となったINTER BEE EXPERIENCE: X-Headphone X-Microphone(ヘッドフォン・マイクロフォン視聴体験展示)。今年は6つのブランドが新たに加わり、ヘッドフォン10ブランド10ブース、マイクロフォン12ブランド10ブースと、これまでで最大規模となった会場に3日間で4,300名を超える来場者が集まった。

今年のトピックは、新しく参加した国内外プロフェッショナルユースのブランド。ヘッドフォンではSOUND WARRIOR、STAX、PHONONが、マイクロフォンではRoswell Pro Audio、Ehrlund Microphones、マス工場の、合わせて6ブランドが初登場となり、それぞれに来場者からの注目を集めていた。

例年X-Headphone X-Microphoneには、音響や放送局関係者から学生まで幅広い層の来場者が訪れ、思い思いに試聴をしながら広い会場を巡る姿が見られるが、今年はデジタルコンテンツEXPOが同時開催となったこともあり、コンテンツ制作に携わる若いクリエイターなど映像制作のプロやそれを目指す学生も数多く来場した。

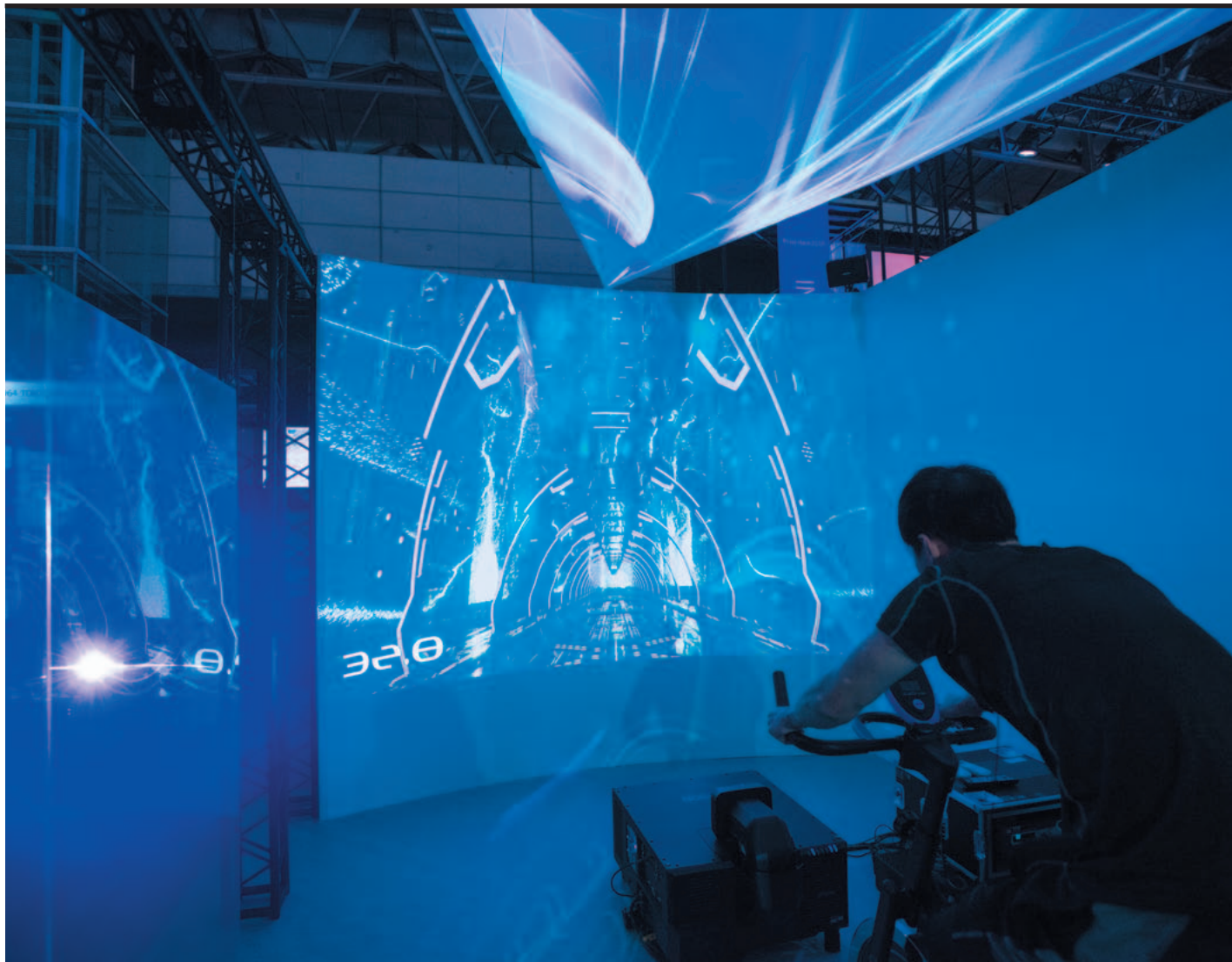
4K8KやVRをはじめ映像表現が多様化・高品質化するなかで、映像と一体となった音の表現も更に重要性が増している。そのなかでコンテンツ制作のツールとして、欠くことのできないマイクロフォン、ヘッドフォン。新しい感性や表現を求める若いクリエイターやその卵たちが、真剣に高品質の音と向き合う姿が会場には溢れていた。

Date:	Nov. 14-16
Place:	Exhibition Hall 1
Area:	338 sqm
The Number of Products Brands:	Headphones 10 brands Microphones 9 brands
The Number of Visitors:	4,366 audiences (Total)



INTER BEE IGNITION

ポストデジタルネイティブが創造する可能性とは メディアとエンターテインメントの進化する表現世界



メディアとエンターテインメントの新たな表現世界、その進化の最前線を発信する場であるINTER BEE IGNITION。3年目となる今年のテーマは、「ポストデジタルネイティブ、変革する空間と身体」だ。メディアの分散化と表現の多様化が加速する現在において、デジタルネイティブの先に見える可能性とは何なのか。ストレートには捉えにくく、一見混沌としている現在だからこそその可能性への問いかけと発信は、INTER BEE IGNITIONの真骨頂でもある。

それを体現するように今回のステージは、先進映像協会の「ルミエール・ジャパン・アワード2018」表彰式に始まり、J-WAVE INNOVATION WORLDの公開収録も交え、メディアとインフルエンサーの可能性、VRやドローンによる映像表現の最新動向、音と映像の表現世界の最前線など、盛りだくさんの内容となった。

開催3日目に国際会議場で行われた基調講演には、世界で数多くのイベント演出を手がけるカナダのデジタルアート集団Moment Factoryの東京オフィス・ディレクターであるMarc-André Baril氏が登場。大阪城公園で開催された「SAKUYA LUMINA」の仕掛けや新しい都市型エンターテインメントの拡張性について、講演とパネルディスカッションを行った。

また今年から同時開催をしているデジタルコンテンツEXPOの「ASIAGRAPH2018 創賞・匠賞授賞式」や連携企画セッションも行われ、まさに密度の濃い3日間となった。

Date:	Nov. 14-16
Place:	Exhibition Hall 6
Area:	634sqm
The Theme of Keynote Speech:	"Next multimedia entertainment X Experience design - New urban entertainment that brings people together"
Capacity of main stage:	120 seats
The Number of Sessions:	11 sessions
The Number of Speakers:	36 speakers
The Number of Audiences:	1,007 Audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	10 exhibitors





今回、20代30代の若いエディターたちをアドバイザーボードメンバー／モデレーターに迎えたINTER BEE IGNITION。自らデジタルネイティブ世代として、メディアとエンターテインメントの最前線に触れるメンバーならではのセッションも交え、多世代・多分野の様々な表現者やクリエイター、テクノロジストたちの登壇が3日間のステージに盛り込まれた。

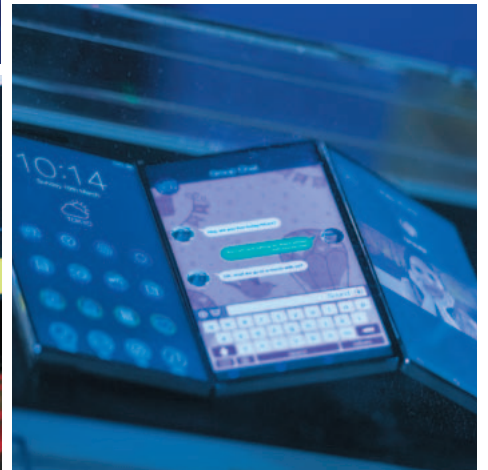
開催初日の閉場後には、ジャパンディスプレイの基礎技術を素材としたアイデアソンも開催され、新世代の熱気が溢れる3日間のステージとなった。





INTER BEE IGNITION の展示は今回もバラエティに富んだものとなった。回を重ねるごとにこの会場に注目し、来場目的とする来場者も増えている。

VR、AI、ロボットなど、最新のテクノロジーがこれからの映像表現やエンターテインメントにどのような変革とパワーをもたらすのか。エプソン販売は「体験型映像アトラクション」を展示。心拍の変化で映像を制御し、人間の感情と映像が連動するという新感覚映像体感であらたなコミュニケーションを提案。多くの来場者が、熱心にそれぞれの展示を体験していた。



INTER BEE CONNECTED

メディアコミュニケーションの進化と未来を探る熱い空間 その広がりと可能性を実感した3日間



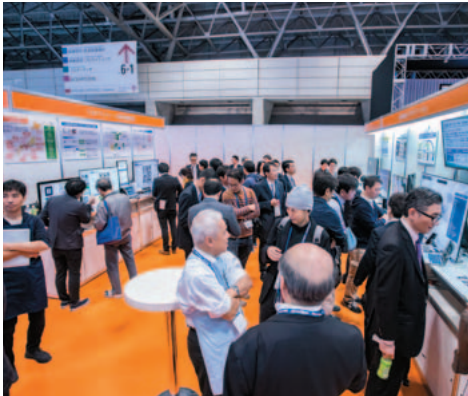
放送が社会や未来にどのようにCONNECTし、メディアはどう進化していくのか。その最前線を発信する場であるINTER BEE CONNECTEDは5回目となる今年、これまで以上にどのセッションも熱気が溢れるものとなった。

例年人気のCONNECTED基調講演だが、今年はネットの最前線からテレビの未来に提言するという試みで、テレビ局関係者をはじめとして多くの聴講者の関心を集めた。

また今回の特徴は、第1日目「視聴者day」第2日目「配信day」第3日目「コンテンツday」と、3日間のテーマを明確にしたことだ。「視聴者day」では、現在最も関心が高い視聴データ・視聴ログ活用の最前線や、若者にフォーカスした視聴者視点からテレビの可能性が語られた。「配信day」では、進化するradikoの取組みやSVODサービス、スポーツ配信の現状と可能性が語られ、また新テーマとしてショート動画配信も扱われた。

「コンテンツday」では、ネット活用に一步踏み込むOUNDメディアの現在、テレビ番組の海外展開、ローカルコンテンツが地域創生にもたらす可能性といった、放送コンテンツのこれからを多角的に捉えるセッションが行われ、最終セッションでは地域社会の課題に対してテレビが何をすべきかをという視点から、未来に向けた放送メディアのあり方が議論され、聴講者数は昨年比で2倍近く増加した。視聴データから地域創生まで、その広がりや各セッションの熱気が、放送の可能性を探る熱さを実感させるものとなった。

Date:	Nov. 14-16
Place:	Exhibition Hall 7
Area:	594sqm
The Theme of Keynote Speech:	Talking about the Future of Television from the Boundary of Television and the Internet
Capacity of main stage:	200 seats
The Number of Sessions:	13 sessions
The Number of Speakers:	52 speakers
The Number of Audiences:	2,544 audiences (Total)
The Number of Exhibitor's Presentation:	11 sessions
The Number of Exhibitors:	13 exhibitors





マルチスクリーン時代の動画視聴者像
～電通とビデオリサーチによる最新分析～

開催初日午前のセッションから、立ち見が出るほどの盛況となった今回のINTER BEE CONNECTED。会場に入りきれないほどの聴講者が詰めかけた「進化するテレビ視聴ログデータ最前線」をはじめ、3日間を通じて展開された放送の可能性と未来を模索する多様なテーマのセッションに多くの聴講者が集まり、会場は常に熱気に包まれていた。



進化するテレビ視聴ログデータ最前線



大学生に生で聞く
メディア生活



ラジオを止めるな！
～進化し続ける radiko の取り組み～



テレビ局発のSVODサービスは
どこに向かうのか？



スポーツ配信の可能性はいま 2018
～拡充してきた各種取り組み事例から～



「ショート動画」は
テレビ局の次の主戦場になるか？



After Hours !
テレビの未来をもう一度考える !



今回、2日目の閉場後に初めての試みとして行われた「After Hours !ユーザ目線でのテレビの未来」。参加者は通常のセッションとは違って変わって丸テーブルを囲み、ドリンクを片手にステージ上のトークにも参加できるという、参加型セッションだ。

テレビの未来を考えるには、ただ一方的にセッションを聴講するのではなく、一緒に語り合おうというINTER BEE CONNECTEDの思いに応え、参加者からも積極的に意見が交わされる熱い夜となった。



盛り上がる放送局のオウンドメディア



ここまで来たテレビ番組の海外展開



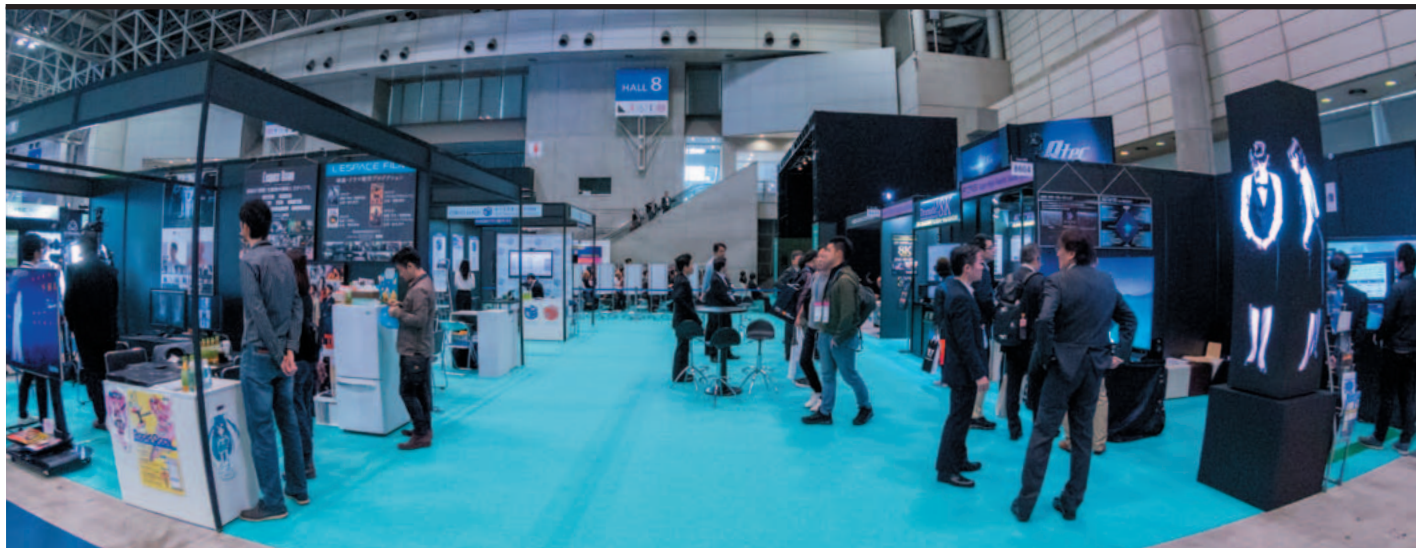
ローカルコンテンツ × 持続力のある地域創生



2030年テレビは何ができるのか?
~ Society5.0時代のメディアの役割 ~

INTER BEE CREATIVE

拡大するメディア、多様に進化する映像クリエイティブ
最新技術から新世代の感性まで、話題満載のセッションが展開



領域が拡大し進化し続ける映像クリエイティブの世界。プロフェッショナルからハイアマまで、世代や立場を超えてその担い手たちは広がっている。INTER BEE CREATIVEは、そういった様々なクリエイターたちに最新の情報や動向を発信する場として、今回も多くの熱心な聴講者を集めた。

開催2日目に国際会議場で行われた基調講演では、2016年に約12年ぶりの日本製作ゴジラ映画「シン・ゴジラ」で話題を攫った樋口真嗣監督と、アニメーション映画「GODZILLA」を制作、全世界同時配信したポリゴン・ビクチュアズの塩田周三氏を招き、「ゴジラに見るジャパン・コンテンツパワー」と題したセッションが行われた。

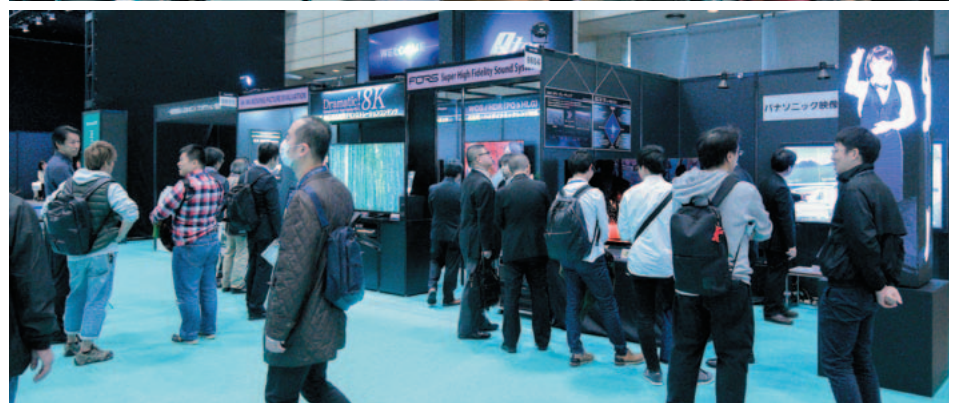
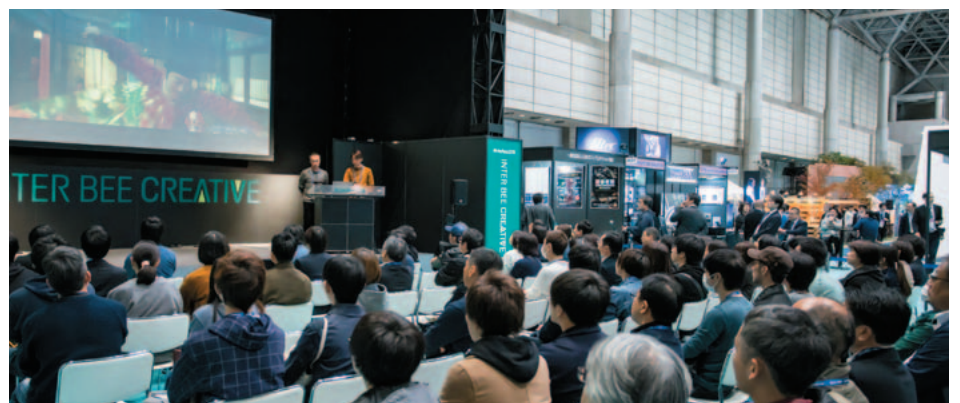
INTER BEE CREATIVEのステージでは、映画やテレビからネットと映像表現や映像エンターテインメントが発信されるメディアが広がるなか、ハリウッドの最新VFXや気鋭の映像作家による映画撮影の舞台裏、CGアニメーション、HDR映像、VR映像、マイクロドローンによる映像表現と今年もバラエティ豊かなセッションが展開された。

特に今回は3日間を通じて、映画監督や映像作家、ミレニアル世代の映像クリエイター、Vimeoクリエイターと、立場や世代の異なる多くのクリエイターが登場し、それぞれの考え方やクリエイティブワークを発信したことが印象的だった。また、展示エリアでは、日本ポストプロダクション協会をはじめ映像制作・ポストプロ関係のブースが展開。隣接して今年も設置されたINTER BEE CREATIVE MEET-UPには、映像・音響機材のハンズオンブースも展開し、多くのクリエイターやユーザで賑わっていた。

Date:	Nov. 14-16
Place:	Exhibition Hall 8
Area:	494sqm
The Theme of Keynote Speech:	Japan Content Power as seen from GODZILLA
Capacity of main stage:	118 seats
The Number of Sessions:	19 sessions
The Number of Speakers:	42 speakers
The Number of Audiences:	1,252 Audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	7 exhibitors

CREATIVE MEET-UP

Date:	Nov. 14-16
Place:	Exhibition Hall 8
Area:	748sqm
The Number of Participant Companies:	20 companies





INTER BEE CREATIVE MEET-UP

前回に引き続き、今年も登場した新たな発想のイベント空間、INTER BEE CREATIVE MEET-UP。映像はもとより様々な分野・立場のクリエイターが、プロ・アマ問わず肩肘張らずに集まり体験・交流できる場として、Inter BEEにすっかり定着した。

最新情報やメッセージを発信するステージ上のセッションから、展示、そして体験と交流、ネットワークと、INTER BEE CREATIVEからMEET-UPへとつながる広い会場に多くのクリエイターたちが訪れていた。





今回のMEET-UPでは、オリジナル企画の「映像研究所(VOOK LABO)」を開設。Inter BEE会場で数多く展示されている最新の映像機材やソフトウェアなどをとりあげ、制作者の目線からそれを実際に使うクリエイターのために研究する場をコンセプトに、ワークショップを3日間展開。毎回熱心なクリエイターたちが集まる場となっていた。

そのほかマイクロドローン・セッションのアフター体験として、実際にドローンを飛ばし撮影する映像体験、VRバイクやVRハングライダーのコンテンツ体験など、体験して気軽に楽しめるイベント空間としても展開された。



過去最大の1,152社が出展 オープニングセッションで高らかにInter BEE開幕宣言



11月14日(水)から16日(金)までの3日間、幕張メッセにおいて、メディア総合展Inter BEE 2018が開催した。
初日14日の10時、幕張メッセ 国際会議場2階 コンベンションホールAにおいて Inter BEE 2018のオープニングが開催され、高らかに開幕が宣言された。

「メディア総合イベントへ大きく変化」

「急速なデジタル技術の進歩に伴い、世界中で大きな変革が起ころうとしている。JEITAも各産業界と連携しながら、超スマート社会 Society 5.0の実現に向けて取り組んでいる。このInter BEEも例外ではなく、放送機器にとどまらず、コンテンツを中核に据えて心の豊かさをもたらすユーザ体験の実現をめざし、つくる、おくる、うけるを網羅する、メディア総合イベントへ向け、大きく変化させている。デジタルコンテンツ協会主催のDCEXPOとの同時開催もその一環だ」

「いよいよ来月12月1日に新4K8K衛星放送がスタートする。本年のInter BEEでは、放送開始を目前に控えた新4K8K衛星放送に関する展示が多数登場する。さらに、各放送事業者トップによる4K8Kキーンノートスピーチが予定されている。約2週間後と直前に迫った放送の新しい時代の幕開けに向け、このInter BEEが大いに役立つことを期待している」



一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 会長
 榊山 正樹 氏



「経済全体の成長を促進する大きな原動力」

「12月1日、いよいよ、新4K8K衛星放送が始まる。4K8Kならではの、きめ細やかで色彩豊かな、臨場感あふれる映像で魅力的な番組を楽しめるようになる。世界の注目が集まる2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時には、多くの視聴者に楽しんでもらえるよう、官民一体となって、普及促進や受信環境の整備を加速して取り組んでいく」と、新4K8K衛星放送開始へ向けた意気込みを話した。

また「今年のInter BEEでは、新たなメディアの可能性を世界に伝えるをテーマに、4K8K、ネット配信、次世代放送技術など、多様な機器やサービスが紹介されていると聞いている。世界の放送市場をリードする最新の技術や製品は我が国の放送分野の発展のみならず、経済全体の成長を促進する大きな原動力」と述べ、放送・映像・通信技術がもたらす経済効果への期待を示した。



総務省 総務大臣政務官
 國重 徹 氏

「放送・通信の融合から20年、さらに他産業との連携を」

「通信と放送の融合という言葉が使われて20年近く経ち、コンテンツの伝送路が変わり、新4K8K衛星放送もはじまるが、スマホやICT、IoTやAIなど、ビジネス環境はもっと速く大きく変わってきている。昨年、経済産業省が打ち出した『コネクテッド・インダストリーズ』というコンセプトはメディア産業も同じ。新しい技術を使って、他の産業と結びつき、新しい付加価値をつくりだす、そういう取り組みが今、まさに必要になってきている」と述べ、放送・通信技術の他産業との連携に期待を示した。

また、「コンテンツの成功には、人々の余暇時間、隙間時間を取り込んでいかなければならない」とした上で、「そのためには、コンテンツの中身はもちろん、提供形態、使いやすさなど、新しい概念が必要になってきている」とビジネス・スタイルの変革がコンテンツビジネスの成功に不可欠であることを示唆した。



経済産業省 大臣官房審議官
 吉田 博史 氏

Society 5.0時代へ変革続けるInter BEE 新4K8K衛星放送 開始直前に高い関心



11月14日、Inter BEE 2018 初日の夕刻、「Inter BEE 2018レセプション」が、後援・協力団体および、出展企業関係者を招き開催された。会場内は放送業界、機器メーカー、コンテンツ業界の多くの関係者が集まり、2018年12月に始まる4K8K実用放送へ向けた機運の盛り上がり象徴する催しとなった。

「Society 5.0実現に向けて新たなビジネスモデル提示の場へ」

今年のInter BEEは新4K8K衛星放送直前ということで、多くの関係者が集まり、また、展示会場も4K8K関連の多くの機器を見ることができた。放送・通信の高度な発展に伴うメディアの多様化がより顕著になってきたと感じている。

さて、JEITAとしては、10月にCEATECで、11月にInter BEEを主催者として開催しているが、この2つのイベントの縦軸をあわせていこうと話してきた。その縦軸とは、Society 5.0時代のビジネスのあり方だ。Society 5.0はようやく人口に膾炙(かいしゃ)してきた感がある。これまでの情報化社会に続き、IoTやAI等によるイノベーションの創出を実現し、一人一人のニーズに合わせる形で社会的課題を解決する新たな社会として、日本が世界に提唱する未来社会のコンセプトだ。

今年のInter BEEでは、入口としてはさまざまなカメラが出そろい、出口としては、表示デバイスや通信技術、コンピュータ技術の発展でさまざまなメディアの形態やビジネスができていく。Society 5.0の観点からすると、それぞれの文化や価値観が多様になった人たちの嗜好に、どのようにしてリアルタイムにこれらのメディアが対応していくか、ということになる。Inter BEEも今、変革の真っただ中にある。今年は、特にデジタルコンテンツ協会主催のDCEXPOと同時開催となり、コンテンツと融合したかたちで全体としての個人の人々の多様性にに応じたビジネスモデルを提示できる催しになってきた。ぜひ、未来へ向けて新たなビジネスモデルを見つけていただき、より豊かな日本の社会づくりに貢献していただきたい。

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 専務理事
長尾 尚人氏



「4K8Kの普及へ最大限の努力」

本日、Inter BEE 2018の会場を回った印象として、今回はやはり新4K8K衛星放送開始の直前ということで、4K8K関連の展示が目立って見えた。また、同時に放送のIP化、あるいは放送におけるAIの活用など、新しい技術も次々と登場しており、一昔前の放送技術と比べ、はるかに裾野が広がっているという印象を持った。2000年頃からの放送のデジタル化、放送・通信の融合、あるいは連携という動きから20年近くを経て、いよいよ本当に、その時代が来た実感している。

約2週間後の12月1日から、新4K8K衛星放送の本放送が始まる。NHKは、右旋のチャンネルで民放といっしょに4K放送を、左旋のチャンネルでは世界初の8K放送をスタートさせる。このように本放送を迎えることができるようになったのも、ひとえに、総務省、A-PAB、メーカーなど関係者のみなさまのたゆまぬ努力の賜物と感謝している。

展示会場では昨年に続き、JEITAと共同でブースを構えている。すでにご覧になった方もいらっしゃると思うが、4K8K本放送のイメージを実際の受信機で紹介するコーナーを設けているほか、技研で開発しているシート型の有機ELディスプレイと22.2マルチチャンネル音響による8Kシアターなどもご覧いただける。また、制作現場で大きな課題となっている4Kと2Kの一体制作への取り組みについても、実物の4K中継車などを使って紹介しており、ぜひとも足を運んでもらいたい。

NHKは新4K8K衛星放送がスタートした以降も引き続き、コンテンツの一層の充実に取り組んでいく。そして一日も早く、4K8Kが普及していくよう最大限の努力をしていきたいと考えている。

日本放送協会 技術局長・副技師長
春口 篤氏



「2020年までに多くの人に4K8Kを見てもうることが重要」

本日一日、Inter BEEを見学した。午前中はセッションを聞き、午後は展示会を見て、例年以上ににぎやかな大会となっていると感じた。オープニングセレモニーで大変印象に残ったのは、新4K8K衛星放送を開始する放送局9社の代表が一堂に会し、放送開始へ向けた意気込みを語ったところだ。競馬で言えば、競争が始まる直前、ゲートに入った心境という話があった。待ちに待っている、という意気込みを感じた。また、各社の番組の紹介では、まさにそこにあるかのような臨場感を感じる映像を見ることができた。各社各様に特色のある番組を準備していることがよく分かり、12月1日が待ち遠しい。

電波産業会は、2020年へ向け、標準化における三つのテーマを掲げている。一つは4K8K、もう一つは5G。そして三つめは自動運転だ。これらのうち、最初に実用化できたのが4K8Kだ。2020年へ向けて、12月1日は一里塚だと考えている。2020年に向けてほんとうに多くの視聴者にすばらしい番組を見てもうらまでが重要だ。多くの方がすばらしい番組を見ていただくように、業界全体が一致協力して実現してほしい。

一般社団法人 電波産業会 (ARIB) 専務理事
松井 房樹氏



「新4K8K放送や災害への備えに一層の支援を」

今年のInter BEEは、新4K8K衛星放送への期待が最高潮に達したタイミングで開催されることとなった。新4K8K衛星放送を開始する各社は、放送設備の構築も放送信号のテストも、まさに綱渡りのスケジュールを進めてきた。放送機器メーカーのみなさまには、多大なご協力を賜り、大変なご苦労をおかけしたと思う。この場をお借りして厚くお礼申し上げる。12月1日の放送開始まで、最後にもうひと踏ん張り各局を支えていただければと思う。

今年は「平成30年7月豪雨」や「北海道胆振東部地震」など、大きな自然災害が全国各地で起きた。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

多くの民放局が台風や地震、停電などの厳しい事態に直面しながらも、さまざまな工夫をこらして、視聴者の皆さまへ迅速・的確に情報をお伝えするとともに、放送設備の維持に全力を挙げて取り組んだ。放送局として万全の備えをするため、引き続き、ご支援を賜りたい。

一般社団法人 日本民間放送連盟 技術対策委員長
川口 忠久氏



「4K8Kで、さらにすばらしいコンテンツができることを期待」

最後に、Inter BEEと同時開催したデジタルコンテンツEXPOの主催であるデジタルコンテンツ協会会長 河口洋一郎氏が次のように挨拶した。

「88年にハイビジョンでフルCGの映像を制作し、米国のCGの祭典SIGGRAPHで発表した。海洋生物をモチーフにした作品で、ハイビジョンの高精細な映像でみずみずしい表現を多くの人に覚えてもらうことができた。今回、Inter BEEの会場で4K8Kの映像を見て、当時の映像からさらに美しくなったと感じた。4K8Kでコンテンツを制作すれば、さらにすばらしいものができることを期待している」

河口氏は挨拶の後、乾杯の音頭を執り、集まった関係者から盛大な乾杯の音が響いた。

一般財団法人 デジタルコンテンツ協会 会長
河口 洋一郎氏



東京五輪 需要やラジオ局のシステム更新を見据え イベント製品やオーディオ関連の最新機器を展示



放送・イベント・映像音響機器の販売代理店で設立から30周年を迎えたテクノハウスは、Inter BEE 2018において2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて需要が期待される映像、イベント関連製品やラジオ局向けオーディオ関連製品を中心に出品した。

株式会社テクノハウス 取締役の高野行和氏、情報機器部 PRプランナーの徳留康矩氏、情報機器技術部 係長の清水直美氏、情報機器技術部 プロオーディオ課 課長の北條陽士氏に、Inter BEEへの出展の狙いや今年訴求したい製品について話を聞いた。



株式会社テクノハウス
取締役
高野 行和 氏(左)
情報機器技術部 係長
清水 直美 氏(中央)
情報機器部PRプランナー
徳留 康矩 氏(右)

新需要へ向け、8K対応プレゼンテーション スイッチャーやラジオ局向け最新ミキサー紹介

■出展のテーマと狙いは？

「Inter BEEでは毎年放送機材の製品を中心に映像制作/放送関連機材フロアとプロオーディオフロアの2カ所に出展している。Inter BEE 2018では、映像制作/放送関連機材フロアにおいて今年12月1日からスタートする新4K8K衛星放送、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、イベント関連を主に仕事とされているお客様に対してスポーツイベントなどのパブリックビューイングやライブビューイングなどに使っていただけるような製品としてクリスタ社製の4K/8Kプレゼンテーションスイッチャー『Spyder X80』を重要な製品として出展している」(高野氏)

「また、オーディオフロアでは、ラジオ局の災害対策を含めたシステム更新の話もあり、ワンマンで効率的に扱える独DHD. audio社のカスタマイズミキサーと放送局の放送本社から送信所までの間をIP伝送する仏WorldCast Systems社のひかり電話対応IP音声コーデック『APT IP ISDN CODEC』を重点的に展示した」(高野氏)



■パブリックビューイング以外の用途にも訴求したい

「今回のInter BEEで重要な製品として出展しているクリスティ社製の4K/8Kプレゼンテーションスイッチャー『Spyder X80』は、1入力あたり3種類のコネクタ (DisplayPort 1.2 / HDMI 2.0 / 12G-SDI) を具備し、全入力とも4K@60pに対応していることが特徴。プレゼンテーションの現場ではカメラ映像やコンピューターの映像を入力し、同じ画面上で並んで表示させることもあるが、4Kカメラの映像信号や4K HDRの映像信号も入力して、様々な信号の映像を表示させることができる」(清水氏)

■スマホを中継カメラにするアプリ

「MOJOPRO」を展示

「この他映像制作/放送関連機材フロアでは、仏AVIWEST社のスマホを中継カメラにするアプリ『MOJOPRO』を展示した。すぐに映像を出さなければならない様な現場に遭遇した時にでも、『MOJOPRO』というアプリケーションをダウンロードしておけば、すぐにスマートフォンの映像を出すことができる」(徳留氏)

「迅速性を求められる場面において、最大のパフォー

マンスを發揮する。なお、このアプリは同社のレーザー『ストリームハブ』を導入していれば、無料で利用することができる。この『ストリームハブ』は1RUサーバで、基本的に社屋に設置するタイプだが、クラウドタイプもあり、共にYouTube Live等に配信することが可能。ブースではYouTube Live等での使用を想定した質問が多くあり、お客様から注目を集めていた」(徳留氏)

■国内のラジオ局に好評な最新モデルの

オーディオミキサーをいち早く紹介

「プロオーディオフロアでは、今年のIBCで発表となった独DHD.audio社の新しいカスタマイズミキサー『RX2』を国内初展示した。『RX2』は、国内でも多くの導入実績を誇る『52/RX』を更に扱いやすく更にスタイリッシュにモデルチェンジを行った最新モデル。全てのモジュールに大型のTFTタッチディスプレイを搭載し、視認性、操作性を高めている」(北條氏)

「また、モーターフェーダーが標準搭載されたことで、レイヤーを含めたミキサーの構築や、ワンマンオペレーション時のオペレーターへの負担が軽減される。既にDHD.audioの製品をお使いしているお客様にもご興味を持たれた方も多く印象で、Inter BEEに実物を見に

来ていただいた方が多かった」(北條氏)

■最も問い合わせが多いIP音声コーデック

「APT IP ISDN CODEC」を出展

「今回のInter BEEでは、最も問い合わせが多かったIP音声コーデックを出展した。このIP音声コーデックは、放送局の放送本社から送信所間をIP伝送を可能とする仏WorldCast Systems社のひかり電話対応IP音声コーデック『APT IP ISDN CODEC』。APTの独自の音声伝送技術『シュアストリーム (SureStream)』を使用する事により、音切れの起きない音声伝送が可能である。低遅延・低圧縮・高音質を可能にするEaptXアルゴリズムが使用できるので、非圧縮の伝送と比べても大幅にランニングコストを下げる事ができる」(北條氏)

映像と音の編集の基本機能を成熟させながら 自社製品を軸にしたプラットフォームを提供

YOUR PLATFORM TO PERFORM



ビデオ編集ソフトの「Media Composer」やオーディオ編集ソフトの「Pro Tools」など、ビジュアルとオーディオの編集にかかわる製品を軸に提供するアビッドテクノロジー。Inter BEE 2018では、映像と音の制作という同社が提供する主力ツールの着実なバージョンアップの紹介はもちろん、クラウドサービスの実用化やネット配信、4K/8Kへの対応などの最新状況を示した。

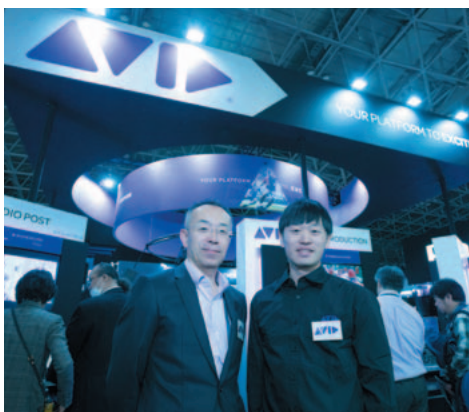
市場環境が変化する中で、アビッドテクノロジーでは自社製品で完結する世界観から、他社の製品やサービスを適材適所に利用できるプラットフォームの提供へと舵を切っている。アビッドテクノロジー プロビデオ・チャンネル・セールス/マネージャーの光岡久治氏に、市場環境の変化に対する同社の取り組みを聞いた。

制作物の“使い方”が劇的に変化 編集ソフトも多様な変化に対応

■出展のテーマと狙いは？

「Inter BEE 2018の展示にはいくつかの核がある。1つは、アビッドテクノロジーが提供する製品の基本である、映像と音の制作の基本ツールである『Media Composer』や『Pro Tools』の進化。4K/8K編集ワークフローへの対応などを含めた基本ツールの最新状況を紹介した。2つ目は、2019年にもサービスの提供を予定している『Avid | On Demand』の展示とデモによるクラウドサービス実用化の状況の紹介。3つ目は、イマースイブオーディオで業界標準的なDolby Atmosのミキシング環境をPro Toolsによるシステムで構築し、体感してもらうことだ」

「アビッドテクノロジーはメーカーであり、自社製品による映像と音の制作システムの提供が基本にある。一方で、クラウド化やネット配信の進展などで、制作物の利用の方法は多様化し、個別の要件に対応するための機能が増えている。そうした状況変化に対応するため、自社製品だけで閉じたシステムを提供するのではなく、アビッドテクノロジーの製品を中核として他社製品をプラグインできるような方向を示している。それがアビッド



アビッドテクノロジー株式会社
プロビデオ チャンネル・
セールス/マネージャー
光岡 久治 氏 (左)

プロオーディオ
セールス チャンネル・
アカウント・マネージャー
増田 敏夫 氏 (右)



テクノロジーのシステムのプラットフォーム化で、多様な要望に迅速・低コストに応えられるようにさまざまなツールを利用できるプラットフォームとしての製品提供を推進している」(光岡氏)

■クラウドとAIの活用、

Dolby Atmosのミキシングなど多様な展示

「クラウドソリューションでは、メディア制作機能を提供するSaaS (Software as a Service) 型サービスプラットフォームの『Avid | On Demand』を中核にした展示を行った。オンデマンドでメディア制作機能を利用できるシステムで、4K/8Kに対応する。デモではネットワークを介して4Kの映像制作多地点から遅延なく実行できることを示した。『Avid | On Demand』はグローバルでPoC (概念実証) や実用化に近い試験導入が進んでおり、国内でも2019年に料金設定を行って利用できるようにする予定だ。ブースでは、赤坂のオフィスに設置したプライベートクラウド環境だけでなく、マイクロソフトのパブリッククラウドサービスMicrosoft Azureの環境でもAvid | On Demandがスムーズに利用できることを示した。またAzureが持つAI機能を利用して映像から画像や音声を認識し、メタ情報を自動的に抽出する技術もマイクロソ

フトと共同で検証している。AI活用による生産性向上につながるかと考えている」

「ブースの中央にはイマージブオーディオのミキシングをデモするMixing for Dolby Atmosのステージを用意した。7.1.4チャンネルのDolby Atmosの立体音響を、『Pro Tools | Ultimate』を使ったミキシングの段階で直感的に振り分けられるデモを体験してもらった。映像ストリーミング配信大手のNetflixがDolby Atmosに対応して利用を推進していることから、テレビ系だけでなく、ネット系のコンテンツ制作にもDolby Atmosのミキシング環境が重要になると考えている。Inter BEE 2018のアビッドテクノロジーのブースでは、Netflixのエンジニアを招いたゲスト講演も行い、コンテンツ制作技術の潮流と現実を感じてもらった」

「基本ビジネスとしての映像と音の制作技術については、4K/8K編集のワークフローを展示・デモで示した。業界標準のノンリニア編集ツール『Media Composer』、メディア共有ストレージ『Avid NEXIS』、Artist I/Oシリーズ『DNxIQ』、『DNxIV』、『DNxID』、新しいポストプロダクションワークフローを提供する『MediaCentral | Editorial Management』による4K/8K編集ワークフローを体験してもらった」

■ネット配信系のソリューションにも注力し

国内市場の活性化を

「4K/8Kのソリューションは、日本が牽引役になって世界をリードする立場にあると考えている。その意味で、Inter BEEは、米ラスベガスのNAB、オランダ・アムステルダムのIBCと並ぶ最重要な展示会と位置づけて出展している」

「4K/8Kの広がりや並んで注目しているのが、ネット配信サービスの台頭である。コンテンツ制作の基本は変わらなくても、見たり聴いたりする方法が多様化している。どのように流通して、どのようにマネタイズできるか、ソリューションの提供側としても対応を考えなければならない。そうした中で、IT系やネット系の来場者も増える傾向を感じているが、Inter BEEにはもっとIT系やネット系の来場者を増やしてもらって、業界の盛り上げを支援してもらいたい」

「放送、映像制作に閉じた展示会から、IT系やネット系にも広がる展示会になることで、異なるジャンルの企業や来場者がさらに増え、マーケットの拡大が期待できる。アビッドでも海外の事例を積極的に紹介するなどして、アビッドとお客さまの双方のビジネス拡大に寄与していきたい」

放送に閉じず映像のソフトウェア技術を開発 16KからAIまで次世代映像の技術のタネを展示



リアルタイム画像処理などのソフトウェアの研究開発を手がけるアズラボは、最終製品を提供するのではなく、顧客となる企業が表現したいソリューションに対して技術のタネを提供する技術開発企業である。

Inter BEE 2018では、世界初をうたう16K@120Pの非圧縮映像再生システムをブースの正面に大々的に配置し、来場者の関心を引いていた。

展示しているソリューションは数多くあるが、いずれも展示がそのまま商品になるのではない。Inter BEEの会場を自社の技術のショールームとして使うと言い切るアズラボ 営業本部 営業本部長で執行役員の比屋根 勇氏に、今回の展示の特徴と狙いについて聞いた。

多彩なリアルタイム映像処理技術で 映像の可能性を広げる

■出展の狙いとテーマは？

「アズラボは、技術開発企業であり、パートナーとなるメーカーやシステムインテグレーター(Sier)に技術を提供している。製品を販売するなど表に出る活動はせず、ソリューション提供の技術的な裏方としての役割を担う企業だ。技術開発の対象はソフトウェアで、それもリアルタイム性を追求していることが特徴といえる。映像分野ではカメラから入力した映像が、ディスプレイに表示されるまでの間に、さまざまな処理が求められる。高度な映像信号処理をリアルタイムに実現するソフトウェアを提供することで、映像の可能性を広げていきたいと考えている」

「高精細な映像は、さまざまな用途がある。アズラボでは放送の枠組みや解像度の制約にとらわれることなく、国内だけでなくグローバルを見据えた映像ソリューションを提供している。Inter BEEでは、たくさん持っている技術のタネを展示しているので、多くの来場者の方々がその技術のタネの活用方法を見つけていただけたらうれしい」



アズラボ株式会社
営業本部 営業本部長
執行役員
比屋根 勇 氏



■超高精細映像処理から

AI映像表現まで多彩な技術が並ぶ

「InterBEE 2018の展示で最も目立つものが、世界初となる16K@120Pの非圧縮映像再生システムだろう。8Kの4倍の画素をもつ超高精細映像を、8Kパネルを4枚組み合わせて表示させている。非圧縮で120Pの高精細でなめらかな16K映像を体感してもらえる。16Kのコンテンツをリアルタイムで再生するには、強力なハードウェアエンジンとソフトウェアが必要であり、実現する技術をアピールしている。大量なデータが必要な16Kは、放送では利用されない技術かもしれないが、ソフトで16K120Pの再生が実現できることから、超高精細映像の活用の仕方へのアイデアが広がっていくと考えている」

「8K@60Pリアルタイムレンディングシアターでは、4Kプロジェクターを4台使って8K映像を表示する技術を展示した。8K映像を4枚の4K映像に分割し、4台のプロジェクターでスクリーン上に投影するときに重なる部分をリアルタイムに計算し、つなぎ目がわからない8Kの大画面映像を再生できる」

「超高精細次世代ビデオウォールでは、フルHDディスプレイを16枚組み合わせた8Kの大画面ビデオウォー

ルに、多様な映像を組み合わせるシステムを展示した。AI(人工知能)を使って、映像から自動的に物体を検知したり、人物だけを切り出したりした映像を表示する。さらに30台を超えるIPカメラの映像や、2K映像を4K映像にアップコンバートした映像の表示も、同時に同じビデオウォール上に表示できる。AIを使った映像解析から複数コンテンツを自在にレイアウトした8K映像の生成までを、1台の装置で実現できることを体験してもらった」

「イベント向けの技術の未来のタマゴともいえる展示としては、AIを使った画像の自動生成システム『A.I. TOUCH PAINTING』のデモに人気があった。空や木、草、水を色分けして簡単な絵を書いて入力すると、AIが過去の油絵の情報を基に自動的に絵画風に仕上げてくれるもの。今後の映像表現の広がり技術のタマゴになる可能性を感じてほしい」

■来場者に喜んでもらえる空間の提供を目指す

「今回で5回目の出展となるが、技術を見てもらうショーрумとしての位置づけでブースを設計している。飲み物や軽食を提供してテーブルや椅子を配置し、来場者が“居られる空間”の演出に工夫をこらしてい

る。Inter BEE 2018でも来場者の感触は良く、目的は達成した満足できる展示会となった」

「一方で、会場の設営には制約が多いことが、ブース設計の発想を狭めることになって残念だと感じている。例えばブースを2階建てにすることが許されていないため、2階にカフェスペースを設けるといった設計ができない。同じ会場でも他の展示会では2階建てのブースの設営が実現できているだけに、制約を少しでも緩めていただけるとありがたい。“居られる”ブース作りの意図を汲んでもらい、より自由度が高い設営が可能になることを願っている」

「パートナーとなるメーカーやSierなどの企業はもちろん、ビデオウォールなどでは官公庁も顧客となる。そうしたB2Bの来場者に喜んでもらえる空間を作ることを目指した結果、今回も“面白かったね”という声を多くいただいた。来年以降もぜひアズラボのショーрумとしてInter BEEには出展を続けたいと考えている」

40周年を迎える音響機器ブランド「RAMSA」 プロオーディオに新たな旋風を巻き起こすか



パナソニックグループ(パナソニック株式会社、パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社)は、1979年8月パナソニックの音響機器ブランドとしてスタートしたRAMSAを2年ぶりにプロオーディオ部門に単独出展した。パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社 メディアエンターテインメント事業部 マーケティングセンター マーケティング戦略部 主務の三橋章悟 氏と同事業部 テクノロジーセンター 商品設計部 商品設計六課 課長の松本泉 氏に、プロオーディオ部門に単独出展した意図を含むInter BEE 2018への出展について尋ねた。

パナソニック株式会社
コネクティッド
ソリューションズ社

メディアエンター
テインメント事業部
商品設計六課課長 課長
松本 泉 氏(左)

メディアエンターテイン
メント事業部
マーケティングセンター
マーケティング戦略部 主務
三橋 章悟 氏(右)



「RAMSA」のブランド力訴求ねらい プロオーディオ部門単独出展 現場のワークフロー改善と 業務効率化へ向けたソリューション提案

■出展のテーマと狙いは?

「パナソニックとして今年の共通テーマは『先進的な Technology』と『効率的な Workstyle』。プロオーディオ部門の『RAMSA』ブースでは、共通テーマ以外にRAMSAの由来である『Research of Advanced Music Sound and Acoustics』を掲げ、空間音響に焦点を当てた展示を行った。RAMSAは1979年8月、Panasonicの音響機器ブランドとしてスタートし、2019年に40周年を迎える。そこで、最先端の技術を取り込みながら、一貫して良い音作りに取り込む姿勢を製品とソフトウェアを組み合わせた形でソリューション展示を行い、ブランド力を改めて業界に訴求することを目標として、プロオーディオ部門への単独出展を決定した」(三橋氏)

「かつてパナソニックのブースとは別にプロオーディオ部門で毎年展示していたが、2006年からの10年間、また去年は映像制作・放送関連機器部門のパナソニック



ブースにて映像機器と共にRAMSAも出展していた。Inter BEEの映像制作・放送関連機器部門とプロオーディオ部門では来場される客層が異なるため、プロオーディオ部門に単独出展することで、プロオーディオ業界のお客様にもっとアピールできるのではないかと、音響現場のお客様と一緒に作り上げてきたブランドでもあるため、少しでもプロオーディオ業界に貢献できるようにと考えて開発した商品を展示することも出展の意図として大きな部分」(三橋氏)

■ラインアレイスピーカーと新製品のパワーアンプ、音響シミュレーションソフトを出展

「Inter BEE 2018では、2017年発売のラインアレイスピーカー『WS-LA500Aシリーズ』に加え、新製品のDSP内蔵デジタルパワーアンプ『WP-DM900シリーズ』、ラインアレイスピーカーを含めた音響シミュレーションソフト (Panasonic Acoustics Simulation Designer: PASD) を出展した」(松本氏)

「新製品のデジタルパワーアンプ『WP-DM900シリーズ』は、定格出力1200W×4ch (WP-DM948)、600W×4ch (WP-DM924)、300W×4ch (WP-DM912) の3機種をラインアップ。高性能DSPを内蔵した4チャ

ンネルデジタルパワーアンプで、Audinate社が開発したデジタル音声をギガビットイーサネット上で伝送できるIP伝送プロトコル『Danteオーディオネットワーク』に対応している。音響シミュレーションソフト『PASD』を用い、LANポートを通して音響調整のパラメーター値の自動生成、現場での測定によりパラメーター値を自動補正することで音響調整を効率よく行うことが可能だ」

「この『PASD』は、アレイスピーカーカリキュレーターツールや3次元音響シミュレーションに加えFIRオートチューニングツールを装備している。ホールやライブ会場、スタジアムの建築CADデータを取り込み、事前に机上で音響チューニングが可能となる。このPASDで設定した音響チューニングデータをデジタルパワーアンプに転送することで、机上で前提とした音響チューニングがそのまま現場で実現できる。その上で、現場において、実際にマイクで測定して得られた特性の差分をPASDで補正し、アンプに補正したデータを転送する。シミュレーションの時に理想的な音響特性として想定していたものが、実際の現場でその通りに調整が可能となる。現場で音響チューニングのために会場を占有することなく短時間で実行でき、作業効率を高め

ることが可能になる。なお、『PASD』は、デジタルパワーアンプ『WP-DM900シリーズ』とのネットワーク構築により音響パラメーター設定から音響チューニングまで作業の効率性を高めることができる。当社のソリューションとしてラインアレイスピーカーと新製品のDSP内蔵デジタルパワーアンプを選んで頂いたお客様に、この音響シミュレーションソフト『PASD』を提供している」(松本氏)

■実機を直接見てもらい体験してもらうことを大事に

「今年の『INTER BEE EXPERIENCE:X-Speaker』にRAMSAラインアレイスピーカー『WS-LA500Aシリーズ』を出展しているが、高く吊り上げられているので遠巻きにしか見られないという事も有り、ブースに来られるお客様の多くがラインアレイそのものと、使い方や連結の仕方などをじっくり見ていただいた。また、音響シミュレーションソフトについては、元々興味を持って頂いて、直接「これを見に来たかった」というお客様が多かった。Inter BEEでは、このようなお客様に対して実機を直接見てもらい、また実際に操作して体験できるようにしている。今後もこのような展示を通じたコミュニケーションを大事にしていきたい」(三橋氏)



Hall 8



8610

INTER BEE CREATIVE MEET-UP



- 8611 映像センター
- 8612 シーンズ
- 8613 富士フィルム
- 8614 タスカム / ティアック

8504

INTER BEE ((5G))
NTT ドコモ

8216

ブラックマジックデザイン

8503

アイ・ディ・ケイ/
アルパニクス

8313

ビデオ
サービス

8314

アイ・
ディー・
エクス

8215

シグマ

8502

平和
精機工業

8409

銀一

8312

さくら映機

8214

興和
光学

8212

メタル
トイズ

8408

カリーナ
システム

8311

OOYALA

8310

Too

8213

Vocas

Japan

8407

クラウドファン

8308

銀座十字屋

8309

ディリгент事業部

8211

住友
電気
工業

8209

ITG

マーケティング/
日本サムスン

8406

クボテック

8405

IONTAC

8210

ニュー
エックス

ジェーピージェネレーターズ

8404

日本
マイクロソフト

8305

エイチ・
シー・
ネットワークス

8306

テクノ
マセ
マティカル

8208

プラットフォーム/
とくしま4Kフォーラム
実行委員会

8304

ファイバー
ネットワーク

8303

サイトロン
ジャパン

8207

SET

映像情報
メディア学会

8206

電波産業会

エムアイシー・アソシエーツ

8402

理経

8301

ATOMOS

8203

Specatee

8401

エクスプローラ/
PALTEK

8202

シーティー
シー
エスピー

8201

NAB
SHOW

INTER BEE CREATIVE

- 8601 オムニバス・ジャパン
- 8602 ディーアンドエーミュージック
- 8603 レスパスビジョン
- 8604 パナソニック映像
- 8605 キュー・テック
- 8606 音響ハウス
- 8607 日本ポストプロダクション協会

ICT/クロスメディア部門

8001

メディアエッジ



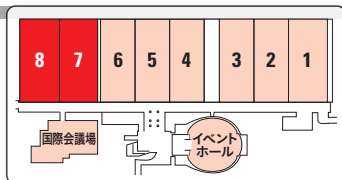
1F

2F

ATOMOS
スイートルーム

Hall 7

映像制作/放送関連機材部門



- 休憩所
- モバイルチャージラウンジ
- 食事
- カフェ
- トイレ
- エレベーター
- フォトスポット

7513 共信コミュニケーションズ

7207 ソニー/
ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ/
ソニービジネスソリューション

7613 JVCケンウッド

7410 タックシステム/
ADDER Technology/
トライテック

7206 アスク

7209 アスク/
Insta360

8106 ベーシックテック

7510 タケナカ/
シムディレクト/
アークベンチャーズ

7408 カベラ
システムズ

7409 ティー
エム・
エス

7205 AJA Video
Systems

7204 アスク/
ディストーム

7102 アイティーシー

8105 コム
ワース

8104 システム
計画
研究所

7203 エルグ

7202 ノビテック

7101 ランサー
リンク

7509 放送サービス高度化
推進協会

7406 TBSテレビ

7201 ビジュアル・
グラフィックス

7208 メラノックステクノロジーズジャパン/
サーヴァンツインターナショナル

7301 トップ・クリエーション

7302 NHK

7303 テレビせとうち

7304 アトラクター

7306 IPTVフォーラム
関西テレビ放送
スカパーJSAT
テレビ朝日
TBSテレビ
フジテレビジョン

7307 マルチスクリーン型
放送研究会

7308 HAROiD

7309 ライムライト・
ネットワークス・ジャパン

7003 日本デジタル・プロセッシング・システムズ

7002 PlayCanvas運営事務局

7001 メモリーテック

7005 加賀ソルネット

7004 ティ・アイ・ディ

7609 7610 7607 7611 7606

7507 フェイ
ユー
テック

7508 ジョリー
グッド

7404 シスコ
システムズ

7405 シスコ

7402 伊藤忠
テクノ
ソリューションズ

7403 メディア
キャスト

7505 Macro Image Technology
アカマイ・テクノロジーズ

7504 エレコム/
DXアンテナ/
ハギワラ
ソリューションズ

7401 エレコム/
DXアンテナ/
ハギワラ
ソリューションズ

7503 KOBA 2019

7501 フジミック

7502 ニュー
メディア

7604 7601 7603 7602

7603 メディア
プラス

7602 データブロード

7601 東北
新社

7611 ヴァレッジ
アイランド

7606 エビリー

8102 IABM
Lounge

8101 吉積情報
サムシングファン

ブルデンシャル生命保険

7005 加賀ソルネット

7004 ティ・アイ・ディ

7003 日本デジタル・プロセッシング・システムズ

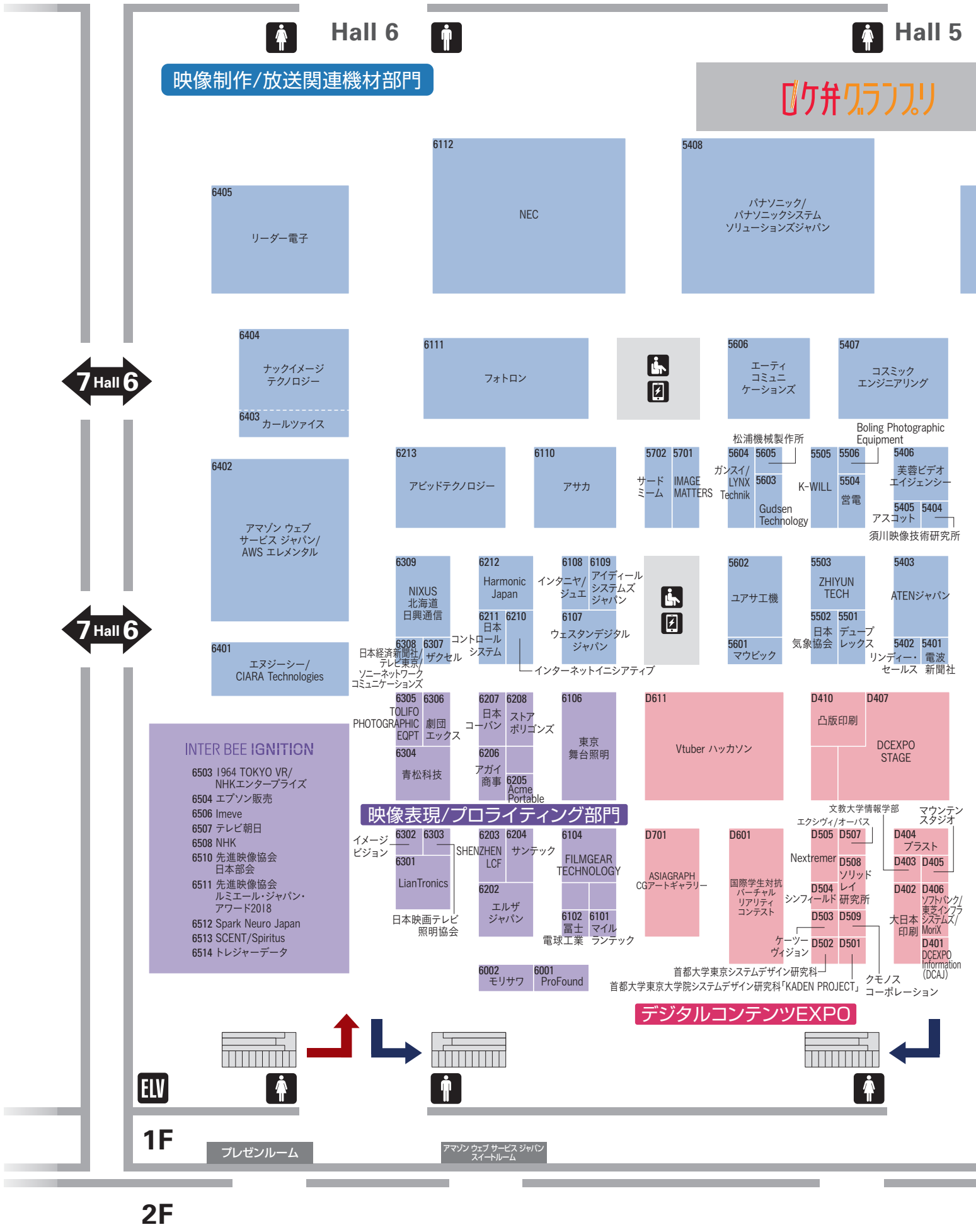
7002 PlayCanvas運営事務局

7001 メモリーテック



登録カウンター

商談ルーム
救護室 事務局 宅配便コーナー



映像制作/放送関連機材部門

けいけいラボリ

6405 リーダー電子

6112 NEC

5408 パナソニック/ パナソニックシステム ソリューションズジャパン

6404 ナックイメージテクノロジー

6111 フォトロン

5606 エーティ コミュニケーションズ

5407 コスミックエンジニアリング

6403 カールツァイス

6402 アマゾン ウェブ サービス ジャパン/ AWS エレメンタル

6213 アビッドテクノロジー

6110 アサカ

5702 サードミーム

5701 IMAGE MATTERS

5604 ガンスイ/ LYNX Technik

5605 松浦機械製作所

5603 Gudsen Technology

5505 K-WILL

5506 Boling Photographic Equipment

5504 芙蓉ビデオ エイジェンシー

5405 アスコット

5404 須川映像技術研究所

6309 NIXUS 北海道 日興通信

6212 Harmonic Japan

6108 インタニヤ/ ジュエ

6109 アイディール システムズ ジャパン

6211 日本 コントロール システム

6210 ウェスタンデジタル ジャパン

6107 インターネットイニシアティブ

5602 ユアサ工機

5503 ZHIYUN TECH

5403 ATENジャパン

6308 日本経済新聞社/ テレビ東京/ ソニーネットワークコミュニケーションズ

6307 ザクセル

6305 TOLIFO PHOTOGRAPHIC EQPT

6306 劇団エックス

6207 コーバン

6208 ストア ポリゴンズ

6106 東京舞台照明

6205 Acme Portable

6304 青松科技

6206 アガイ商事

6202 エルザジャパン

6102 富士電球工業

6101 マイルランテック

6401 エヌジーシー/ CIARA Technologies

5601 マウピック

5502 気象協会

5501 デューブ レックス

5402 リンディー・セルズ

5401 電波新聞社

INTER BEE IGNITION

- 6503 1964 TOKYO VR/ NHKエンタープライズ
- 6504 エプソン販売
- 6506 lmeve
- 6507 テレビ朝日
- 6508 NHK
- 6510 先進映像協会 日本部会
- 6511 先進映像協会 ルミエール・ジャパン・アワード2018
- 6512 Spark Neuro Japan
- 6513 SCENT/Spiritus
- 6514 トレジャーデータ

映像表現/プロライティング部門

6302 イメージビジョン

6303 SHENZHEN LCF

6203 サンテック

6204 FILMGEAR TECHNOLOGY

6104 Nextremer

6301 LianTronics

6202 日本映画テレビ照明協会

6202 エルザジャパン

6102 富士電球工業

6101 マイルランテック

6002 モリサワ

6001 ProFound

D611 Vtuber ハッカソン

D410 凸版印刷

D407 DCEXPO STAGE

D701 ASIAGRAPH CGアートギャラリー

D601 国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト

D505 エクシヴィ/オーバス

D507 マウンテンスタジオ

D404 プラスト

D403 ソフトバンク/ 東芝インフラシステムズ/ Monix

D402 大日本印刷

D406 DC&EXPO Information (DC&I)

D508 ソリッドレイ

D509 シンフィールド研究所

D502 ケーラーヴィジョン

D501 クモノス コーポレーション

文京大学情報学部

マウンテンスタジオ

国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト

シンフィールド研究所

エクシヴィ/オーバス

マウンテンスタジオ

ソフトバンク/ 東芝インフラシステムズ/ Monix

大日本印刷

DC&EXPO Information (DC&I)

文京大学情報学部

マウンテンスタジオ

デジタルコンテンツEXPO

ELV

1F

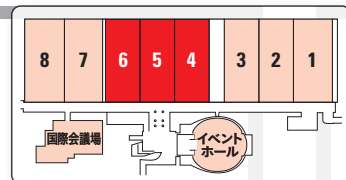
2F

プレゼンルーム

アマゾン ウェブ サービス ジャパン スイートルーム



Hall 4



5207
アズラボ

4515
池上通信機

4314
東芝グループ
東芝インフラシステムズ/
東芝ライテック/
東芝エルティエエンジニアリング/
東芝デジタルソリューションズ/
東芝メモリ

4207
キヤノン/
キヤノンマーケティング
ジャパン

5306
ローランド

5104
昭特製作所/
レントアクト昭特

4514
イメージニクス/
ビデオトロン

4313
ヒビノクロマテック Div./
ヒビノインターサウンド/
スチューダー・ジャパン
ブロードキャスト/
エレクトリ/
ヒビノ(ネットワーク)

4206
デジキャス



5305 5303
バイオス SWIT
RIP-TIE Electronics

5206 5205 5204
Extron, Japan サン テクネ
キャンパス

5103
ニコ
システム

4612 4613
マルミ
光機

4513 4511
ターボ
システムズ

4413 4411
オンリー
スタイル 日本
通信機

4312
クロス
イメージング

4205
ジャパンマテリアル/
Visual Research/
Matrox Graphics

JUNS 4105
デジコム 4104
おいぬ
ビジョン 4103
スタジオ
イクイブ
メント 4102

5302
TVU
Networks

5203 5201
イノコス/
ケイトン
テクノロジ
ジャパン
トラフィック
シム

4610
カナレ電気

4509 4510
ラテック
アイベックス
テクノロジー

4410
石川トランク
製作所

4309 4310
ソリトン
システムズ

4204
ケンコープロフェッショナル
イメージング/
ケンコー・キナー/
スリック

ZHANGZHOU SEETEC
OPTOELECTRONICS TECHNOLOGY
4203
東通
インターナショナル



大原テクノデザインアート
専門学校
D315 D317
ユーフォニック
D313 D318
ANA International
パロ
ニム
ホルディングス
デジタル
デザインラボ
D312 D311
群馬大学大学院
奥見隆研究室
スタンフォード大学
(from SIGGRAPH2018)

SXSW サウスバイ
サウスウエスト
D204 D206
Noitom ポケット
インター
ナショナル
D203 D208
Hapbeat
D202 D201
Wizme IVR

台湾経済部デジタルエコンミ
産業推進オフィス
D115 D116
DataMesh/
MX
モバイリング
D114
D113 D118
ハニカムラボ
D112 D111
SOOTH オフィス
ゼロ

GIGATRONIX
小峰無線電機
4606 4607
精工技研
4604
武蔵
DTS
インサイト
4605
ラリタン
ジャパン

4507
日立
ハイテック
ソリューションズ
4506 4505
富士ライト
商事
4406
アンリツ
4405
NTT
グループ

4307
TILTA
4306 4305
エミック シナジー

4202
三友

4101
メディア
パートナー

D306 D307
シルバード
D305 D308
歯っぴー 大阪大学佐藤宏介研究室
D304 D309
D106 D107 D108 D109 D110
3D Medivision Aposter POPSLINE Hanbitsoft Hololive
Global
D105 D104 D103 D102 D101
SISTO SASTO SASTO SASTO Japan From Contents
D302 D301
筑波大学サイバニクス研究センター人工知能研究室
慶應義塾大学理工学部形本研究室
東京大学/科学技術振興機構(JST)/ERATO 川原 万有情報網プロジェクト
首都大学東京池井研究室/NTTコミュニケーション科学基礎研究所
東京大学情報理工学系研究科喜通川研究室/佐藤真一研究室
電気通信大学情報学専攻小泉研究室
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

LAVAL
VIRTUAL
SIGGRAPH アジア2018
D119
経済産業省 BizTech*Match
マッチングゾーン

4603
加藤
電気工業所
4602 4601
府中技研 シーンズ

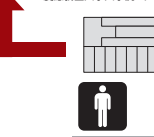
4503 4504
ネットワーク
エレクトロニクス
ジャパン
4502
テイク
4501
マイクロコム

4403 4404
緑屋電気
4401
田中
電気
4402
三和
映材社/
三和
プロライト
4402
メタデータ

4303 4304
浅沼商会
4301
ベルボン/
MILLER
4302
ネオキーパー

4201
ヴァイテック
プロダクション
ソリューションズ

4001
ヴァイテックイメージング



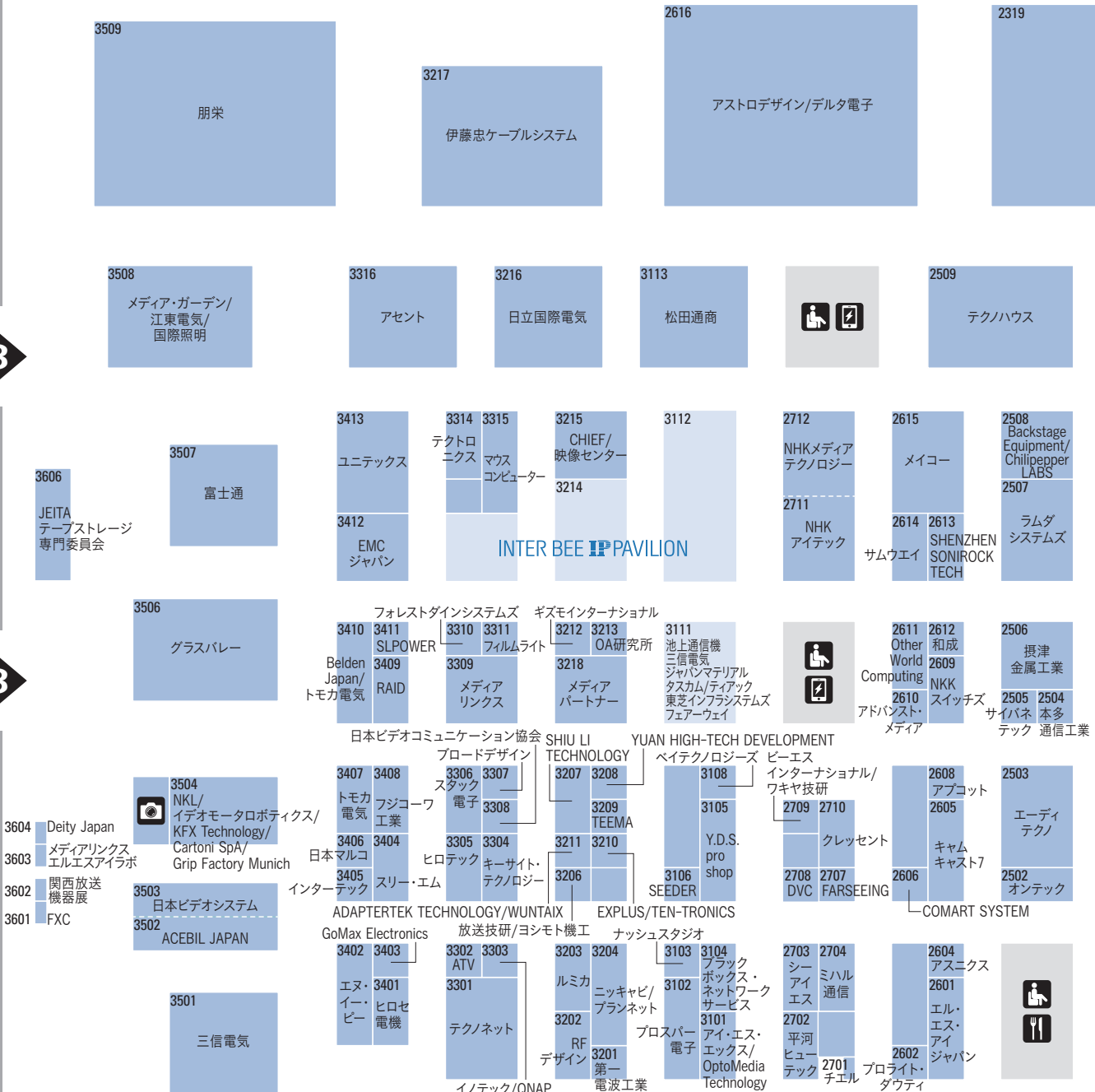
プレスルーム

商談ルーム

ミーティングルーム

Hall 3

映像制作/放送関連機材部門



ELV

1F

2F

商談ルーム

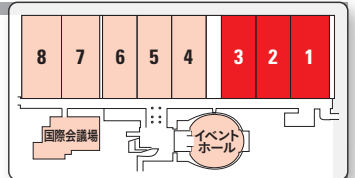
ヤマハサウンドシステム/キャンソートルーム

事務局

Hall 2

Hall 1

プロオーディオ部門



NHK/JEITA

2116 富士フィルム

2318 オーディオブレインズ/マーチンオーディオジャパン

2217 オタリテック

2410 エス・シー・アライアンス

2409 アートウイズ

2408 ヤマキ電気

2407 ノイトリック

2404 ラグナヒルズ/DATATON

2402 エイム電子

2401 三井物産エアロスペース

2305 スタジオイクイブメント

2304 高橋建設

2302 三井物産エアロスペース

2303 高橋建設

2301 datavideo japan/M&Inext

2300 オンス

2205 ボッシュ

2204 シェンセン

2203 シェンセン

2202 TOA

2201 Audinate

2200 クオンプラス/クオンプラス/ジャパン

2201 オンキヨー

2202 ホルトアンペア

2203 フェア

2204 モガミ電線

2205 モガミ電線

2206 BOYA

2207 伊藤忠ケーブルシステム

2208 モアソン

2209 モアソン

2210 カエルワークス

2211 カエルワークス

2212 カエルワークス

2213 カエルワークス

2214 カエルワークス

2215 カエルワークス

2216 カエルワークス

2217 カエルワークス

2218 カエルワークス

2219 カエルワークス

2220 カエルワークス

2221 カエルワークス

2222 カエルワークス

2223 カエルワークス

2224 カエルワークス

2225 カエルワークス

2226 カエルワークス

2227 カエルワークス

2228 カエルワークス

2229 カエルワークス

2230 カエルワークス

2231 カエルワークス

2232 カエルワークス

2233 カエルワークス

2234 カエルワークス

2235 カエルワークス

2236 カエルワークス

2237 カエルワークス

2238 カエルワークス

2239 カエルワークス

2240 カエルワークス

2241 カエルワークス

2242 カエルワークス

2243 カエルワークス

2244 カエルワークス

2245 カエルワークス

2246 カエルワークス

2247 カエルワークス

2248 カエルワークス

2249 カエルワークス

2250 カエルワークス

2251 カエルワークス

2252 カエルワークス

2253 カエルワークス

2254 カエルワークス

2255 カエルワークス

2256 カエルワークス

2257 カエルワークス

2258 カエルワークス

2259 カエルワークス

2260 カエルワークス

2261 カエルワークス

2262 カエルワークス

2263 カエルワークス

2264 カエルワークス

2265 カエルワークス

2266 カエルワークス

2267 カエルワークス

2268 カエルワークス

2269 カエルワークス

2270 カエルワークス

2271 カエルワークス

2272 カエルワークス

2273 カエルワークス

2274 カエルワークス

2275 カエルワークス

2276 カエルワークス

2277 カエルワークス

2278 カエルワークス

2279 カエルワークス

2280 カエルワークス

2281 カエルワークス

2282 カエルワークス

2283 カエルワークス

2284 カエルワークス

2285 カエルワークス

2286 カエルワークス

2287 カエルワークス

2288 カエルワークス

2289 カエルワークス

2290 カエルワークス

2291 カエルワークス

2292 カエルワークス

2293 カエルワークス

2294 カエルワークス

2295 カエルワークス

2296 カエルワークス

2297 カエルワークス

2298 カエルワークス

2299 カエルワークス

2300 カエルワークス

2301 カエルワークス

2302 カエルワークス

2303 カエルワークス

2304 カエルワークス

2305 カエルワークス

2306 カエルワークス

2307 カエルワークス

2308 カエルワークス

2309 カエルワークス

2310 カエルワークス

2311 カエルワークス

2312 カエルワークス

2313 カエルワークス

2314 カエルワークス

2315 カエルワークス

2316 カエルワークス

2317 カエルワークス

2318 カエルワークス

2319 カエルワークス

2320 カエルワークス

2321 カエルワークス

2322 カエルワークス

2323 カエルワークス

2324 カエルワークス

2325 カエルワークス

2326 カエルワークス

2327 カエルワークス

2328 カエルワークス

2329 カエルワークス

2330 カエルワークス

2331 カエルワークス

2332 カエルワークス

2333 カエルワークス

2334 カエルワークス

2335 カエルワークス

2336 カエルワークス

2337 カエルワークス

2338 カエルワークス

2339 カエルワークス

2340 カエルワークス

2341 カエルワークス

2342 カエルワークス

2343 カエルワークス

2344 カエルワークス

2345 カエルワークス

2346 カエルワークス

2347 カエルワークス

2348 カエルワークス

2349 カエルワークス

2350 カエルワークス

2351 カエルワークス

2352 カエルワークス

2353 カエルワークス

2354 カエルワークス

2355 カエルワークス

2356 カエルワークス

2357 カエルワークス

2358 カエルワークス

2359 カエルワークス

2360 カエルワークス

2361 カエルワークス

2362 カエルワークス

2363 カエルワークス

2364 カエルワークス

2365 カエルワークス

2366 カエルワークス

2367 カエルワークス

2368 カエルワークス

2369 カエルワークス

2370 カエルワークス

2371 カエルワークス

2372 カエルワークス

2373 カエルワークス

2374 カエルワークス

2375 カエルワークス

2376 カエルワークス

2377 カエルワークス

2378 カエルワークス

2379 カエルワークス

2380 カエルワークス

2381 カエルワークス

2382 カエルワークス

2383 カエルワークス

2384 カエルワークス

2385 カエルワークス

2386 カエルワークス

2387 カエルワークス

2388 カエルワークス

2389 カエルワークス

2390 カエルワークス

2391 カエルワークス

2392 カエルワークス

2393 カエルワークス

2394 カエルワークス

2395 カエルワークス

2396 カエルワークス

2397 カエルワークス

2398 カエルワークス

2399 カエルワークス

2400 カエルワークス

2401 カエルワークス

2402 カエルワークス

2403 カエルワークス

2404 カエルワークス

2405 カエルワークス

2406 カエルワークス

2407 カエルワークス

2408 カエルワークス

2409 カエルワークス

2410 カエルワークス

2411 カエルワークス

2412 カエルワークス

2413 カエルワークス

2414 カエルワークス

2415 カエルワークス

2416 カエルワークス

2417 カエルワークス

2418 カエルワークス

2419 カエルワークス

2420 カエルワークス

2421 カエルワークス

2422 カエルワークス

2423 カエルワークス

2424 カエルワークス

2425 カエルワークス

2426 カエルワークス

2427 カエルワークス

2428 カエルワークス

2429 カエルワークス

2430 カエルワークス

2431 カエルワークス

2432 カエルワークス

2433 カエルワークス

2434 カエルワークス

2435 カエルワークス

2436 カエルワークス

2437 カエルワークス

2438 カエルワークス

2439 カエルワークス

2440 カエルワークス

2441 カエルワークス

2442 カエルワークス

2443 カエルワークス

2444 カエルワークス

2445 カエルワークス

2446 カエルワークス

2447 カエルワークス

2448 カエルワークス

2449 カエルワークス

2450 カエルワークス

2451 カエルワークス

2452 カエルワークス

2453 カエルワークス

2454 カエルワークス

2455 カエルワークス

2456 カエルワークス

2457 カエルワークス

2458 カエルワークス

2459 カエルワークス

2460 カエルワークス

2461 カエルワークス

2462 カエルワークス

2463 カエルワークス

2464 カエルワークス

2465 カエルワークス

2466 カエルワークス

2467 カエルワークス

2468 カエルワークス

2469 カエルワークス

2470 カエルワークス

2471 カエルワークス

2472 カエルワークス

2473 カエルワークス

2474 カエルワークス

2475 カエルワークス

2476 カエルワークス

2477 カエルワークス

2478 カエルワークス

2479 カエルワークス

2480 カエルワークス

2481 カエルワークス

2482 カエルワークス

2483 カエルワークス

2484 カエルワークス

2485 カエルワークス

2486 カエルワークス

2487 カエルワークス

2488 カエルワークス

2489 カエルワークス

2490 カエルワークス

2491 カエルワークス

2492 カエルワークス

2493 カエルワークス

2494 カエルワークス

2495 カエルワークス

2496 カエルワークス

2497 カエルワークス

2498 カエルワークス

2499 カエルワークス

2500 カエルワークス

1310 ヒビノ
プロオーディオセールスDiv./
ヒビノインターサウンド

1210 ヤマハミュージックジャパン

1413 エレクトリ/
日本音響エンジニアリング/
ヒビノアークス/
ヒビノライティング

1309 シュア・ジャパン

1209 タムラ製作所

1208 ベステックオーディオ/
ピーテック

1207 パナソニック/
パナソニック システム
ソリューションズジャパン

1303 日本テック
トラスト

1206 ポーズ

1204 ソリッド・ステート
ロジック・ジャパン

1205 立井電線

1202 ディーアンドビー・
オーディオテクニク・
ジャパン

1201 ゼンハイザージャパン

1001 サンフォニクス

1003 東レプラスチック精工

1004 エヌティーアイ
ジャパン

1005 オーディオテクニカ

1006 日本テックトラスト

1007 ソニーマーケティング

1008 オーディオブレインズ

1009 オタリテック

1010 ゼンハイザージャパン

1011 ULTRASONIC

1012 ティアック

1013 ヤマハミュージックジャパン

1014 スタジオイクイブメント

1015 オーディオテクニカ

1016 シュア・ジャパン

1017 リワイアー

1018 ヘッドフォン試聴体験展示

1019 X-Headphone

登録カウンター

プロオーディオ部門

Hall 1-2

- 2409 (株)アートウイズ
- 2212 I.S.D.Japan (株)
- 1305 (株)アイコニック
- 1513 (株)アコースティックフィールド
- 1501 アッデン (株)
- 2209 アプローズシステム (株)
- 2109 ANTELOPE AUDIO
- 1511 AMPHENOL AUDIO
- 1508 (株)イースタンサウンドファクトリー
- 2205 伊藤忠ケーブルシステム (株)
- 2113 ウイフィールド
- 2110 ウエタックス (株)
- 2213 (株)ATL-KYOEI
- 2215 エクセル (株)
- 2410 (株)エス・シー・アライアンス
- 1203 エヌデアイジャパン (株)
- 2102 FBT Elettronica S.p.A.
- 1306 (株)エムアイセブンジャパン
- 1402 MQA
- 1503 (株)MTS & ブランニング
- 1413 (株)エレクトリ
- 2201 Audinate Pty Ltd
- 1412 (株)オーディオテクニカ
- 2318 (株)オーディオブレインズ
- 2214 オタリテック (株)
- 2217 オタリテック (株)
- 1301 音響特機 (株)
- 2001 オンキヨーマーケティング (株)
- 2004 オンズ (株)
- 2107 (株)カエルワークス
- 1510 GIGAREX
- 2209 キャッチミー (株)
- 2003 クオンプラス (株)
- 1515 クリプトン・フューチャー・メディア (株)
- 1507 (有)グルーヴ
- 1304 (株)クレセント
- 1411 コーンステック/ロジック (株)
- 2208 (株)KOTOBUKI
- 2101 コモドマッティーナ (株)
- 1514 コンチネンタルフアーイースト (株)
- 2312 (株)ササン音響/ササンアコースティクス
- 2210 Saramonic
- 1506 三研マイクロホン (株)
- 1001 (株)サンフォニクス
- 1308 (株)ジェネレックジャパン
- 2304 Shenzhen Commlite Technology
- 1404 (株)シグマシステムエンジニアリング
- 2313 (株)静科
- 2003 (株)ジャパンディスク
- 1309 シュア・ジャパン
- 1307 (株)シンタックスジャパン
- 1405 (株)ズーム
- 2005 (株)スタジオリブメント
- 1401 (株)須山音研
- 1201 ゼンハイザージャパン (株)
- 1204 ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン (株)
- 1509 タスカム/ティアック (株)
- 1205 立井電線 (株)
- 1410 (株)谷沢製作所
- 1209 (株)タムラ製作所
- 2317 Dan Dugan Sound Design, Inc.
- 1202 ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン (株)
- 2114 ディーエスピージャパン (株)
- 2202 TOA (株)
- 1517 (株)テクノハウス
- 2316 (有)デジコム
- 2311 (株)デジタル・ラボラトリー
- 2406 Denon Professional
- 1003 東レプラスチック精工 (株)
- 1407 (株)ドリーム
- 2211 日本エレクトロ・ハーモニクス (株)
- 1413 日本音響エンジニアリング (株)
- 1303 日本テックラスト (株)
- 1505 一般社団法人日本舞台音響家協会
- 2407 ノイトリック (株)
- 1302 Pioneer DJ (株)
- 1408 花岡無線電機 (株)
- 1207 パナソニック (株)
- 1207 パナソニックシステムソリューションズ ジャパン (株)
- 2104 (有)パリス
- 1208 ビーテック (株)
- 1413 ヒビノアークス (株)
- 1310 ヒビノインターサウンド (株)
- 1310 ヒビノ (株)ヒビノプロオーディオセールス Div.
- 1413 ヒビノライティング (株)
- 1409 (株)フォービット
- 2105 フォステクスカンパニー
- 1512 フラウンホーファー IIS
- 1403 Blackloud
- 1208 ベステックオーディオ (株)
- 1504 ヘッドジャパン
- 2203 ペンファアプリケーションジャパン (株)
- 1206 ホーズ合同会社
- 1503 北海道日興電気通信 (株)
- 2207 ポッシュセキュリティシステムズ (株)
- 2206 BOYA
- 2002 (有)ホルトアンペア
- 2318 (株)マーチンオーディオジャパン
- 2406 Marantz Professional
- 2112 ミックスウェア (株)
- 2310 (株)宮地商会
- 1502 (株)メディア・インテグレーション
- 1516 (株)メディア・インテグレーション
- 2115 (株)メディア・インテグレーション
- 2108 (株)モアソフジャパン
- 2204 モガミ電線 (株)
- 2408 ヤマキ電気 (株)
- 1210 (株)ヤマハミュージックジャパン
- 1406 ライプギア (株)
- 2214 Riedel Communications GmbH & Co. KG
- 2111 リワイアー (株)
- 2314 ルミネックスジャパン (株)

- 2406 RANE
- 2216 レゾネット・エアフォルク (株)
- 1518 Rock on Company

X-Microphone

- 1101 ウエタックス (株)
- 1105 (株)オーディオテクニカ
- 1108 (株)オーディオブレインズ
- 1109 オタリテック (株)
- 1104 ゼンハイザージャパン (株)
- 1107 ソニーマーケティング (株)
- 1106 日本テックラスト (株)
- 1119 マス工房
- 1103 (株)宮地商会 M.I.D
- 1102 ローランド (株)

X-Headphone

- 1111 ULTRASONIC
- 1116 (株)オーディオテクニカ
- 1118 シュア・ジャパン (株)
- 1114 (株)スタジオリブメント
- 1115 (有)スタックス
- 1110 ゼンハイザージャパン (株)
- 1112 ティアック (株)
- 1117 ヒビノ (株)
- 1113 (株)ヤマハミュージックジャパン
- 1120 リワイアー (株)

映像制作/放送関連機材部門

Hall 2-8

- 7510 アークベンチャーズ (株)
- 3202 RF デザイン (株)
- 3101 アイ・エス・エックス (株)
- 8314 (株)アイ・ディー・エクス
- 7102 (株)アイディーシー
- 8209 ITG マーケティング (株)
- 6109 アイデアールシステムズジャパン (株)
- 8503 (株)アイ・ディ・ケイ
- 4510 アイベックステクノロジー (株)
- 2611 Other World Computing, Inc.
- 6110 (株)アサカ
- 4303 (株)浅沼商会
- 7206 (株)アスク
- 7204 (株)アスク/ (株)ディストーム
- 5405 アスコット (株)
- 2616 アストロデザイン (株)
- 2604 アスニクス (株)
- 5207 アズラボ (株)
- 3316 (株)アセント
- 7410 ADDER Technology
- 3211 ADAPTERTEK TECHNOLOGY CO., LTD.
- 2610 (株)アドバンス・メディア
- 6213 アビッドテクノロジー (株)
- 2608 (株)アブコト
- 6402 アマゾン ウェブ サービス ジャパン (株)
- 4612 ALADDIN CO., LTD.
- 8503 (株)アルビニクス
- 4504 アルピクス (株)
- 4408 (株)アルモア
- 4406 アンリツ (株)
- 3412 EMCジャパン (株)
- 8309 IONTAC Inc
- 4515 池上通信機 (株)
- 4410 (株)石川トランク製作所
- 3504 (株)イデオモーターロボティクス
- 3217 伊藤忠ケーブルシステム (株)
- 5203 (株)イノコス
- 3303 イノテック (株)
- 4514 イメージニクス (株)
- 5701 IMAGE MATTERS
- 7209 Insta360
- 3405 (株)インターテック
- 6210 (株)インターネットイノシアティブ
- 6108 (株)インタニヤ
- 4409 INTOPIX SA
- 4001 ヴァイテックイメーキング (株)
- 4201 ヴァイテックプロダクションソリューションズ (株)
- 8311 OOOYALA
- 6107 ウェスタンデジタルジャパン
- 4309 エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン (株)
- 7205 AJA Video Systems
- 7407 EIZO (株)
- 6402 AWS エレメンタル
- 5504 営電 (株)
- 5403 ATEN ジャパン (株)
- 2402 エム電子 (株)
- 3502 ACEBIL JAPAN (株)
- エーティ コミュニケーションズ (株)
- 2503 (株)エーティテック
- 3302 ATV (株)
- 5206 Extron, Japan
- 3210 EXPLUS CO., LTD.
- 3411 SLPPOWER Ltd.
- 6112 NEC
- 3402 エヌ・イー・ピー (株)
- 2712 (株)NHKメディアテクノロジー
- 2711 (株)NHKアイテック
- 2609 NKKスイッチズ (株)
- 3504 (株)NKL
- 6401 (株)エヌジーシー
- 5405 NTT エレクトロニクス (株)
- 4405 NTT テクノクロス (株)
- 3601 FXC (株)
- 4306 (株)エミツク
- 2601 エル・エス・アイ ジャパン (株)
- 7203 (株)エルグベンチャーズ
- 4313 (株)エレクトリ
- 4103 (株)おしぬビジョン
- 3213 (株)OA 研究所
- 4512 Open Stack, Inc.
- 3101 OptoMedia Technology Inc.
- 2502 (株)オンテック
- 4413 オンリースタイル
- 6403 カールツァイス (株)

- 4603 (株)加藤電気工業所
- 4610 カナレ電気 (株)
- 7408 カペラスシステムズ
- 8408 カリーナシステム (株)
- 3504 Cartoni SpA
- 4611 川崎重工業 (株)
- 3602 関西放送機器展
- 5604 (株)カンスイ
- 5102 (株)カシハス
- 3304 キーサイト・テクノロジ (株)
- 4608 GIGATRONIX LTD
- 3212 (株)ギズモインターナショナル
- 4207 キヤノン (株)/キヤノンマーケティングジャパン (株)
- 2605 (株)キャムキャスト7
- 3303 QNAP (株)
- 7513 共信コミュニケーションズ (株)
- 8409 銀一 (株)
- 8308 (株)銀座十文字 ディリгент事業部
- 5603 Gudsen Technology Co.,Ltd
- 8406 クボテック (株)
- 8407 クラウドアム (株)
- 3506 グラスパレー (株)
- 3504 Grip Factory Munich GmbH
- 2710 (株)クレセント
- 4513 (株)グローバルアライアンス
- 4312 クロスイメーキング (株)
- 5505 (株)K-WILL
- 5203 ケイトンテクノロジー (株)
- 3504 KFX Technology
- 4204 (株)ケンコー・トキナー
- 4204 (株)ケンコープロフェッショナルイメーキング
- 3508 江東電気 (株)
- 8214 興和光学 (株)
- 3403 GoMax Electronics, INC.
- 3508 国際照明 (株)
- 5407 (株)コスミックエンジニアリング
- 2606 COMART SYSTEM CO.,LTD
- 4609 小峰無線電機 (株)
- 2007 COMREX Corporation
- 8105 (株)コムワース
- 7208 サーフヴァンツインターナショナル (株)
- 5702 サードミーム (株)
- 2505 (株)サイバネテック
- 6307 (株)ザクセル
- 8312 さくら映機 (株)
- 2614 (株)サムウエイ
- 3501 三信電気 (株)
- 4310 ZHANGZHOU SEETEC OPTOELECTRONICS TECHNOLOGY CO., LTD
- 5205 (株)サンビューン
- 4401 (株)三和映材社
- 4401 (株)三和プロライト
- 6401 CIARA Technologies
- 2703 (株)シーアイエス
- 3106 SEEDER
- (株)シーンス
- 3207 SHIJI TECHNOLOGY CO., LTD.
- 7613 (株)JVCケンウッド
- 8405 (株)ジェーピーエネレーターズ
- 2613 SHENZHEN SONIROCK TECH CO.,LTD
- 8215 (株)シグマ
- 8104 (株)システム計画研究所
- 4305 (株)シナジー
- 7510 (株)シムテレクト
- 4205 ジャパンマテリアル (株)
- 4612 (株)シューテック・ジャパン
- 6108 ジュエ (株)
- 4105 JUNS (株)
- 5503 ZHIYUN TECH
- 5104 (株)昭特製作所
- 5303 SWIT Electronics Co., Ltd.
- 5404 (株)須川映像技術研究所
- 5301 スターコミュニケーションズ (株)
- 4102 (株)スタジオリブメント
- 3306 スタック電子 (株)
- 4313 スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト (株)
- 8211 住友電気工業 (株)
- 3404 (株)スリー・エム
- 4204 スリック (株)
- 4607 (株)精工技研
- 5202 セイコーソリューションズ (株)
- 2506 摂津金属工業 (株)
- 4508 Semtech Corporation
- 7207 ソニー (株)/ソニーイメーキングプロダクツ & ソリューションズ (株)
- ソニービジネスソリューション (株)
- ソニーネットワークコミュニケーションズ (株)
- 4308 (株)ソリッドシステムズ
- 4511 ターボシステムズ (株)
- 3201 第一電波工業 (株)
- 3209 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)
- 2303 高橋建設 (株)
- 7510 (株)タケナカ
- 4311 立井電線 (株)
- 7410 タックスシステム (株)
- 4403 田中電気 (株)
- 3215 CHIEF/映像センター
- 2701 チェル (株)
- 2508 ChilipepperLABS, Inc.
- 7409 (株)ティア・エム・エス
- 7406 (株)TBSテレビ
- 5302 TVU Networks
- 2708 (株)DVC
- 4502 (株)テイク
- 4604 (株)DTS インサイト
- 3604 Deity Japan 合同会社
- 4307 TILTA
- 2302 datavideo japan/ (株)M&Inext
- 3314 テクトロニクス
- 5204 (株)テックアドバンス
- 3301 (株)テックネット
- 2509 (株)テクノハウス
- 4206 デジキャスト合同会社
- 4104 (有)デジコム
- 2404 DATATON
- 5501 (株)デュプレックス
- 2616 デルタ電子 (株)

- 5101 テレデザイン・レクローイ・ジャパン (株)
- 6308 (株) テレビ東京
- 4412 (株) テレフォース
- 2319 一般社団法人電子情報技術産業協会 AVC 部会
- 3606 一般社団法人電子情報技術産業協会 テープストレージ専門委員会
- 3210 TEN-TRONICS CO., LTD.
- 5401 (株) 電波新聞社
- 8310 (株) Too
- 4314 東芝インフラシステムズ (株)
- 4314 東芝ライテック (株)
- 4314 東芝エルティエーエンジニアリング (株)
- 4314 東芝デジタルソリューションズ (株)
- 4314 東芝メモリ (株)
- 4203 (株) 東通インターナショナル
- 3407 トモカ電気 (株)
- 7410 (株) トライテック
- 5201 (株) トライフック・シム
- 6404 (株) ナックイメージテクノロジ
- 3103 (株) ナッシュスタジオ
- 6309 NIXUS 北海道日興通信 (株)
- 5103 (株) ニコンシステム
- 3204 ニックヤビ (株)
- 2006 日産住金溶接工業 (株)
- 5502 一般財団法人日本気象協会
- 6308 (株) 日本経済新聞社
- 6211 日本コントロールシステム (株)
- 8209 日本サムスン (株)
- 4411 日本通信機 (株)
- 4405 日本電信電話 (株)
- 3308 特定非営利活動法人日本ビデオコミュニケーション協会
- 3503 (株) 日本ビデオシステム
- 2319 日本放送協会
- 3406 日本マルコ (株)
- 3001 日本無線 (株)
- 8210 (株) ニューエックス
- 4302 ネオキーパー
- 4503 ネットワークエレクトロニクスジャパン (株)
- 7202 (株) ノビテック
- 6212 Harmonic Japan 合同会社
- 5305 (株) ハイオス
- 2508 Backstage Equipment, Inc.
- 5408 パナソニック (株)
- 5408 パナソニックシステムソリューションズ ジャパン (株)
- 2709 ビーエスインターナショナル (株)
- 4304 (株) ビーテック
- 7201 ビジュアル・グラフィックス (株)
- 4205 Visual Research Inc.
- 3216 (株) 日立国際電気
- 4508 (株) 日立ハイテクソリューションズ
- 8313 (株) ビデオサービス
- 4514 ビデオトロン (株)
- 4313 ヒビノインターサウンド (株)
- 4313 ヒビノ (株) (ネットワーク)
- 4313 ヒビノ (株) ヒビノクロマテック Div.
- 2702 平河ヒューテック (株)
- 3401 ヒロセ電機 (株)
- 3305 ヒロテック (株)
- 2707 FARSEING CO.,LTD
- 3311 フィルムライト (株)
- 6111 (株) フォトロン
- 3310 フォレストデザインシステムズ (株)
- 3408 フジコープ工業 (株)
- 3507 富士通 (株)
- 2116 富士フィルム (株)
- 4505 富士ライト商事 (株)
- 4602 (株) 府中技研
- 5406 (株) 芙蓉ビデオエージェンシー
- 3104 ブラックボックス・ネットワークサービス (株)
- 8216 ブラックマジックデザイン (株)
- 3204 (有) ブランネット
- 3307 ブロードデザイン (株)
- 3102 (株) プロスパー電子
- 2602 プロライト・ダウテック (株)
- 3108 ヘイテックロジーズ (株)
- 8502 平和精機工業 (株)
- 8106 (株) ベーシックテック
- 3410 Belden Japan/トモカ電気 (株)
- 4301 ベルボン (株)
- 3509 (株) 朋栄
- 3206 (株) 放送技研
- 8213 Vocas Japan
- 5506 Boling Photographic Equipment Company
- 2504 本多通信工業 (株)
- 4501 (株) マイクロコム
- 2009 (株) マイクロボード・テクノロジ
- 3315 (株) マウスコンピューター
- 5601 (株) マウビック
- 5605 (株) 松浦機械製作所
- 3113 松田通商 (株)
- 4205 Matrox Graphics Inc.
- 4613 マルミ光機 (株)
- 2401 三井物産エアロスペース (株)
- 4202 三友 (株)
- 4404 緑屋電気 (株)
- 2704 ミハレ通信 (株)
- 4301 MILLER
- 4606 武蔵 (株)
- 4506 武蔵オプティカルシステム (株)
- 2615 (株) メイコー
- 4402 メタデータ
- 8212 メタルトイズ
- 3508 (株) メディア・ガーデン
- 3309 (株) メディアリンクス
- 3603 (株) メディアリンクスエルエスアイラボ
- 7208 メラノックステクノロジーズジャパン (株)
- 5602 ユアサ工機 (株)
- 3208 YUAN HIGH-TECH DEVELOPMENT CO., LTD.
- 3413 (株) ユニテックス
- 2008 (株) よしみカメラ
- 3206 (有) ヨシモト機工
- 2404 (株) ラグナヒルズ
- 4509 (有) ラテック
- 2507 (株) ラムダシステムズ
- 4605 ラリタン・ジャパン (株)
- 7101 ランサーリンク (株)

- 6405 リーダー電子 (株)
- 2301 LEAP OPTICAL TECHNOLOGY CORP.
- 5304 (株) RIP-TIE
- 5604 LYNX Technik AG
- 5402 (株) リンクフィー・セールス
- 3203 (株) ルミカ
- 3409 (株) RAID
- 5104 (株) レントアクト昭特
- 5306 ローランド (株)
- 3105 (株) Y.D.S.pro shop
- 2709 ワキヤ技研 (株)
- 2612 和成 (株)
- 3211 WUNTAIX CO., LTD.

INTER BEE IP PAVILION

- 3111 池上通信機 (株)
- 3111 三信電気 (株)
- 3111 ジャパンマテリアル (株)
- 3111 タスカム/ティアック (株)
- 3111 東芝インフラシステムズ (株)
- 3111 (株) フェアウエイ

映像表現/プロライティング部門

Hall 6

- 6304 青松科技
- 6206 アガイ商事 (株)
- 6205 Acme Portable Corp.
- 6302 イメーゾソリューションズ (株)
- 6202 (株) エルザジャパン
- 6306 劇団エックス
- 6204 (株) サンテック
- 6203 SHENZHEN LCF
- 6208 ストアボリゴンズ
- 6106 (株) 東京舞台照明
- 6305 TOLFO PHOTOGRAPHIC EQPT CO.
- 6303 日本映画テレビ照明協会
- 6207 日本コーパン (株)
- 6104 FILMGEAR TECHNOLOGY LTD
- 6102 富士電球工業 (株)
- 6001 ProFound
- 6101 (株) マイルランテック
- 6002 (株) モリサワ
- 6301 LianTronics

INTER BEE IGNITION

- 6503 1964 TOKYO VR/NHK エンタープライズ
- 6506 Imeve Inc.
- 6508 NHK
- 6504 エフソフ販売 (株)
- 6512 (株) Spark Neuro Japan
- 6510 先進映像協会 日本部会
- 6511 先進映像協会 ルミエール・ジャパン・アワード2018
- 6513 SCENT/Spiritus
- 6507 (株) テレビ朝日
- 6514 トレジャーデータ (株)

ICT/クロスメディア部門

Hall 7-8

- 7504 アカマイ・テクノロジーズ合同会社
- 8301 ATOMOS (株)
- 7609 アリスタネットワークスジャパン合同会社
- 7402 伊藤忠テクノソリューションズ (株)
- 7607 (株) ヴェルジリアランド
- 8304 特定非営利活動法人 映像産業振興機構
- 8217 一般社団法人映像情報メディア学会
- 8305 エイチ・シー・ネットワークス (株)
- 8401 (株) エクスプローラ
- 8207 SET
- 8201 NAB SHOW
- 7606 (株) エビリー
- 8203 エムアイシー・アンシエーツ (株)
- 7401 エレコム (株)
- 7005 加賀ソルネット (株)
- 7503 KOBA 2019 (KOREA E & EX INC.)
- 8303 (株) サイトロンジャパン
- 7603 (株) サムシングファン
- 7611 CCBN
- 8202 シーティーシー・エスピー (株)
- 7404 シスコシステムズ
- 7508 (株) ジョーリーグッド
- 8204 (株) Spectee
- 7004 (株) ティ・アイ・ディ
- 7401 DXアンテナ (株)
- 7604 (株) データブロード
- 8306 (株) テクノマセマティカル
- 8206 一般社団法人電波産業会
- 7610 (株) 東北新社
- 8208 とくしま4Kフォーラム実行委員会
- 7003 日本デジタル・プロセッシング・システムズ (株)
- 8404 日本マイクロソフト (株)
- 7502 (株) ニューメディア
- 7401 ハギワラソリューションズ (株)
- 8401 (株) PALTEK
- 8402 (株) ファイバーネットワーク
- 8501 (株) フェアウエイ
- 7507 フェイユテック
- 7501 (株) フジミック
- 8208 (株) プラトイーズ
- 7602 プルデンシャル生命保険 (株)
- 7002 PlayCanvas 運営事務局
- 7509 一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
- 7405 北陸電話工事 (株)
- 7505 Macro Image Technology Inc.
- 8001 メディアエッジ (株)
- 7403 (株) メディアキャスト
- 7601 (株) メディアプラス
- 7001 メモリーテック (株)
- 8101 吉積情報 (株)
- 8403 (株) 理経

INTER BEE CONNECTED

- 7306 一般社団法人IPTVフォーラム
- 7306 関西テレビ放送 (株)

- 7306 スカパー JSAT (株)
- 7306 (株) テレビ朝日
- 7306 (株) TBSテレビ
- 7306 (株) フジテレビジョン
- 7304 (株) アトラクター
- 7303 NHK
- 7303 テレビせとうち (株)
- 7301 (株) トップ・クリエーション
- 7308 (株) HAROLD
- 7307 マルチスクリーン型放送研究会
- 7309 ライムライト・ネットワークス・ジャパン (株)

INTER BEE CREATIVE

- 8601 (株) オムニバス・ジャパン
- 8606 (株) 音響ハウス
- 8605 (株) キュー・テック
- 8602 (有) ディーアンドエーミュージック
- 8607 一般社団法人日本ポストプロダクション協会
- 8604 パナソニック映像 (株)
- 8603 レスパビジョン (株)

MEET-UP Hands On Area

- 8611 (株) 映像センター
- 8612 (株) シーンズ
- 8614 タスカム/ティアック (株)
- 8613 富士フィルム (株)

INTER BEE 5G

- 8504 (株) NTTドコモ

IABM Pavilion

- 8103 IABM
- 8103 APERI CORPORATION
- 8103 B&M VIDEO TECH LLC.
- 8103 BEBOP TECHNOLOGY
- 8103 Chrosziel GmbH
- 8103 DENSTRON TECHNOLOGIES
- 8103 DIGITAL ANARCHY/Transcriptive
- 8103 GLOOKAST
- 8103 HI TECH SYSTEMS LTD
- 8103 Imagine Communications
- 8103 NAGRA
- 8103 RGBLINK
- 8103 SpectraCal / Portrait Displays, Inc.
- 8103 Studio Network Solutions
- 8103 THEO TECHNOLOGIES

デジタルコンテンツEXPO

Hall 5

Exhibition

- D701 ASIAGRAPH CGアートギャラリー
- D107 Apposter Inc.
- D313 ANA ホールディングス (株) デジタル・デザイン・ラボ
- D507 (株) エクシヴィ/ (株) オーパス
- D102 EpicLive Japan
- D317 大原テクノデザインアート専門学校
- D509 クモノコーポレーション (株)
- D503 ケーソー・ヴィジョン (同)
- D601 国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト
- D103 Circus Company INC.
- D114 SXSW サウスバイサウスウエスト
- D113 SIGGRAPH アジア 2018
- D105 SISTO CO., LTD.
- D502 首都大学東京 システムデザイン研究科
- D501 首都大学東京大学院システムデザイン研究科「KADEN PROJECT」
- D504 (株) シンフィールド
- D104 Starship Vending-machine Corp.
- D106 3D Medivision INC.
- D406 ソフトバンク (株) / 東芝インフラシステムズ (株) / (株) Morix
- D508 (株) ソリドレイ研究所
- D402 大日本印刷 (株)
- D115 台湾經濟部デジタルエコノミー産業推進オフィス
- D401 DCEXPO Information (DCAJ)
- D116 DataMesh (株) / MX モバイル (株)
- D410 凸版印刷 (株)
- D505 (株) Nextremer
- D204 Noitom International, Inc.
- D118 (株) ハニカムラボ
- D318 ハロニム (株)
- D109 Hanbitsoft
- D101 Pison Contents, Inc.
- D404 (株) プラスト
- D403 文教大学 情報学部
- D206 (株) ポケット・クエリズ
- D108 POPSLINE.Co., Ltd.
- D110 Holotive Global
- D405 (株) マウンテンスタジオ
- D315 (株) ユーフォニック
- D203 LAVAL VIRTUAL

Innovative Technologies 2018

- D308 大阪大学 佐藤宏介研究室
- D312 群馬大学大学院 奥寛雅研究室
- D306 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科
- D310 慶應義塾大学理工学部 杉本研究室
- D302 首都大学東京 池井研究室 / NTT コミュニケーション科学基礎研究所
- D307 (株) シルバーウッド
- D311 スタンフォード大学 (from SIGGRAPH2018)
- D309 筑波大学 サイバニクス研究センター 人工知能研究室
- D304 電気通信大学 情報学専攻 小泉研究室
- D301 東京大学 / 科学技術振興機構 (JST) / ERATO 川原 万有情報網プロジェクト
- D303 東京大学 情報理工学系研究科 善道川研究室 / 佐藤真一研究室
- D305 歯つばい (株)

経済産業省 BizTech*Match

- D201 IVR
- D202 Wizme
- D111 (同) オフィス・ゼロ
- D119 経済産業省 BizTech*Match マッチングゾーン
- D112 SOOTH (株)
- D208 Hapbeat (同)
- D611 Vtuber ハッカソン

INTER BEE ONLINE

Inter BEE では、出展情報や国内外の関連展示会情報を独自に取材するチーム「Inter BEE ニュースセンター」を設置しています。出展製品、展示会情報は、取材チームによる記事・映像コンテンツとなり、会期前、会期中、会期後と年間を通じて、INTER BEE ONLINE内の Online Magazine や Inter BEE TV によって発信されました。

Inter BEE Online 掲載記事 (一部/抜粋)

音響ハウス 2018.10.3 UP
テレビCM素材搬入の管理・運用サービス「OHS³」(オーエスクープ)をデモ



AJA Video Systems 2018.10.20 UP
最新製品群による8Kソリューションを出展
Colorfront社製ソフト搭載のHDR Image Analyzerもデモ



(株)アイ・ディ・ケイ 2018.11.8 UP
AV over IP Solution IP-NINJARシリーズ
「NJR-01UHD」を中心とした32面マルチディスプレイ
によるデモ展示を実施



ライムライト・ネットワークス・ジャパン(株) 2018.11.8 UP
世界中どこでも1秒以内の遅延でライブ配信が可能な
「ライムライト リアルタイム・ストリーミング」をデモ



デジタル・ラボラトリー 2018.10.6 UP
レコード会社の許諾済CD音源ダウンロード、
著作権報告機能を搭載したサウンドボックスを出展
FM NACK5が協同開発、全番組での利用を開始へ



パナソニック(株) 2018.11.6 UP
世界初 8K有機センサー搭載 8Kカメラシステムを
参考出展 広ダイナミックレンジ、グローバルシャッター
搭載



(株)フォトロン 2018.11.8 UP
クラウド、IPを活用したトータルソリューションを
提案



PlayCanvas運営事務局 2018.11.9 UP
HTML5/WebGL対応のクラウド型の開発エンジン
「PlayCanvas」を紹介



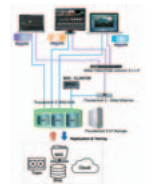
DCEXPO 2018.10.15 UP
DC EXPOに最新のCG、インタラクティブ研究が
集結 米国SIGGRAPH幹部も来日



(株)タムラ製作所 2018.11.6 UP
DECT 2.0に対応したワイヤレスインカム新製品
「T-DECT」など新製品を出展



エムアイシー・アソシエーツ(株) 2018.11.9 UP
Thunderbolt 3でSANを構築 クラウドと
シームレスにデータ共有できる環境
「Tiger FAN」による
4K制作環境をデモ



グラスパレー 2018.10.19 UP
ライブプロダクション、ニュース制作のための
各種ソリューション、ネットワーク製品を出展



アストロデザイン(株) 2018.11.7 UP
世界初のDLP 8Kプロジェクター「INSIGHT Laser
8K」や8Kワークフロー、AIを駆使した映像処理装置
など、各種8K製品をデモ



メラノックステック/ロジーズジャパン(株) 2018.11.9 UP
Video-over-IPネットワークに対応した
End-to-End Ethernetネットワークソリューション
を出展



(株)バイオス 2018.10.20 UP
8K編集対応の超高速ストレージを出展
国内製造・保守、障害復旧体制で信頼性向上、
Thunderbolt3対応、1台で最大120TBを実現



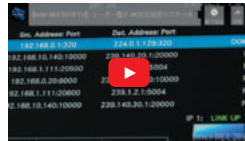
ITGマーケティング(株)/日本サムスン(株) 2018.11.8 UP
サムスンなど7社が「4K8K時代の映像を支える
Samsung SSD」で共同出展



日本電信電話(株) 2018.11.11 UP
4K 映像配信ソリューションを展示 複数配信先にユニキャスト方式でライブ配信 Interop ShowNetで採用実績



リーダー電子(株) 2018.11.20 UP
4K 対応波形モニター&ラスタライザー ZEN シリーズを出展



スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト(株) 2018.11.21 UP
視認性を高める黒いインターフェイス「Studer Vista 5 Black EDITION」を出展



Dan Dugan Sound Design, Inc. 2018.11.11 UP
オートマチックミキサー新製品を国内初出展 Dan Dugan 氏が来日し自らプレゼンテーション



クロスイメージング(株) 2018.11.20 UP
3D 気象情報作画システム「BOLT Weather Station」を紹介



(株)ヴィレッジアイランド 2018.11.21 UP
1/8 圧縮 TICO SDI コンバータ「VICO-4d8」等の伝送ソリューションを展示



(株)タケナカ 2018.11.11 UP
LED プロジェクタによる新ソリューションを発表 対話型リアルタイム映像やリアルタイム性を生かしたライブ映像演出のデモを実施



(株)アイ・ディー・エクス 2018.11.20 UP
新製品バッテリー「CUE-D300」「DUO-C150」等を紹介



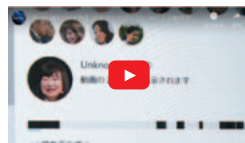
三信電気(株) 2018.11.21 UP
三信電気 LiveU 社製 4K 対応「LU600 HEVC 4K SDI」を出展



アイベックテクノロジー(株) 2018.11.12 UP
4K/60P 対応 超低遅延 HEVC コーデックを出展 4K/60P で 20msec の低遅延を実現



日本マイクロソフト(株) 2018.11.20 UP
AI による動画解析アプリケーション「Video Indexer」を出展



クラウドファン(株) 2018.11.21 UP
オブジェクトストレージ「CLOUDIAN HYPERSTORE」を出展



ベルボン(株) 2018.11.12 UP
MILLER 社製三脚 コンパス X シリーズを出展 カウンターバランス 16 段階調整可能に



(株)オンテック 2018.11.21 UP
新製品 4K UHD 対応版マルチファイルプレイヤー「MFP-550」



ヒビノ(株)ヒビノクロマテック Div. 2018.11.21 UP
LED ビジョン「ChromaVision」を出展



(株)ユニテックス 2018.11.12 UP
「データの利活用」テーマに最新 LTO 製品によるソリューションを提案 PC 内蔵の多機能型 Dual LTO など新製品も出展



ATEN ジャパン(株) 2018.11.21 UP
マルチキャスト対応「IP-KVM エクステンダー」、4K オーバーレイシステムを紹介



マルミ光機(株) 2018.11.21 UP
新製品のシネマフィルター「WSND FILTER」を出展



音響特機(株) 2018.11.12 UP
MACKIE ほかにプロオーディオ 5 ブランドの最新機器を出展



カールツァイス(株) 2018.11.21 UP
フルサイズ対応「Supreme Prime」シリーズの新製品を紹介



ローランド(株) 2018.11.21 UP
新製品マルチフォーマット・ビデオ・ミキサー「V-02HD」を出展



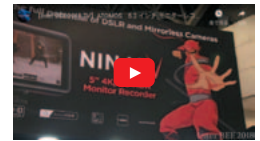
(株)ケンコープロフェッショナルイメージング 2018.11.21 UP
 強力モバイル映像LED照明のmini10シリーズ「MISONICS」を出展



DXアンテナ(株) 2018.11.21 UP
 新4K8K衛星放送対応の新製品「V-ONU」「SDU」等を出展



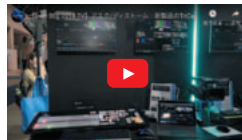
ATOMOS(株) 2018.11.21 UP
 5.2インチモニターレコーダー「NINJA V」、ProResRAW対応の「SHOGUN INFERNO」などを出展



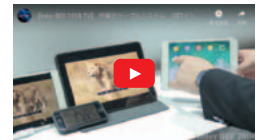
(株)メイコー 2018.11.21 UP
 IPストリームに対応した4出力のデジタルプロセッサ「MSP-44」を出展



(株)アスク/(株)ディストーム 2018.11.21 UP
 新製品のTriCasterバージョン7、Premium Access等を出展



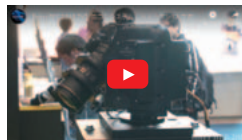
伊藤忠ケーブルシステム(株) 2018.11.21 UP
 OTTインターネット動画配信システム構築「Net Insight SYE SYNCOTT」を出展



(株)シグマ 2018.11.21 UP
 3本の新プライムレンズを出展



(株)ニコシステム 2018.11.21 UP
 カメラマン1人で最大12台のカメラを制御できる半自動追尾撮影ソリューション「POLYCAM ONE」をデモ



ヒビノ(株)ヒビノプロオーディオセールスDiv. 2018.11.21 UP
 コンパクト・ラインアレイ・スピーカー「VTX-A8」を出展



(株)ソリトンシステムズ 2018.11.21 UP
 ライブ映像中継システム「Smart-telecaster Zao-S」を出展



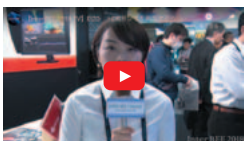
(株)マーチンオーディオジャパン 2018.11.21 UP
 イマーシブ演出の新たな一歩を踏み出す3D音響空間ソリューション「Sound Adventures」を出展



(株)JVCケンウッド 2018.11.21 UP
 中継コストを大幅に下げるIP制作ソリューションを提案



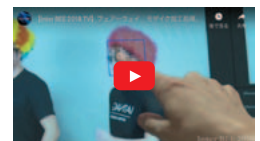
EIZO(株) 2018.11.21 UP
 HDRガンマを再現するカラーモードを標準搭載した27型HDR新製品「ColorEdge CG279X」を出展



オタリテック(株) 2018.11.21 UP
 スタジオ用モニタースピーカー「QB1-A」を日本初展示



(株)フェアウェイ 2018.11.21 UP
 モザイク加工処理専用機「GANTAI」、高帯域IP伝送装置「NAK-BAND」を出展



カーナシステム(株) 2018.11.21 UP
 追っかけ(時差)編集システム「MEDIASYNERGY NEX」、「ClipCutter」等を出展



銀一(株) 2018.11.21 UP
 9.SOLUTIONS社の新製品「チーズプレート」他を出展



(株)ナックイメージテクノロジー 2018.11.21 UP
 レンタル専用 新作オリジナルレンズ「CAT'S EYE」を参考展示



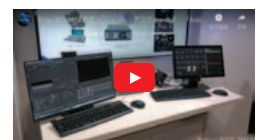
(株)アサカ 2018.11.21 UP
 新製品の「DUXペリフェラルシリーズ」、「4K/HDサイマルAVファイル AVR-4200」等を出展



ポッシュセキュリティシステムズ(株) 2018.11.21 UP
 様々なシーンや音響空間に対応可能なSRスピーカー Electro-Voiceシリーズなどを出展



ビジュアル・グラフィックス(株) 2018.11.21 UP
 「Avid Maestro | PowerWall」高解像度マルチスクリーンシステムを出展



シーティーシー・エスピー(株) 2018.11.21 UP
 AWS Elemental社のOTT配信用エンコーダとビデオ配信プラットフォーム、Advantech社のエンコーダBOXを出展



EMCジャパン(株) 2018.11.21 UP
 ISILON スケールアウトNASストレージ、85.6インチの大型タッチパネルモニタ等を出展



一般社団法人電子情報技術産業協会 テープストレージ専門委員会 2018.11.22 UP
 テープストレージ専門委員会 LTOの最新ソリューションを展示 データ利用の価値増大で膨大なデータ管理へのニーズも拡大



メディアエッジ(株) 2018.11.21 UP
 4K / HD 対応シームレスIP映像送出サーバー「MEDIAEDGE-APM 4K」、「コンバータVideoPro 3シリーズ」等を出展



共信コミュニケーションズ(株) 2018.11.21 UP
 「DaAlps ~「AI」機能コンテンツアーカイブ&プレイアウト~」を出展



(株)テイク 2018.11.22 UP
 フレキシブルLEDライトのFomex製品、スライダークメラアクセサリーのEdelkrone製品、ProMeriaGear製品等を出展



(株)トップ・クリエーション 2018.11.21 UP
 放送局向けクラウド型デジタルコンテンツ・マネージメントシステム「DC-MAXs」を出展



(株)TBSテレビ 2018.11.21 UP
 卓上に並んだ24台のスマートフォン画面が連動する「スマパレ」を出展



ヒビノ(株)(ネットワーク) 2018.11.22 UP
 ネットワークを活用した新たなエンタテインメントソリューション「Smart Hall」による2地点リアルタイム双方向演奏をデモ



(株)アイ・ディ・ケイ 2018.11.21 UP
 AV over IP機器「NJR-01 UHD」を出展 光ファイバーでHDMI信号を長距離伝送



(株)オーディオブレインズ 2018.11.21 UP
 AVIDのデジタルミキシングコンソール「S6L」や Powersoftのパワーアンプを出展



(株)日本ビデオシステム 2018.11.22 UP
 4K ショルダー型光カメラアダプター ST-7 HIKARIを出展



(株)加藤電気工業所 2018.11.21 UP
 0.6mφ可搬FPUパラボラ回転装置などを出展



デジキャス合同会社 2018.11.22 UP
 IP機器の制御を、統合的に行うアプリ「KSCCore・SILKNET」等を出展



(株)トラフィック・シム 2018.11.22 UP
 4K/8K放送再生ソフトウェアプレイヤー「Jack」、放送データ共有システム「RecShare」を出展



ヒビノインターサウンド(株) 2018.11.21 UP
 CALRECのラジオ局向けモジュラー式コンソール Type Rを出展



メタルトイズ 2018.11.22 UP
 ジョイントレーを出展



(株)ドリーム 2018.11.22 UP
 指向性の高いマルチチャンネル平面波スピーカ「JustHit」を出展



IABM 2018.11.21 UP
 Harmonic社の「VOS 360 Video SaaS」等を出展



(株)エヌジーシー 2018.11.22 UP
 自動バックアップLTOテープライブラリ「Quantum Scalar」、シフト管理、予約・仮予約 APSサービス「NGC RISINGC」等を出展



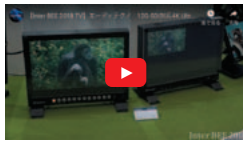
(株)銀座十字屋 ディリгент事業部 2018.11.22 UP
 Angelbird社のプロ映像機器用SSDなどを出展



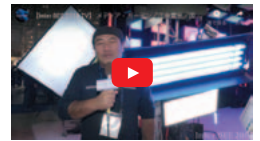
LianTronics 2018.11.22 UP
 新製品 VA シリーズファインピッチ LED ビデオウォール (P1.2mm)、RE シリーズカーブレンタルスクリーン (P2.6mm) 等を展覧



(株)エーディテクノ 2018.11.22 UP
 12G-SDI 対応 4K Ultra HD 12.5 型 IPS 液晶パネル搭載 業務用マルチメディアディスプレイ「UH1250S」等を展覧



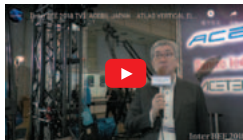
メディア・ガーデン、江東電気、国際照明 2018.11.22 UP
 メディア・ガーデン/江東電気/国際照明が3社で共同展覧 ロトライト、ARRI スカイパネル、キノフロリースタイルチューブをデモ



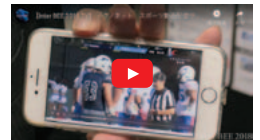
エーティ コミュニケーションズ(株) 2018.11.22 UP
 超小型平面アンテナ「SATCUBE」を展覧



ACEBIL JAPAN(株) 2018.11.22 UP
 ATLAS VERTICAL ELEVATOR、ATLAS V2 コーブルルを展覧



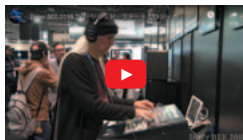
(株)テクノネット 2018.11.22 UP
 スポーツ動画配信サービス「SC+」、8K テロップパー参考出品、4K スポーツコダ等を展覧



メモリーテック(株) 2018.11.22 UP
 コンテンツ管理システム新製品「カレイダ アーク」等を展覧



ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株) 2018.11.22 UP
 2U サイズの完全アナログアウトボードの新製品 Fusion を展覧



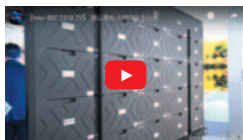
(株)テクノハウス 2018.11.22 UP
 DHD.audio/RX2 ミキサーを展覧



タッグシステム(株) 2018.11.22 UP
 AVID S6、TAC オリジナル「VMC-102」サラウンドフォーマット対応 モニタリング・コントローラーを展覧



青松科技 2018.11.22 UP
 大型 LED ディスプレイ「IMPOSA」を展覧



富士通(株) 2018.11.22 UP
 HEVC 4K 対応小型コーデック「IP-HE950」を活用したリモートプロダクションを展覧



(株)オーディオテクニカ 2018.11.22 UP
 800MHz 帯デジタルワイヤレスシステム「3000 Digital Series」等を展覧



CHIEF/映像センター 2018.11.22 UP
 新製品の屋外デジタルサイネージ用自立/天吊共用マウント「OLCM1U」・「OLCM2X1U」を展覧



TVU Networks 2018.11.22 UP
 さらに小型化を実現、内蔵 3 モデム搭載機種 TM930 を展覧



松田通商(株) 2018.11.22 UP
 イタリア FBT 製 高品質 2way ポータブルパワードラインアレイスピーカー「VERTUS CS1000」を展覧



(株)メディアリンクス 2018.11.22 UP
 4K ソリューション「MD8000SX」「MD-003 4K EDITION」「MPD3040」を展覧



ヒビノライティング(株) 2018.11.22 UP
 「AVOLITES」ライティングコンソール、「AYRTON LED」ムービングライト等を展覧



(株)サザン音響/サザンアコースティクス 2018.11.22 UP
 SAMREC Type 1500 E/R など、ハイレゾ対応、音響測定用ダミーヘッド、録音用ダミーヘッドを展覧



キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株) 2018.11.22 UP
 デジタルシネマカメラ「EOS C700」、業務用ビデオカメラ「XF705」を展覧



(株)HAROID 2018.11.22 UP
 新ニュース動画配信サービス「VNN ニュースチャンネル」「ライブチャンネル」を展覧



ジャパンマテリアル(株) 2018.11.22 UP
Matrox 社 4K 対応ストリーミングエンコーダー「Monarch Edge」、4K 対応デュアルチャンネルエンコーダー「Maevex 6120」



NTTグループ 2018.11.22 UP
8K 超の高精細 360° 映像をスムーズに視聴できる「パノラマ超プレイヤー」を出展



アビッドテクノロジー(株) 2018.11.22 UP
オンデマンドでメディア制作機能を提供する SaaS クラウドサービスおよびソリューションプラットフォーム「Avid | On Demand」



ヴァイテックイメージング(株) 2018.11.22 UP
マンフロットブランドのビデオ雲台・三脚・カメラバッグ、JOBY 小型三脚、Lowepro カメラバッグを展示



アズラボ(株) 2018.11.22 UP
16K@120P の非圧縮映像再生システム、超高精細次世代ビデオウォール「育てる A.I.」、HDR 対応の超高精細 8K@60P シアターを出展



ヒビノアークス(株) 2018.11.22 UP
スマートホール構想の紹介と SVSi1000 シリーズを実演展示



Grip Factory Munich GmbH 2018.11.22 UP
GF プリモドリヤーなどを出展



Pioneer DJ(株) 2018.11.22 UP
業務用スピーカー「XY-3B」を出展



(株)コスミックエンジニアリング 2018.11.22 UP
4K12G 光ファイバー伝送カメラアダプタシステム「SCA-SP5 シリーズ」等を出展



摂津金属工業(株) 2018.11.22 UP
オーダーメイドコンソール「Amogha」を出展



Backstage Equipment, Inc. 2018.11.22 UP
マグライナー他各種万能カートを出展



シュア・ジャパン 2018.11.22 UP
「Microflex Complete」「Microflex Complete Wireless」等、各種ワイヤレスシステムを出展



タスカム/ティアック(株) 2018.11.22 UP
TASCAM ブランドから DSP ミキサー内蔵ハーフラックサイズの「Dante コンパクトプロセッサシリーズ」を出展



Cartoni SpA 2018.11.22 UP
三脚 FOCUS シリーズ「LAMBDA10」、ジブアーム「JIB O」、ペDESTal「P70 Plus Steering」を出展



(株)エクスプローラ 2018.11.22 UP
SRT プロトコル搭載、4K H.265/HEVC コーデック「7EHU-3410E/D」等を出展



(株)ラムダシステムズ 2018.11.22 UP
4K HDR 対応テロップシステム「GRID-ZERO」等を出展



東芝インフラシステムズ(株) 2018.11.22 UP
VIDEOScore、ALL IP 送出設備、テレビ送信機などを出展



(株)アートウイズ 2018.11.22 UP
LINA (スピーカーハイ) 等を出展



平和精機工業(株) 2018.11.22 UP
大型三脚シリーズ「QD」と小型三脚シリーズ「TH-Z」等を参考展示



ネットワークエレクトロニクスジャパン(株) 2018.11.22 UP
SDN オーケストレーションソフトウェア「VideoPath (ビデオアイパス)」を出展



ヴァイテックプロダクションソリューションズ(株) 2018.11.22 UP
新製品の三脚「Flowtech100」を出展



(株)ジェネレックジャパン 2018.11.22 UP
 新製品の高分解像度ハイ SPL モニター「S360」と同軸
 モニター「The Ones シリーズ」等を展覧



イメージニクス(株) 2018.11.22 UP
 マルチビューア「HEV-U41」、HDMI 伝送機
 「CRO-UI12」を展覧



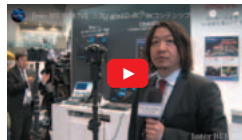
(株)東京舞台照明 2018.11.22 UP
 演出用照明器具全天候型ムービングヘッド
 「G20 HYBRID IP」等を展覧



クリプトン・フューチャー・メディア(株) 2018.11.22 UP
 音声分離ソフトの開発ロッパー AudioSourceREの
 DeMIX Pro を展覧



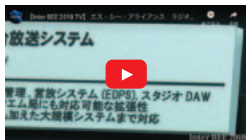
三友(株) 2018.11.22 UP
 Leitz レンズ、8Kコンテンツプレーヤー「Hyper CUBE」、
 4K/8K 対応光伝送装置「THUNDERS 4K/8K」等
 を展覧



(株)NKL 2018.11.22 UP
 Cobra 1.8、SPARKULAR mini を展覧



(株)エス・シー・アライアンス 2018.11.22 UP
 ラジオ局向け放送自動運行システム Harmony
 (ハーモニー) RADIO SYSTEM を国内初展覧



(株)アスク 2018.11.22 UP
 ZeroDensity 社のリアルタイムバーチャルシステム
 「Reality」等を展覧



KFX Technology 2018.11.22 UP
 NKL HEAD Comet、KFX Slider Motor、
 AURORA を展覧



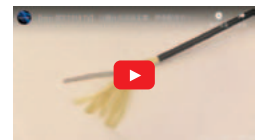
(株)アルモア 2018.11.22 UP
 最新製品の専用輸送用ケースを中心に展示



(株)NHKアイテック 2018.11.22 UP
 プレイアウトシステム、らくらく無線中継システムを
 展覧



日鐵住金溶接工業(株) 2018.11.22 UP
 映像配信用ケーブル「ピコドラム」(ケーブル、ドラム
 分離タイプ)などを展覧



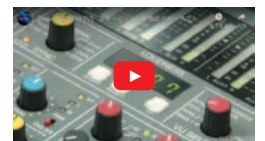
NIXUS 北海道日興通信(株) 2018.11.22 UP
 営放連携マスタートップシステム「GTO」を展覧



(有)ラテック 2018.11.22 UP
 LED 壁面取付金具、高輝度 LCD モニタ、柔軟 LED
 を展覧



(株)フォービット 2018.11.22 UP
 新製品のポータブルデジタルオーディオミキサー
 「PMX-1210」を展覧



(株)イデオモーターロボティクス 2018.11.22 UP
 フル5軸カメラスタビライザー「MOVI CARBON」
 を展覧



トレジャーデータ(株) 2018.11.22 UP
 データ収集プラットフォーム TREASURE CDP を
 展覧



(株)谷沢製作所 2018.11.22 UP
 送り返し同時通話システム ちびカム722型を展覧



(株)エムアイセブンジャパン 2018.11.22 UP
 PreSonus のプロダクション&パフォーマンス・パッド
 「ATOM」などを展覧



アプローズシステム(株) 2018.11.22 UP
 新型デジタル方式による、『キャッチミー受信機』
 を参考展覧



ボーズ合同会社 2018.11.22 UP
 遠隔音声会議用シグナルプロセッサ「ControlSpace
 EX-1280C」を含む会議ソリューションを紹介



小峰無線電機(株) 2018.11.22 UP
 ステンレスモノコイル内蔵の丈夫な光ケーブル
 「ロバスト光ケーブル」を出展



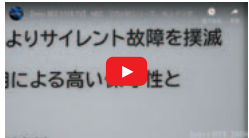
チエル(株) 2018.11.22 UP
 高精細画像をモニターや複数のプロジェクターに
 転送する新ハードウェア画像転送システム「S600-OP」
 を出展



(株)エレクトリ 2018.11.22 UP
 エレクトリ AMX 社のハドルルームソリューション
 「acendo vibe ACV-5100」を紹介



NEC 2018.11.22 UP
 「DTU-90シリーズ」地上デジタルテレビ送信機、
 「DTB-2000シリーズ」デジタル中継放送装置、等を
 出展



(株)シーアイエス 2018.11.22 UP
 グローバルシャット小型4Kカメラ「VCC-4K2」
 BT2020、BT2100対応を出展



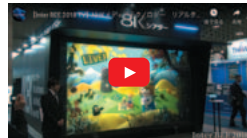
池上通信機(株) 2018.11.22 UP
 4K/HD スタジオカメラシステム「UHK-435」、
 2/3型 4KCMOS 3板式カメラシステム
 「UHK-430」を出展



(株)シーエス 2018.11.22 UP
 ポータブル蓄電池 PowerGo(パワーゴー)シリーズ
 を出展



(株)NHKメディアテクノロジー 2018.11.22 UP
 リアルタイムライブ配信に対応した「8Kライブストリー
 ミング配信システム」を出展



ソニー(株)/ソニービジネスソリューション(株) 2018.11.22 UP
 マルチフォーマットスイッチャープロセッサ
 「XVS-9000」、8K 3板式カメラシステム
 「UHC-8300」等を出展



アイディールシステムズジャパン(株) 2018.11.22 UP
 「IP&クラウド」をテーマに TICO 圧縮による IP 映像
 伝送 Evertz 570 TICO などを出展



Insta360 2018.11.22 UP
 6つの200度魚眼レンズと4つのマイクを搭載し、
 最大8K解像度で高画質な360度3Dの写真・動画
 撮影可能な「Insta360 Pro 2」



(株)宮地商会 2018.11.22 UP
 レコーディング機材(ハードウェア)、新製品を多数
 出展



(株)朋栄 2018.11.22 UP
 ベースバンド/IP統合制御ソフトウェア「SOM-100」を
 中核とした局内信号分配・回線センター向けソリュー
 ションを出展



(株)キャムキャスト7 2018.11.22 UP
 シネマカメラレンズのフォーカス、アイリス、ズーム
 ワイヤレスでコントロールできる「Teradek RT」を出展



日本音響エンジニアリング(株) 2018.11.22 UP
 高音質モニタースピーカ「NES」、ルーム・チューニ
 ング機構「AGS」を出展



さくら映機(株) 2018.11.22 UP
 リアルタイム編集システム「4K Prunus」や、4K HDR
 ライブプロダクションシステムの最新製品「4K Prunus
 LIVE」等を出展



ブラックマジックデザイン(株) 2018.11.22 UP
 新製品「Pocket Cinema Camera 4K」、「Audio
 Monitor 12G」を出展



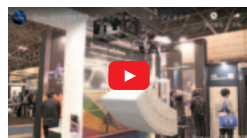
富士フイルム(株) 2018.11.22 UP
 高性能「FUJINON レンズ」を搭載した新開発プロジェ
 クターを特設シアターで国内初出展 世界で初めて
 本体を動かさずにレンズの回転で投射方向を調整



日本無線(株) 2018.11.22 UP
 デジタルテレビ中継送信機「B5-207シリーズ」、新型
 TS伝送方式TTL装置「JBN-350シリーズ」等を出展



ディーアンドピー・オーディオテクニク・ジャパン(株) 2018.11.22 UP
 次世代ラインアレイ、SL-Serie(GSL, SL-SUB)を
 出展



(株)須山歯研 2018.11.22 UP
 静電型ツイーターユニットを採用したハイブリッド
 タイプのイヤホン FitEar ESTを出展



INTER BEE FORUM

11月14日(水)

国際会議場2F コンベンションホールA

KN-141 基調講演 1

Inter BEE 2018 Opening & Keynote

Opening Session

主催あいさつ：一般社団法人電子情報技術産業協会
 来賓あいさつ：総務省、経済産業省
 後援団体系来参加によるフォトセッション

Keynote Speech

放送政策の最新動向

総務省 大臣官房審議官
 奈良 俊哉 氏

コンテンツ・イノベーション -driven by メディア・イノベーション-

経済産業省
 商務情報政策局
 コンテンツ産業課長
 高木 美香 氏

始まる、4K8K新時代～放送開始まで2週間～

日本放送協会 専務理事・技師長
 児野 昭彦 氏

いよいよ始まる4K8K放送

一般社団法人放送サービス高度化推進協会 理事長
 福田 俊男 氏

新4K8K衛星放送事業者9社によるメッセージ

日本放送協会 専務理事・技師長 児野 昭彦 氏	株式会社 ビーエス朝日 代表取締役社長 菊地 誠一 氏	株式会社BS-TBS 代表取締役社長 相子 宏之 氏
株式会社BSテレビ東京 代表取締役社長 石川 一郎 氏	株式会社ビーエスフジ 代表取締役社長 亀山 千広 氏	株式会社東北新社メディアサービス 代表取締役社長 木田 由紀夫 氏
SCサテライト放送株式会社 代表取締役社長 佐々木 良太 氏	株式会社QVC サテライト 代表取締役社長 堀 雄一郎 氏	株式会社スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長 古屋 金哉 氏

KN-142 INTER BEE CONNECTED 基調講演

ネットとテレビの境目からテレビの未来を語る

パネリスト

株式会社ドワンゴ
 エグゼクティブ・プロデューサー
 (元日本テレビ制作局専門局長)
 吉川 圭三 氏

株式会社バスキュール
 代表取締役
 クリエイティブディレクター
 朴 正義 氏

NPO法人8bitNews 代表理事
 株式会社GARDEN 代表
 (元NHKアナウンサー)
 堀 潤 氏

株式会社ワイズ・メディア 取締役
 メディアストラテジスト
 フラー株式会社 常務監査役
 (元フジテレビIT戦略担当局長)
 塚本 幹夫 氏

モデレーター

KN-143 基調講演 2

2020年代における放送サービスの姿と 視聴スタイルの変化

ポスト2020を見据えた将来の放送技術

日本放送協会 放送技術研究所 所長
 三谷 公二 氏

ポスト2020の放送事業を展望する

一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
 木村 幹夫 氏

国際会議場1F 103会議室

TC-141 テクニカルセッション

映像メディアにおけるAIとブロックチェーンのインパクト

パネリスト

デロイトトーマツ コンサルティング 合同会社
 マネジャー
 鈴木 顕英 氏

デロイトトーマツ コンサルティング 合同会社
 シニアマネジャー
 清水 武氏 氏

モデレーター

株式会社企 代表取締役
 クロサカ タツヤ 氏

合同会社江口靖二事務所 代表社員
 一般社団法人デジタルサイネージカンファレンス 常務理事
 江口 靖二 氏

基調講演会場協力:



国際会議場2F 国際会議室

SP-141 特別講演 1

eスポーツでつかめビジネスチャンス

第1部:デモプレゼン eスポーツにおけるビジネスとは何か

株式会社GamingD 代表取締役 (CEO)
 プロゲーミングチームDETONATOR代表
 江尻 勝 氏

第2部:パネルディスカッション eスポーツでつかめビジネスチャンス

パネリスト

10:30
 ▲
 12:20
 アックスエンターテインメント株式会社
 代表取締役社長(日本テレビグループ)
 小林 大祐 氏

東海テレビ放送株式会社
 事業局 部長
 深谷 弘 氏

株式会社ももエスポーツエンターテインメント
 代表取締役社長
 星 久幸 氏

株式会社CyberZ 執行役員
 RAGEプロデューサー
 大友 真吾 氏

Twitch Japan
 中村 結葉 氏

株式会社リーグマーケティング
 代表取締役社長
 窪田 慎二 氏

スポーツブランディングジャパン株式会社
 取締役
 醍醐 辰彦 氏

NewTekアジア・パシフィック
 営業ディレクター
 フェルディナンド・ストア 氏

モデレーター

株式会社GamingD
 代表取締役 (CEO)
 プロゲーミングチーム
 DETONATOR代表
 江尻 勝 氏

株式会社ニューメディア
 出版局長
 吉井 勇 氏

SP-142 特別講演 2

日英同時通訳付

アドバンスト イメージング ユニバーシティ 2018

VRコンテンツの人間中心設計

先進映像協会
 日本分会 会長
 河合 隆史 氏

テクノロジーで強化されるストーリーテリング: クラウドやAI、業界を変える新たなツール

先進映像協会
 プレジデント&CEO
 ジム・チャピン 氏

ネットフリックスの映像品質とパイプラインへのアプローチ

ネットフリックス
 エンジニア
 クリエイティブテクノロジー
 宮川 通 氏

ネットフリックス
 ポストプロダクションマネージャー
 インターナショナルリジナルス
 宮川 紀子 氏

ネットフリックス
 マネージャー イメージング
 クリエイティブテクノロジー
 スティーブ・カン 氏

SP-143 特別講演 3

日英同時通訳付

技術の進化と共に変化するビジネスモデル— IABMが追跡するメディアランドスケープ

IABM
 ピーター・ブルース 氏

SP-144 特別講演 4

日英同時通訳付

ラグビーワールドカップ・東京オリンピックでの 映像制作最新技術と、中継車のグローバルトレンド

16:00
 ▼
 17:30
 Sports Video Group 編集長
 ケン・ケルシュパウマー 氏

Olympic Broadcasting Services (OBS)
 Production Technical Manager
 Jochem van Apeldoorn 氏

Rugby World Cup 2019 (RWC2019)
 Technical Director
 Chris Hope 氏

NEP Australia 社長
 Soames Treffry 氏

国際会議場2F 201会議室A

TC-142 テクニカルセッション 1

国土交通省が進めるプロジェクトマッピングの規制緩和

パネリスト

13:00
 ▼
 14:30
 国土交通省 都市局
 公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境 整備室長
 渡瀬 友博 氏

一般財団法人 プロジェクトマッピング協会 代表
 クリエイティブディレクター
 石多 未知行 氏

モデレーター

株式会社タケナカ 専務取締役
 株式会社シムディレクト 代表取締役
 ジェネラルプロデューサー
 長崎 英樹 氏

一般財団法人 プロジェクトマッピング協会 アドバイザー
 アニメーションメディア 代表 コンテナー・プロデューサー
 町田 聡 氏

11月15日(木)

国際会議場2F コンベンションホールA

KN-151 基調講演 3

大胆に予測! 203X年のスマートブロードキャスト

一般社団法人 IPTVフォーラム

基調講演 スマートブロードキャストへの挑戦!

10:30
▼
12:00

MC
株式会社テレビ東京 アナウンサー 角谷 暁子 氏
モデレーター

一般社団法人IPTVフォーラム 理事長
慶應義塾大学環境情報学部教授
大学院政策・メディア研究科委員長
村井 純 氏



株式会社三菱総合研究所
営業本部 本部長
中村 秀治 氏



KN-152 INTER BEE CREATIVE 基調講演

ゴジラに見るジャパン・コンテンツパワー

13:00
▼
14:30

進行

映画監督
樋口 真嗣 氏



株式会社ポリゴン・ピクチュアス
代表取締役(CEO)
エグゼクティブプロデューサー
塩田 周三 氏



INTER BEE CREATIVE
ディレクター
結城 崇史 氏



KN-153 基調講演 4

CDNセッション2018

アカマイ プラットフォーム 最新動向

アカマイ・テクノロジーズ合同会社
メディア プロダクト マネジメント プロダクトマネージャー
伊藤 崇 氏



動画配信との統合が進むContents Delivery Network、Amazon CloudFrontのご紹介

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
ソリューション技術部 ソリューションアーキテクト
中谷 喜久 氏



配信新時代のCDN

JOCDN株式会社 取締役
福田 一則 氏



国際会議場2F 201会議室A

TC-151 デジタルコンテンツEXPO2018 基調講演

JST ACCEL[身体性メディアプロジェクト]第4回シンポジウム トレイグジスタンスの今 一時空間瞬間移動産業とトレイグジスタンス社会への挑戦

10:30
▼
11:30

東京大学名誉教授
舘 暲 氏



トレイグジスタンス株式会社
モデルH



TC-152A DCEXPOコンファレンス

SIGGRAPHセミナー アートとコンテンツの可能性

Emerging Technologies Chair, SIGGRAPH 2019
Assistant Professor of Seton Hall University,
Co-owner of Plural Studios
Courtney Starrett 氏



東京大学名誉教授/アーティスト
河口 洋一郎 氏



株式会社デジジー 代表取締役
稲垣 匡人 氏



一般財団法人デジタルコンテンツ協会
専務理事
市原 健介 氏



TC-153A DCEXPOコンファレンス

[SIGGRAPH2018 Computer Animation Festival] 入賞作品上映及び [SIGGRAPH Asia 2018 東京]の紹介

15:30
▼
16:30

株式会社エクサ Smartシステム開発本部
シーグラフ東京委員長
安藤 幸央 氏



国際会議場2F 201会議室B

TC-152B DCEXPOコンファレンス

SXSWの魅力と可能性

12:30
▼
13:30

株式会社HEART CATCH
代表取締役
西村 真里子 氏



ゲームチェンジャー・カタリト
UXデザインディレクター
横田 雅美 氏



株式会社電通/
Design Strategist/
OPENMEALS発起人
榎 良祐 氏



国際会議場2F 国際会議室

SP-151 特別講演 5

日英同時通訳付

End to Endクラウドメディアワークフロー

10:30
▼
12:10

アマゾンウェブ サービス ジャパン株式会社
ソリューションアーキテクト
安司 仁 氏



Amazon Web Services, Inc.
デジタルメディアパートナーエコシステムマネージャ
バービック・ピアス 氏



株式会社IMAGICA Lab.
開発本部 技術開発室 R&Dグループ 課長
工藤 隆朗 氏



グラスパレー株式会社
Editing Systems バイスプレジデント兼
ジェネラルマネージャ
竹内 克志 氏



SP-152 特別講演 6

日英同時通訳付

大規模スポーツライブ配信のマネタイズ

13:00
▼
14:30

アカマイ・テクノロジーズ合同会社
メディア プロダクト マネジメント
APJディレクター
リシ・パーマ 氏



Yospace Technologies Ltd
CTO
デイビッド・スプリングオール 氏



SP-153 特別講演 7

災害情報の提供とAIの活用

災害時における避難行動の特徴と 情報活用に関する問題提起

東京大学大学院
情報学環 総合防災情報研究センター
准教授
関谷 直也 氏



西日本豪雨災害における NHKの報道と今後に向けて

日本放送協会
報道局災害・気象センター
センター長
橋爪 尚泰 氏



AI技術開発の現状と 災害時対応での可能性

東京大学大学院 情報学環 教授
須藤 修 氏



15:30
▼
17:00

パネルディスカッション そのとき、AI技術をどう活用できるか

パネリスト

一般財団法人 情報法制研究所 専務理事、
LINE株式会社 執行役員
公共政策室室長
江口 清貴 氏



国立研究開発法人 防災科学技術研究所
総合防災情報センター センター長補佐
取出 新吾 氏



日本放送協会
報道局災害・気象センター
センター長
橋爪 尚泰 氏



日本放送協会
広島放送局 報道統括
湯浅 庸右 氏



モデレーター

東京大学大学院
情報学環 教授
須藤 修 氏



国際会議場1F 103会議室

TC-150 テクニカルセッション 2

手話通訳・文字通訳付

ICTを活用する放送のユニバーサルデザイン ~リアルタイムで伝えるセカンドスクリーン字幕~

聞こえる世界から聞こえない世界へ移り住んで、 放送に求めること

聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐ
ユニバーサルデザインアドバイザー
松森 果林 氏



字幕放送普及に向けた新行政指針と 今後の課題について

総務省 情報流通行政局
地上放送課長
三田 一博 氏



10:15
▼
12:00

提案/デモ 「セカンドスクリーンを利用した字幕放送の取り組みの概要報告」

SoundUDの活用

ヤマハ株式会社 クラウドビジネス推進部
SoundUDグループ
森口 翔太 氏



放送局が考えるセカンドスクリーンを利用した字幕放送 「字幕キャッチャー」

一般社団法人マルチスクリーン放送協議会
関西テレビ放送株式会社 社長室 経営戦略部
坂梨 裕基 氏



INTER BEE FORUM

11月16日(金)

国際会議場2F コンベンションホールA

KN-161 基調講演 5

5Gセッション2018

5Gが切り開く未来の展望

～パートナーの強みを融合させた世界～

NTTドコモ
5Gイノベーション推進室 主幹技師
奥村 幸彦氏



5Gにより実現する世界、ワクワク体験

KDDI株式会社
技術統括本部 モバイル技術本部 シニアディレクター
松永 彰氏



5G: a platform for service delivery

ソフトバンク株式会社
先端技術開発本部
岡岡 隆生氏



ナビゲーター

映像新聞論説委員・
日本大学生産工学部講師 (非常勤)
杉沼 浩司氏



KN-162 INTER BEE IGNITION 基調講演

日英同時通訳付

ネクストマルチメディア・エンターテインメント× エクスペリエンス・デザイン

～新しい都市型エンターテインメントの仕掛けと拡張性～

基調講演

Moment Factory
東京オフィス ディレクター
Marc-André Baril氏



パネルディスカッション

パネリスト

Moment Factory
東京オフィス ディレクター
Marc-André Baril氏



吉本興業株式会社
企画部長
吉川 徹氏



株式会社電通
コンテンツビジネス・デザイン・センター
ディレクター
國枝 礼子氏



株式会社電通テック
ブランドエンゲージメントセンター
センター長
柴本 昌憲氏



モデレーター

株式会社HEART CATCH 代表取締役
西村 真里子氏



KN-163 基調講演 6

IPライブ伝送の規格と導入事例

NHKの考える今後の放送システム

日本放送協会 技術局長・副技師長
春口 篤氏



IPライブプロダクション相互接続検証より

日本放送協会
放送技術局 報道技術センター 中継部
北島 正司氏



導入事例「IPを選択した考えと導入システムの概要紹介」

スカパー！の4K放送システム

スカパー！JASAT株式会社
技術運用部門放送技術本部 放送システム部長
仙澤 隆氏



IPベースによる 回線センターの更新

東海テレビ放送株式会社
放送技術部 副部長
加藤 伸一氏



QVCがIP伝送を採用したワケ

株式会社QVCジャパン
コマースプラットフォーム本部 本部長
高倉 裕助氏



新4K中継車/制作サブシステム

奈良テレビ放送株式会社
クロスメディア局 局次長
浅井 隆士氏



ローカル局における「オールIP化」 のメリットとは？

～三重テレビ 報道/制作スタジオサブ更新の概要～

三重テレビ放送株式会社
技術局技術部 制作技術グループ 主事
岩室 敏之氏



全体進行

株式会社ニューメディア
出版局長
吉井 勇氏



15:00
▼
17:00

国際会議場2F 国際会議室

SP-161 特別講演 8

日英同時通訳付

メディア業界における Microsoft AI の活用による デジタルトランスフォーメーションからの学び

10:30
▼
11:10

マイクロソフト・コーポレーション
メディア&エンターテインメント業界担当
マネージングディレクター
トニー・エマソン氏



日本マイクロソフト株式会社
プリンシパル ソフトウェア デベロッパー エンジニア
畠山 大有氏



SP-162 特別講演 9

日英同時通訳付

コンテンツサプライチェーンに革命を

11:30
▼
12:10

Vice President Sales Asia Pacific and Japan,
Ooyala Inc.
パトリシア・カミン氏



SP-163 特別講演 10

日英同時通訳付

Enhance your creativity with Atomos + ProRes RAW

13:00
▼
14:30

ATOMOS CEO & Founder
ジェロミー・ヤング氏



株式会社タック
代表取締役社長
高橋 ヒデキ氏



モデレーター

Lime Tec
柳下 隆之氏



合同会社FOO 代表社員
古屋 幸一氏



Atomos株式会社
代表取締役社長
伊藤 祐二氏



SP-164 特別講演 11

多様なメディア特性を生かした創造的な現場からの提言

15:00
▼
17:00

パネリスト

NTT-コンタクトシステム株式会社
コンテンツ事業部 制作技術部門長
一般社団法人日本放送技術協会
理事 映像編集 部長
後藤 歩氏



株式会社IMAGICA GROUP
ビジネスディベロップメント部
事業開発
ゼネラルプロデューサー
諸石 治之氏



ソニーPCL株式会社
技術部門
チーフテクニカルスーパーバイザー
石川 智太郎氏



モデレーター

Satellite Young



女子美術大学 非常勤講師
國重 静司氏



国際会議場2F 201会議室A

TC-161 テクニカルセッション 3

太陽の眩しさを表現～HDRコンテンツ制作の基本と応用～

10:30
▼
12:00

「ARIB TR-B43 高ダイナミックレンジ映像を用いた
番組制作の運用ガイドライン」について

日本テレビ放送網株式会社
技術統括局技術開発部 担当副部長
甲斐 創氏



SHV 8K/4K HDR中継番組制作の
現状と課題

日本放送協会 放送技術局
報道技術センター 中継部 副部長
藤井 達也氏



HDRカラーグレーディング
について

株式会社IMAGICA Lab.
映像事業本部 プロダクション部
データイメージンググループ
山口 登氏



TC-162 テクニカルセッション 4

Audio over IP 技術の基本から最新情報、実際の運用について

12:20
▼
13:20

パネリスト

ティアック株式会社
音響機器事業部 営業統括部
企画部 商品企画課
三富 大資氏



株式会社ヤマハミュージックジャパン
PA営業部 マーケティング課 主事
石橋 健児氏



モデレーター

LAWO社
アジア大洋州地区販売担当役員
ブレガール・エルリッツ氏



株式会社テレビ朝日
技術局 設備センター コンテンツ制作システムグループ
シニアマネージャー
阿部 健彦氏



TC-163 テクニカルセッション 5

先進AoIPのベクトルとSR現場からの声 ～ミキサーから見るオーディオネットワークの優位性

13:40
▼
14:40

パネリスト

有限会社ハルソニック
加藤 晴美氏



有限会社ケックノック
松田 雅子氏



モデレーター

デルタ音響株式会社
石渡 智子氏



有限会社イノベーション
代表
半澤 公一氏



TC-164 テクニカルセッション 6

画像と音響の国際標準化動向

15:00
▼
17:00

画像・マルチメディアの
国際標準化動向

三菱電機株式会社
通信システム事業本部 技師長
浅井 光太郎氏



オーディオ符号化の国際標準化:
歴史、応用、動向

日本電気株式会社
データサイエンス研究所・主席研究員
杉山 昭彦氏



司会・進行

慶応大学
理工学部 教授
工学博士
長谷 智弘氏



コンファレンススポンサーセッション

▶会場:国際会議場1階[103][104]

聴講無料

14日 (水)	10:00 ▼ 12:00	104 会議室	CS2-141 AI活用、SNSのデマと戦え! デマやフェイクニュースが如何にして作られるか? そして、どう対処するか? 株式会社Spectre 代表取締役 村上 建治郎氏
	15:00 ▼ 17:00	103 会議室	CS1-143 放送のIP化のための技術要素 / AIMS NMOSによるIPネットワークの制御 アリストネットワークスジャパン合同会社 技術部長 兵頭 弘一氏
	15:00 ▼ 16:00	104 会議室	CS2-143 VRもリッチメディア広告も全部Web上で実現! PlayCanvasと作る次世代Webコンテンツ PlayCanvas運営事務局 デジタルアドバイザー 津田 良太郎氏 PlayCanvas運営事務局 デジタルアーティスト 宗形 修司氏 PlayCanvas運営事務局 デジタルアドバイザー 樺 香菜氏

15日 (木)	10:00 ▼ 12:00	104 会議室	CS2-151 AI活用、SNSのデマと戦え! デマやフェイクニュースが如何にして作られるか? そして、どう対処するか? 株式会社Spectre 代表取締役 村上 建治郎氏
	15:00 ▼ 17:00	104 会議室	CS2-153 高品質・低遅延での映像伝送を実現! オープンソース次世代規格SRT Havision EVP&チームマーケティングオフィサー ピーター・マダグ氏
	パネルディスカッション パネリスト 日本マイクロソフト サイバーエージェント 株式会社 RIOT Games 株式会社 エクスプローラ 福島 茂之氏 松澤 友弘氏 Rong Chen氏 福澤 美雪氏 モデレーター Havision EVP&チームマーケティングオフィサー ピーター・マダグ氏		

15日 (木)	15:30 ▼ 17:00	103 会議室	CS1-153 検証! 映画『キングダム』の制作を効率化する、Dell リモートワークステーションの実力 映画『キングダム』制作で実地検証、Dell リモートワークステーションの実力 株式会社ピクチャーエレメント 代表取締役 取締役 DIプロデューサー / カラーグレーダー 大屋 哲男氏 高藤 精二氏 FLAMEエヴァンジェリストが真実を語る! FLAMEにおけるDell製品の実力 FLAMEエヴァンジェリスト (ビジュアル・グラフィックス株式会社) 鳥羽 浩行氏 今、映像制作現場で求められる「IT」とは? パネリスト 株式会社 ビクチャーエレメント 株式会社 ビクチャーエレメント FLAMEエヴァンジェリスト (ビジュアル・グラフィックス株式会社) 大屋 哲男氏 高藤 精二氏 鳥羽 浩行氏 モデレーター テル株式会社 馬場 勇輔氏
------------	---------------------	------------	---

16日 (金)	12:30 ▼ 14:30	104 会議室	CS2-162 Google と考えるこれからのメディア - 働き方改革とデジタルの収益化とAI - グループクラウド・ジャパン合同会社 クラウド営業本部 営業部長 池田 大助氏 パートナー事業開発本部 シニアストラテジックパートナー 土本 将司氏
	13:30 ▼ 14:30	103 会議室	CS1-162 [MQAライブストリーミング]と[MQA-CD]の制作プロセス]
	15:15 ▼ 16:15	103 会議室	CS1-163 MQA CTO(最高技術責任者) ボブ・スチュアート氏 沢口音楽工房 サラウンド音声 宇野 UNAMAS-Label / Fellow Member of AES 沢口 真生氏

同時開催

第55回民放技術報告会

聴講無料
予約不要

▶会場:国際会議場3階 ▶主催・企画:一般社団法人日本民間放送連盟 (JBA)
▶聴講方法:会場に直接お越しください。

14日 (水)	10:30 ▶ 16:45	10:30 ▶ 17:10	10:30 ▶ 17:35
	制作技術部門	回線・伝送部門	ラジオ・音声部門
15日 (木)	10:30 ▶ 12:35	10:30 ▶ 12:35	
	画像技術部門	送信部門	
16日 (金)	10:30 ▶ 16:45	10:30 ▶ 16:45	10:30 ▶ 15:05
	制作技術部門	データ放送・デジタルサービス部門	送出部門

全映協フォーラム 2018 in 幕張

聴講無料

▶フォーラム:APAホテル 東京ベイ幕張 [東京ベイ幕張ホール]
▶懇親会:TKPガーデンシティ幕張 48F
▶主催:一般社団法人 全国地域映像団体協議会
▶お問い合わせ先:info@zeneiyo.jp
▶URL:www.zeneiyo.jp

15日 (木)	14:00 ▶ 14:05	開会挨拶
	14:05 ▶ 14:35	経済産業省プレゼンテーション
	14:35 ▶ 15:05	総務省プレゼンテーション
	15:05 ▶ 15:20	休憩
	15:20 ▶ 15:50	日本映画テレビ技術協会 プレゼンテーション
	16:00 ▶ 17:30	全映協グランプリ2018表彰式
	18:00 ▶ 19:30	懇親会(会費6,500円)

INTER BEE IP PAVILION

IP実機接続デモ

▶会場:展示ホール3[3112]

SMPTE ST 2110 インターオペラビリティ

アリストネットワークスジャパン合同会社、NEC、オタリテック株式会社、グラスパレー株式会社、シスコシステムズ、セイコーソリューションズ株式会社、ソニービジネスソリューション株式会社、テクトロニクス、株式会社フォトロン、株式会社朋栄、Matrox、株式会社メディアリンクスエルエスアイラボ、リーダー電子株式会社、リーデルコミュニケーションズジャパン株式会社

ARIB STD B73 インターオペラビリティ

アルピクス株式会社、エイチ・シー・ネットワークス株式会社、ソニービジネスソリューション株式会社、テクトロニクス、日本コントロールシステム株式会社、ハーモニックジャパン合同会社、リーダー電子株式会社

SMPTE ST 2022-6 インターオペラビリティ

アラクスネットワークス株式会社、NEC、株式会社芙蓉ビデオエイジェンシー、株式会社朋栄、株式会社メディアリンクス、メラノックステクノロジーソリューションズ株式会社

画質比較(TICO・LLVC・JPEG 2000・NDI・JPEG-XS)

株式会社アスク、IntoPIX、ソニービジネスソリューション株式会社、株式会社朋栄、株式会社メディアリンクス

IP関連企業展示

▶会場:展示ホール3[3111]

参加企業 池上通信機株式会社、三信電気株式会社、ジャパンマテリアル株式会社、タスカム/ティアック株式会社、東芝インフラシステムズ株式会社、株式会社フェアウェイ

リレーセミナー

▶会場:展示ホール3[3214]

11月14日(水)	講演テーマ/会社名
12:00 ▶ 12:20	IPに対応したI/Oに求められる機能 ジャパンマテリアル (株)
12:30 ▶ 12:50	放送品質を実現するM3L社の12G-SDI向け25GbE対応 SMPTE ST2110およびST2059 IPコアのご紹介 (株)メディアリンクスエルエスアイラボ
13:00 ▶ 13:20	IP Liveプロダクションシステムの導入実績と開発動向 ソニー (株)
13:30 ▶ 13:50	LiveU システムによる映像伝送革命~進化し続けるモバイル映像配信~ 三信電気 (株)
14:00 ▶ 14:20	SDI・IP共存システムへの取り組み (株)朋栄
14:30 ▶ 14:50	次世代4K、8Kを支えるメラノックスの Video over IPソリューションのご紹介 メラノックステクノロジーソリューションズ (株)
15:00 ▶ 15:20	TASCAM Dante対応製品と導入アプリケーションのご紹介 タスカム/ティアック (株)
15:30 ▶ 15:50	Media Switching Network (次世代ビデオ伝送SDN) (株)メディアリンクス
16:00 ▶ 16:20	広告収益最大化を実現する高品質ライブエンコーダ カペラスシステムズ
16:30 ▶ 16:50	映像のIP伝送とリーダー電子の取り組み リーダー電子 (株)

11月15日(木)	講演テーマ/会社名
11:00 ▶ 11:20	IPシステムで生放送番組制作は可能か? 池上通信機の取り組みとInter BEEでの展示概要 池上通信機 (株)
11:30 ▶ 11:50	IP Liveプロダクションシステムの導入実績と開発動向 ソニー (株)
12:00 ▶ 12:20	時速100kmのIP伝送-LTEで実現する4K伝送 (株)フェアウェイ
12:30 ▶ 12:50	放送品質を実現するM3L社の12G-SDI向け25GbE対応 SMPTE ST2110およびST2059 IPコアのご紹介 (株)メディアリンクスエルエスアイラボ
13:00 ▶ 13:20	オープンインターネット上でのリアルタイム伝送技術 [R2TP/F2TP] ケイトンテクノロジー/ (株)イノコス
13:30 ▶ 13:50	4K IPライブ伝送 (TICO/J2K/WDM) (株)メディアリンクス
14:00 ▶ 14:20	演奏所設備のIP化~マスターを中心に~ NEC
14:30 ▶ 14:50	次世代4K、8Kを支えるメラノックスの Video over IPソリューションのご紹介 メラノックステクノロジーソリューションズ (株)
15:00 ▶ 15:20	SDI・IP共存システムへの取り組み (株)朋栄
15:30 ▶ 15:50	放送局設備のIP化に関するSMPTEの標準化動向 SMPTE
16:00 ▶ 16:20	4K IPプロダクション:SDNによるネットワーク制御/ ステータス可視化とブロードキャストコントローラによる統合監視・制御 ~ embriox・BFE・Mellanoxによる提案と導入事例のご紹介~ デジキャス合同会社
16:30 ▶ 16:50	映像のIP伝送技術とフォトロンの取り組み (株)フォトロン

11月16日(金)	講演テーマ/会社名
11:00 ▶ 11:20	広告収益最大化を実現する高品質ライブエンコーダ カペラスシステムズ
11:30 ▶ 11:50	映像のIP伝送技術とフォトロンの取り組み (株)フォトロン
12:00 ▶ 12:20	IPに対応したI/Oに求められる機能 ジャパンマテリアル (株)
12:30 ▶ 12:50	時速100kmのIP伝送-LTEで実現する4K伝送 (株)フェアウェイ
13:00 ▶ 13:20	4K IPプロダクション:SDNによるネットワーク制御/ ステータス可視化とブロードキャストコントローラによる統合監視・制御 ~ embriox・BFE・Mellanoxによる提案と導入事例のご紹介~ デジキャス合同会社
13:30 ▶ 13:50	放送局設備のIP化に関するSMPTEの標準化動向 SMPTE
14:00 ▶ 14:20	オープンインターネット上でのリアルタイム伝送技術 [R2TP/F2TP] ケイトンテクノロジー/ (株)イノコス
14:30 ▶ 14:50	演奏所設備のIP化~マスターを中心に~ NEC
15:00 ▶ 15:20	LiveU システムによる映像伝送革命~進化し続けるモバイル映像配信~ 三信電気 (株)
15:30 ▶ 15:50	TASCAM Dante対応製品と導入アプリケーションのご紹介 タスカム/ティアック (株)

INTER BEE EXPERIENCE

X-Speaker SRスピーカー体験デモ

- ▶会場：イベントホール
- ▶後援：一般社団法人日本舞台音響家協会、日本舞台音響事業協同組合
- ▶メディアパートナー：SoundRecording PROSOUND Stage Sound Journal SOUND
- ▶映像機材協賛：  ARK Ventures

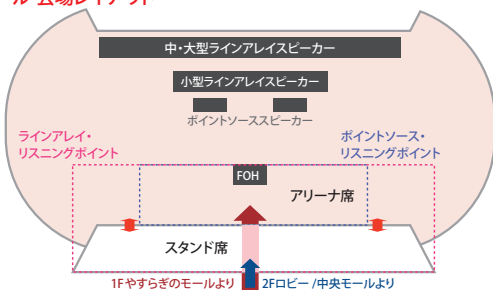
デモスケジュール

14日 10:00開場/17:50閉場 15日 10:00開場/18:00閉場 16日 10:00開場/17:10閉場

11.14 (水)	11.15 (木)	11.16 (金)
10:30  株式会社ヤマハミュージックジャパン	10:30  株式会社ヤマハミュージックジャパン	10:30  ビビンターサウンド株式会社
11:20  TOA株式会社	11:10  ボッシュセキュリティシステムズ株式会社	11:10  音響特機株式会社
12:00  ティアック株式会社	11:50  ベストテクノロジーオーディオ株式会社	11:50  リワイアー株式会社
12:40  パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社	12:30  音響特機株式会社	12:30  株式会社マーチンオーディオジャパン
13:20  ボース合同会社	13:10  JBL オーディオテクニク・ジャパン株式会社	13:10  ティアアンドビーオーディオテクニク・ジャパン株式会社
14:20  ビビンターサウンド株式会社	14:20  株式会社ヤマハミュージックジャパン	13:50  株式会社ヤマハミュージックジャパン
15:00  音響特機株式会社	15:10  TOA株式会社	14:30  ボッシュセキュリティシステムズ株式会社
15:40  リワイアー株式会社	15:50  パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社	15:10  ベストテクノロジーオーディオ株式会社
16:20  株式会社マーチンオーディオジャパン	16:30  ティアック株式会社	15:50  音響特機株式会社
17:00  ティアアンドビーオーディオテクニク・ジャパン株式会社	17:10  ボース合同会社	16:30  JBL オーディオテクニク・ジャパン株式会社

ポイントソーススピーカー
 小型ラインアレイスピーカー
 中・大型ラインアレイスピーカー
 機材協力：株式会社マーチンオーディオジャパン

イベントホール 会場レイアウト



X-Headphone | X-Microphone

ヘッドフォン/マイクロフォン試聴体験展示

▶会場：展示ホール1 (プロオーディオ部門内)

X-Microphone 参加企業/製品ブランド

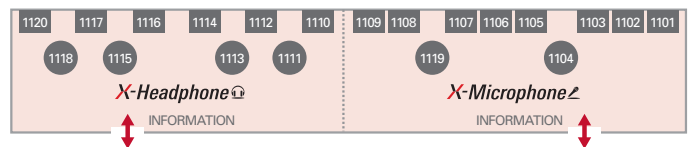
1101	ウエタックス株式会社	
1102	ローランド株式会社	
1103	株式会社宮地商会M.I.D.	
1104	ゼンハイザー・ジャパン株式会社	 
1105	株式会社オーディオテクニカ	
1106	日本テックトラスト株式会社	
1107	ソニーマーケティング株式会社	
1108	株式会社オーディオプレインズ	
1109	オタリテック株式会社	 
1119	マス工房	

X-Headphone 参加企業/製品ブランド

1110	ゼンハイザー・ジャパン株式会社	
1111	株式会社タイムロード	
1112	ティアック株式会社	
1113	株式会社ヤマハミュージックジャパン	
1114	株式会社スタジオイックイブメント	
1115	有限会社スタックス	
1116	株式会社オーディオテクニカ	
1117	ビビン株式会社	
1118	シユア・ジャパン株式会社	
1120	リワイアー株式会社	

機材協力：ティアック株式会社 / 株式会社ヤマハミュージックジャパン

展示ホール 会場レイアウト



INTER BEE IGNITION

■ 基調講演 ▶ 会場: 国際会議場2階 コンベンションホールA

KN-162

「ネクストマルチメディア・エンターテインメント×エクスペリエンス・デザイン ～新しい都市型エンターテインメントの仕掛けと拡張性～」

日英同時通訳付

基調講演

11月16日 (金) 13:00 - 14:30

Moment Factory 東京オフィス ディレクター
Marc-André Baril氏

パネルディスカッション

モデレータ
株式会社HEART CATCH 代表取締役
西村 真里子氏

パネリスト

Moment Factory 東京オフィス ディレクター
Marc-André Baril氏

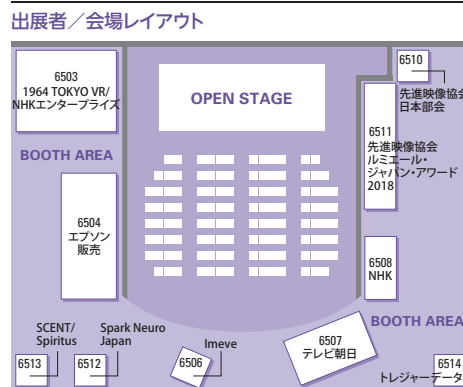
株式会社電通 コンテンツビジネス・デザイン・センター ディレクター
園枝 礼子氏

吉本興業株式会社 企画部長
吉川 徹氏

株式会社電通 テックブランドエンゲージメントセンター長
柴本 昌彦氏

■ 企画セッション ▶ 会場: 展示ホール6 (ICT/クロスメディア部門) IGNITION内オープンステージ

11月14日 (水)	11月15日 (木)	11月16日 (金)	
<p>IG-141 先進映像協会 アワード表彰式 2018</p> <p>良質な3D、UHD、VR作品へ贈られるルミエール・ジャパン・アワード、当該分野の発展への寄与が期待される取り組みへ贈られるグッドプラクティス・アワードの、今年度の受賞者を表彰・公表しました。</p> <p>■ 先進映像協会 グッドプラクティス・アワード 2018 奨励賞 「トリプルブラスアルファ:VRとライブミュージカルの融合への取り組み」 株式会社アルファコード、音楽座ミュージカル</p> <p>■ 先進映像協会 ルミエール・ジャパン・アワード 2018</p>	<p>IG-151 VRで変わるエンターテインメントビジネスの未来</p> <p>パネリスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>株式会社J-WAVE 編成局デジタル開発部長 小向 国晴氏</p> <p>株式会社大宮放送 技術局放送技術部 メディア戦略担当 古川 能久氏</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>株式会社大宮放送 編成局 新田 敦生氏</p> <p>株式会社ジョリーウッド 代表取締役CEO 上野 健介氏</p> </div> </div> <p>モデレータ</p> <p>株式会社シネマレイ 代表取締役 増田 勝彦氏</p> <p>株式会社ライノメディア 代表取締役 原田 克彦氏</p> <p>一般社団法人日本ドローンレジャー協会 (JDRA) 副代表理事 横田 淳氏</p> <p>株式会社ヘキサメディア 代表取締役 野口 亮也氏</p> <p>合同会社CCN 代表社員 安藤 嘉康氏</p>	<p>IG-161 After the MUTEK—BLOCK UNIVERSE時空間をアートで体感する時代へ</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">MUTEK^{JP}</p> <p>パネリスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>KDDI 株式会社 水田 修氏</p> <p>一般社団法人 MUTEK Japan 代表理事 岩波 秀一郎氏</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>一般社団法人 MUTEK Japan 代表理事 竹川 潤氏</p> </div> </div> <p>モデレータ</p> <p>株式会社アルファコード 代表取締役 CEO 水野 拓宏氏</p> <p>サウンド・アーキテクト / 作曲家 大黒 淳一氏</p> <p>音楽座ミュージカル 俳優 / プロデューサー 森 彩香氏</p> <p>一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム 合同会社江口靖二事務所 江口 靖二氏</p>	
<p>IG-142 ミレニアルズ マスなき分散時代のメディア・コミュニティ・インフルエンサー</p> <p>パネリスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>日本テレビ放送網株式会社 デジタルホスニア・クリエイター 土屋 敏男氏</p> <p>株式会社VAZ 代表取締役社長 森 泰輝氏</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>株式会社BLAST 代表取締役社長 石井 リナ氏</p> <p>株式会社 モンタム・ホース 代表取締役 長谷川 リョー氏</p> </div> </div> <p>モデレータ</p> <p>株式会社CCN 代表社員 安藤 嘉康氏</p>	<p>IG-152 ドローンが拓く新しい表現</p> <p>パネリスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>株式会社ライノメディア 代表取締役 原田 克彦氏</p> <p>一般社団法人日本ドローンレジャー協会 (JDRA) 副代表理事 横田 淳氏</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>株式会社シネマレイ 代表取締役 増田 勝彦氏</p> <p>株式会社ヘキサメディア 代表取締役 野口 亮也氏</p> </div> </div> <p>モデレータ</p> <p>合同会社CCN 代表社員 安藤 嘉康氏</p>	<p>IG-162 高臨場感時代の音と映像の表現手法の再定義</p> <p>パネリスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>株式会社アルファコード 代表取締役 CEO 水野 拓宏氏</p> <p>音楽座ミュージカル 俳優 / プロデューサー 森 彩香氏</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>サウンド・アーキテクト / 作曲家 大黒 淳一氏</p> <p>一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム 合同会社江口靖二事務所 江口 靖二氏</p> </div> </div> <p>モデレータ</p> <p>一般社団法人 リットーミュージック 取締役 國崎 晋氏</p> <p>キュレーター [Bound Baw] 編集長 塚田 有那氏</p>	
<p>IG-143 J-WAVE INNOVATION WORLD 公開収録</p> <p>ナビゲーター</p> <p>AR三兄弟・長男 川田 十夢氏</p> <p>ゲスト</p> <p>映像作家 山田 智和氏</p>	<p>IG-153 DCEXPO連携企画セッション ASIAGRAPH2018 創賞・匠賞授賞式</p> <p>創賞受賞・登壇</p> <p>小説家 林 真理子氏</p> <p>東京大学名誉教授 / アーティスト 河口 洋一郎氏</p> <p>匠賞受賞</p> <p>アーティスト、インタラクティブデザイナー、プログラマー、DJ 貞鍋 大度氏</p> <p>匠賞登壇</p> <p>株式会社ライノメディア 取締役 千葉 秀憲氏</p>	<p>IG-163 音のVR - 音から立ち上がるリアリティ</p> <p>パネリスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>音楽家、サウンドアーティスト evala氏</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>株式会社 リットーミュージック 取締役 國崎 晋氏</p> </div> </div> <p>モデレータ</p> <p>キュレーター [Bound Baw] 編集長 塚田 有那氏</p>	
<p>Open Innovation Ideathon powered by Japan Display Inc.</p> <p>時代はO2OからOMOへ～コンテンツ・ディスプレイ・生活の融合を考えるアイデアソン</p>	<p>IG-154 DCEXPO連携企画セッション コンテンツ技術が私たちの生活を変える?! ～最新映画・アニメにみる未来～</p> <p>講師</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>東京大学 先端科学技術研究センター 教授 稲見 昌彦氏</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>株式会社エンクワイ 代表取締役 社長 近藤 "GOROMAN" 義仁氏</p> </div> </div>	<p>EPSON EXCEED YOUR VISION</p>	



INTER BEE CONNECTED

企画セッション ▶会場: 展示ホール7 (ICT/クロスメディア部門) INTER BEE CONNECTED内オープンステージ

11月14日(水)

過熱する視聴測定市場やオーディエンス分析の最前線早分かり。注目の視聴データのビジネス化は?編成、制作、営業担当者必見の一日

CN-141 マルチスクリーン時代の動画視聴者像 ～電通とビデオリサーチによる最新分析～

スマートデバイスの普及を受け、ネット経由の動画視聴機会が拡大している。並行して、若年層のテレビ離れへの対応も急がれるようになった。これらの話題を理解するために、日常の生活サイクルにテレビを含む各種デバイスへの接触や動画接触がどう浸透しているのか理解することが大切である。現在進行中のメディアライフスタイルの変化の行方に、電通とビデオリサーチ両社が最新データ分析と多様な視点を交えて迫った。

10:30
▼
12:00

モデレーター

株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ 統括責任者 **奥 律哉氏**

株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ メディアイノベーション研究部長 **美和 晃氏**

株式会社ビデオリサーチ ひび研究所 主任研究員 **渡辺 庸人氏**

株式会社ビデオリサーチ ソリューション事業局 エグゼクティブフェロー **石松 俊之氏**

パネリスト

KN-142 ネットとテレビの境目から テレビの未来を語る

国際会議場より中継

これまでの主なテレビ批評は、内情を余り知らない外の評論家によるものか、テレビ局OBによる懐古主義的なものばかりで、現場にほとんど響くことはなかった。そこで今回ネットの最前線で活躍し、かつテレビの裏側まで知り尽くしているキーマンが、テレビの置かれた状況やネット業界との違いなどを語り、さらにテレビの未来について提言した。

13:00
▼
14:30

モデレーター

株式会社ワイズメディア 取締役 メディアストラテジスト
フラー株式会社 常務取締役
(元フジテレビ(元朝日放送)局長) **塚本 幹夫氏**

株式会社ドワンゴ エグゼクティブ・プロデューサー
(元日本テレビ(元朝日放送)局長) **吉川 圭三氏**

株式会社バススクール 代表取締役
クリエイティブディレクター **朴 正義氏**

NPO法人8bitNews 代表理事
株式会社CARDCN 代表
(元NHKアナウンサー) **堀 潤氏**

パネリスト

CN-143 進化するテレビ視聴ログデータ最前線

テレビのメディア価値は視聴データでどのように高められるか? “視聴ログを自身で収集し、利活用している事業社”の方々に登壇いただき可能性と未来を聞いた。

15:00
▼
16:00

モデレーター

株式会社電通 ラジオテレビ局 局長補 **須賀 久彌氏**

株式会社テレビ朝日 インターネットテレビジョン・センター・ヒップデータ部 部長
兼 営業局 メディアマーケティング部長 **松瀬 俊一郎氏**

株式会社HAROID 取締役副社長 **田中 謙一郎氏**

ソニーマーケティング株式会社 ネットワークサービス部 ビジネスプランニングマネジャー **佐保 学氏**

パネリスト

CN-144 大学生に生で聞くメディア生活

若者のテレビ離れが言われて久しいですが、逆に観ているという声も聞きます。いったい彼らはテレビを観ているのかいないのか、あるいはネットでどんなメディアを観ているのか。このセッションでは産業能率大の小々馬教授とゼミの学生さんたちをお招きし、若者のメディア生活の本当の姿を生で聞き、赤裸々に語ってもらった。

16:30
▼
17:30

モデレーター

メディアコンサルタント **境 治氏**

パネリスト

産業能率大学 **小々馬 敦氏**

産業能率大学 学生



11月15日(木)

配信戦国時代。気になるあのサービスの舞台裏は?業界の共通PF化の動向は?同時配信議論は?配信周りのホットピックスを一網打尽

CN-151 ラジオを止めるな!～進化し続けるradikoの取り組み

2010年のサービス開始以降、進化の歩みが止まらないIPサイマルラジオ「radiko」。「エリアフリー」「タイムフリー」「シェアラジオ」「AIスピーカー対応」に続いて、今夏からはターゲットに向けた「オーディオアド」の実験もスタートした。また、FMチップ搭載のスマホで放送と配信(radiko)を切り替えて受信できる「ハイブリッドラジオ」端末の発売に向けても取り組んでいる。radikoの最新の取り組みと今後のビジョンについて語った。

10:30
▼
11:30

モデレーター

メディアアドバイザー/ラジオNHK副局長 技術顧問 **掛原 雅行氏**

株式会社radiko 業務推進室長 **坂谷 温氏**

株式会社CBCラジオ 技術部 副部長 **金児 洋一氏**

パネリスト

CN-152 テレビ局発のSVODサービスはどこに向かうのか?

AT&Tのタイムワナー 買収。ディズニーによる21世紀FOX買収。CBSやHBOによる独自配信PF。米メディア業界は、Netflix、Amazonなど巨大OTTへの対抗策が熱を帯びている。翻って日本ではどうか。日本テレビが国内事業を買収して4年になるHulu、TBSとテレビ東京などが中軸となってスタートしたPARAVI。独自路線を進むフジテレビのFOD。キー局主体で運営されているSVODサービスそれぞれの思惑と今後の見通しを聞く。

12:30
▼
14:00

モデレーター

株式会社ワイズメディア 取締役 メディアストラテジスト
フラー株式会社 常務取締役 **塚本 幹夫氏**

HJホールディングス株式会社 取締役 編成部 部長 **高谷 和男氏**

株式会社プレミアム・プラットフォーム・ジャパン コンテンツ局コンテンツ推進責任者/チーフ・プロデューサー **高澤 宏昌氏**

株式会社フジテレビジョン 総合家業局 コンテンツ事業センター 部長 部長 **野村 和生氏**

パネリスト

CN-153 スポーツ配信の可能性はいま2018 ～拡充してきた各種取り組み事例から～

2018年になり、様々な配信の取り組みが実施されてきています。視聴者およびユーザーの反応が高いとされるスポーツ分野でもトライアルから一歩も二歩も踏み込んだ形で配信もスタートしてきています。ライブ配信、ハイライト配信、放送同時配信等々、方法の整理とともに、視聴者ユーザーが望んでいることに応じていけるのか、「ただ配信すればよい」では済まされない現状からスポーツ配信の可能性を探った。

14:30
▼
15:30

モデレーター

株式会社trtv 代表取締役 **須澤 太次氏**

日本テレビ放送網株式会社 スポーツ局スポーツ事業推進部 部長 部長 **佐野 徹氏**

GOLF Net TV 株式会社 取締役 **八田 浩氏**

パネリスト

CN-154 「ショート動画」はテレビ局の次の主戦場になるか?

テレビ局やネット企業、PR会社などがそれぞれの目的のためにショート動画市場に参入し始めている。多くの共通点は、自社のプラットフォームにこだわらず複数のSNSや様々なサイトに分散させながら広く拡散させる点などが上げられるが、目的によってはテレビ局の既存コンテンツを再編集したケースもあれば、イチからショート動画として制作しているケースも多い。果たしてショート動画は、SNSやスマホ中心に生活をしている若い人を取り込む起爆剤になるのか?拡大する動画広告市場の新たな受け皿に成長するのか?様々な目的からショート動画に取り組む、最前線のパネリストを迎え、彼らの目的や具体的な施策をお聞きし、その手応えや、狙い、ビジネス性、将来像を語り合う。

16:00
▼
17:00

モデレーター

株式会社HAROID 代表取締役社長 **安藤 聖泰氏**

パネリスト

日本放送協会 総務プロデューサー **田中 瑞人氏**

日本テレビ放送網株式会社 ICT戦略本部 **原 浩生氏**

株式会社フジテレビジョン 総合事業局 コンテンツ事業室 主任 **橋本 英明氏**

CN-155 After Hours! ユーザ目線でのテレビの未来

来場者も参加できるフリーディスカッション形式

テレビはどこに行こうとしているのか? SVODや同時配信等さまざまな施策が行われている中、改めて、テレビの未来はどうなるのか、パネルに登壇するテレビ局担当者やメディア分析者に加えて、会場からのご意見も伺いながら、いろいろな角度から検討します。このセッションは、初のAfter Hours、通常の展示時間を終えた時間帯に行われた。

17:30
▼
19:30

モデレーター

パネリスト

放送総局デジタルセンター 副部長 **倉又 俊夫氏**

株式会社HAROID 代表取締役社長 **安藤 聖泰氏**

株式会社情報戦略Oメディアパートナーズ メディア戦略研究所 所長 **吉川 昌学氏**

会場司会

メディアコンサルタント **境 治氏**

株式会社テレビ東京ホールディングス コンテンツ総局 企画推進部長 **蛭川 新治郎氏**

株式会社NHKエンタープライズ 制作本部 番組開発 部長 **河瀬 大作氏**

11月16日(金)

テレビ局のコンテンツは種類も役割も多様。個々の価値を最大化しビジネス化していくための具体的な取り組み事例や方法論を学べた一日

CN-161 盛り上がる放送局のオウンドメディア

放送局のネット活用は、コンテンツ配信の次の段階に進もうとしています。そのひとつが自社でメディアを持つ動きです。現状は、宣伝活動の場としてのメディア活用が基本となっていますが、そこから先に様々な可能性も見えて来つつあります。このセッションでは、次の一歩を踏み出そうとするオウンドメディア担当者を集まってもらい、現状とビジョンを語ってもらいます。放送が放送を超えた存在になる?そんな可能性が見えた。

10:30
▼
11:30

モデレーター

メディアコンサルタント
境 治氏

株式会社テレビ東京コミュニケーションズ
取締役 兼 テレビ東京 ライフビジネス本部
コンテンツ事業局ビジネス開発部
本田 光範氏

読売テレビ放送株式会社
編成局東京宣伝部
西川 章洋氏

株式会社TBSラジオ
メディア推進局 インターネット事業推進部 部長
萩原 慶太郎氏

CN-162 ここまで来たテレビ番組の海外展開

日本のコンテンツは海外展開が進んでいない。そんなことが言われてきましたが、どうやら近年、急激に海外番組が活性化しているようです。とくにフォーマット販売に大きな可能性が見えてきたと言えます。このセッションは、放送局の海外部門でフロンティアを切り開いてきた方々にお集まりいただき、その最新動向を紹介してもらいます。この分野に詳しい佛教大学・大場教授をモデレーターに、今後どう広げるかまで掘り下げた。

12:00
▼
13:00

モデレーター

佛教大学 社会学部 教授
大場 吾郎氏

株式会社TBSテレビ
メディアビジネス局海外事業部 担当部長
杉山 真喜人氏

日本テレビ放送網株式会社
海外ビジネス推進室 海外事業部次長
西山 美樹子氏

株式会社フジテレビジョン
総合事業局 コンテンツ事業センター コンテツ事業室
早川 敬之氏

株式会社ABCインターナショナル
代表取締役社長
井上 修作氏

CN-163 ローカルコンテンツ×持続力のある地域創生

「ローカルコンテンツ」という言葉からは、海外展開によるインバウンド需要喚起や4Kコンテンツの外販など、完成した作品パッケージそのものを連想することが多い。しかし最近になり、「企画立案～制作プロセス～公開と展開～レガシーの応用」というライフサイクル全体で当該地域を活性化させ、多様で持続的な効果を生む事例も現れている。そうした事例を紐解きながら、ローカルコンテンツ制作と地域創生の可能性について考えた。

13:30
▼
15:00

モデレーター

日本放送協会
放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹
吉川 邦夫氏

北海道文化放送株式会社
編成制作部 制作部長
後藤 一也氏

南海放送株式会社
取締役 専務執行役員
大西 康司氏

高知さんさんテレビ株式会社
常務取締役 営業局長
植田 昌之氏

**CN-164 2030年テレビは何ができるのか?
～Society5.0時代のメディアの役割～**

少子高齢化、過疎化、経済縮小、多発する災害…。日本社会が抱える課題は今後一層深刻になっていくことは間違いない。こうした課題をインターネットテクノロジーで解決していくというのが、現在、国が示す「Society5.0」政策であるが、その中でテレビや放送には何が期待され、またどんなビジネスチャンスがあるのか。本セッションでは課題が先行する地域社会に焦点をあてて、具体的な取り組み事例や課題、メディアを超えた連携のあり方などを考えた。

15:30
▼
17:00

モデレーター

日本放送協会 放送文化研究所
メディア研究部 研究主幹
村上 圭子氏

京都大学 大学院法学研究科・教授
曾我部 真裕氏

となみ衛星通信テレビ株式会社 常務取締役
宅見 公志氏

日本放送協会
報道局 社会番組部 チーフ・プロデューサー
花輪 裕久氏

株式会社南日本放送
編成局長兼編成部長
切通 啓一郎氏

出展者プレゼンテーション

▶会場:展示ホール7INTER BEE CONNECTED内プレゼンコーナー

11月14日(水)

13:30
▼
14:00

クラウド+オンプレミスのハイブリッドでワークフロー改善!
ニュース素材の自動収録・マルチ配信ソリューションの紹介
(株)トップ・クリエーション

14:30
▼
15:00

個人特定情報が可能にしたテレビ・ウェブのクロスデバイスによる
ログ活用ソリューション HAROiD xAd について
(株)HAROID

15:30
▼
16:00

ミリ秒への挑戦!
驚異の「1秒未満」遅延のライブストリーミングの実現方法
ライムライト・ネットワークス・ジャパン(株)

11月15日(木)

11:00
▼
11:30

ハイブリッドキャストテレビとモバイル向けマルチデバイス同時配信
～低遅延統一フォーマットCMAF活用、SSAI対応マスタ設計、IPTV最新動向～
(一社)IPTVフォーラム(株式会社フジテレビジョン)

13:30
▼
14:00

個人特定情報が可能にしたテレビ・ウェブのクロスデバイスによる
ログ活用ソリューション HAROiD xAd について
(株)トップ・クリエーション

14:30
▼
15:00

最新サービス・最新情報の動画ニュースサイト
-VNNニュースチャンネル-
(株)HAROID

15:30
▼
16:00

ミリ秒への挑戦!
驚異の「1秒未満」遅延のライブストリーミングの実現方法
ライムライト・ネットワークス・ジャパン(株)

11月16日(金)

11:00
▼
11:30

ハイブリッドキャストによる新しい放送サービスの技術規格の策定
～ハイブリッドキャストによる端末連携～
(一社)IPTVフォーラム

13:30
▼
14:00

クラウド+オンプレミスのハイブリッドでワークフロー改善!
ニュース素材の自動収録・マルチ配信ソリューションの紹介
(株)トップ・クリエーション

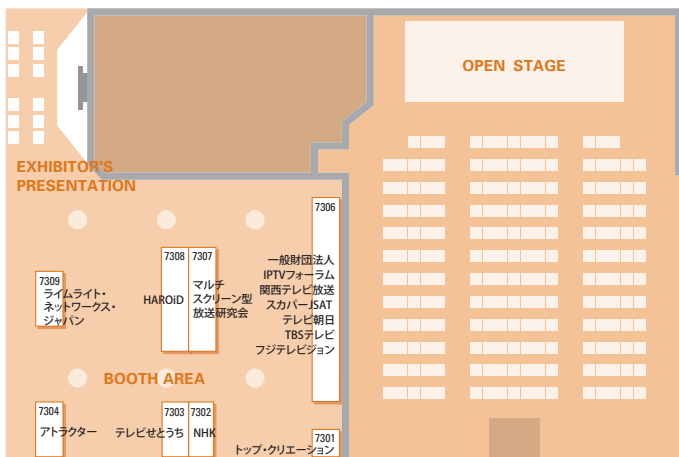
14:30
▼
15:00

テレビの次を目指す ライブエンターテインメント「ライブチャンネル」
(株)HAROID

15:30
▼
16:00

ミリ秒への挑戦!
驚異の「1秒未満」遅延のライブストリーミングの実現方法
ライムライト・ネットワークス・ジャパン(株)

出展者/会場レイアウト



INTER BEE CREATIVE

■ 基調講演 ▶ 会場：国際会議場2階 コンベンションホールA

KN-152 ゴジラに見るジャパン・コンテンツパワー

11月15日 (木) 13:00 - 14:30

映画監督 樋口 真嗣氏 

株式会社ポリゴンピクチャーズ 代表取締役/CEO/エグゼクティブプロデューサー 塩田 周三氏 

INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏 

進行

■ 出展者/会場レイアウト

OPEN STAGE

8607 日本ポストプロダクション協会

8605 キュー・テック

8604 パナソニック映像

BOOTH AREA

8606 音響ハウス

8601 オムニバス・ジャパン

8602 ティーアンドエーミュージック

8603 レスバビジョン

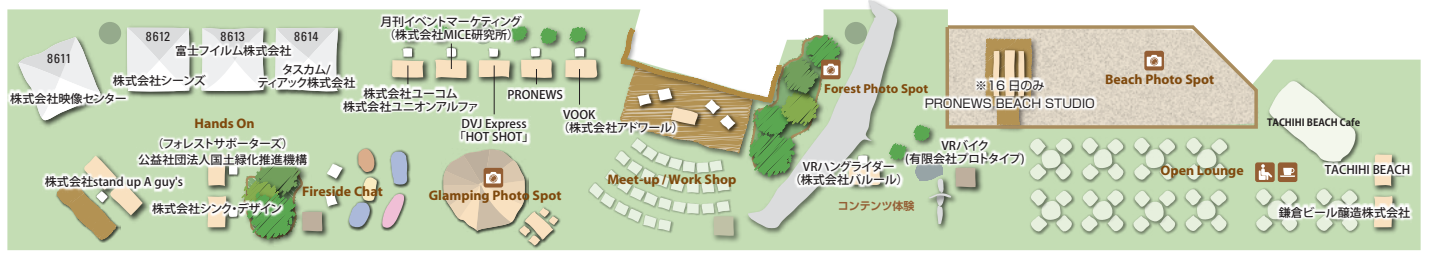
■ クリエイティブセッション ▶ 会場：展示ホール8 (ICT/クロスメディア部門) INTER BEE CREATIVE内オープンステージ

11月14日(水)	11月15日(木)	11月16日(金)
<p>CR-141 MEDIA × CREATIVE :最先端メディアが切り拓く 新たなエンタテインメントの未来</p> <p>10:30 - 11:15</p> <p>株式会社IMAGICA GROUP ビジネスディベロップメント部 セネラルプロデューサー 諸石 治之氏 </p> <p>日本電信電話株式会社 研究企画部門 プロデューサー担当 担当部長/チーフプロデューサー 丸山 剛一氏 </p> <p>日本電信電話株式会社 研究企画部門 プロデューサー担当 担当部長 山口 徹也氏 </p> <p>株式会社NTTドコモ コンシューマービジネス推進部 デジタルコンテンツサービス デジタルコンテンツ企画担当課長 山崎 裕司氏 </p> <p>株式会社MICE研究所 月刊イベントマーケティング 編集長 樋口 陽子氏 </p>	<p>CR-151 DigiCon6 ASIA 第20回 開催記念セッション</p> <p>10:30 - 11:45</p> <p>全世界で大ブレイク!『アグレッシブ烈子』と ショートアニメのグローバル戦略</p> <p>スピーカー 進行</p> <p>株式会社ファンワークス 代表取締役 高山 晃氏 </p> <p>DigiCon6 ASIA プロデューサー 東 信弘氏 </p>	<p>CR-161 日英同時通訳付 ディズニー「くるみ割り人形と秘密の王国」の 最新のVFX ~ MPCフィルムVFXスーパーバイザーが、 「くるみ割り人形と秘密の王国」で使われている 最新の最先端VFXについて語る Part2</p> <p>10:30 - 11:15</p> <p>MPC Film VFX Supervisor Max Wood氏 </p>
<p>CR-142 ミレニアル世代の映像クリエイター</p> <p>11:30 - 12:15</p> <p>映像作家・映像監督 TOKYO FILM所属 山田 智和氏 </p> <p>映画監督 犬童 一利氏 </p> <p>株式会社4thFILM 代表取締役 映像ディレクター/カメラマン/プロデューサー 曾根 隼人氏 </p> <p>株式会社アドワール 代表取締役 (Vook) 岡本 俊太郎氏 </p>	<p>CR-152 「21世紀の映像(動画)人材の育て方」</p> <p>12:00 - 12:45</p> <p>株式会社4thFILM 代表取締役 映像ディレクター/カメラマン/プロデューサー 曾根 隼人氏 </p> <p>株式会社アドワール 代表取締役 (Vook) 岡本 俊太郎氏 </p>	<p>CR-162 今テレビ業界関係者が知るべき VR映像</p> <p>11:30 - 12:15</p> <p>写真家、映像作家、360度VRコンテンツクリエイター 梁瀬 直人氏 </p> <p>株式会社Too プロジェクト推進室 デジタル・ディレクター 櫻井 充氏 </p>
<p>CR-143 Vimeo Creator's Session</p> <p>13:00 - 13:45</p> <p>ビジュアルアートディレクター 中間 耕平氏 </p> <p>映像ディレクター 柴田 大平氏 </p>	<p>CR-153 出張 MOTION LOUNGE Part1</p> <p>13:00 - 13:45</p> <p>映像作家 中根 さや香氏 </p> <p>シンガーソングライター・デザイナー Azumi氏 </p> <p>映像ライター・コラムニスト 林 永子氏 </p>	<p>CR-163 ~高精度+HDR+WCG=ドラマチック8K~ 8K非圧縮映像への挑戦!</p> <p>13:00 - 13:45</p> <p>株式会社キュー・テック ポストプロダクション事業部 映像部第1 映像グループ シニアプロデューサー 今塚 誠氏 </p> <p>株式会社キュー・テック プロジェクト推進室 シニアプロデューサー 小池 俊久氏 </p>
<p>CR-144 映画監督をめざした先に ~「カラコエの花」の監督にきく~</p> <p>14:00 - 14:45</p> <p>映画監督 中川 駿氏 </p> <p>株式会社stand up A guy's 代表取締役 竹倉 寛教氏 </p>	<p>CR-154 出張 MOTION LOUNGE Part2</p> <p>14:00 - 14:45</p> <p>映像作家 中根 さや香氏 </p> <p>シンガーソングライター・デザイナー Azumi氏 </p> <p>映像ライター・コラムニスト 林 永子氏 </p>	<p>CR-164 社内開発で切り開くベストプラクティス [自社構築サーバー・大容量LTOアーカイブ・業務システム]</p> <p>14:00 - 14:45</p> <p>レスバビジョン株式会社 システムマネージャ 久保江 剛介氏 </p> <p>レスバビジョン株式会社 システムマネージャ 澤津 健吾氏 </p>
<p>CR-145 GODZILLA CGメイキング - PPI流 look development -</p> <p>15:00 - 15:45</p> <p>株式会社ポリゴンピクチャーズ 制作担当執行役員 多家 正樹氏 </p>	<p>CR-155 マイクロドローンがもたらす 映像表現の未来</p> <p>15:00 - 15:45</p> <p>株式会社シネマレイ 代表取締役 増田 勝彦氏 </p> <p>映像作家・演出家・AA4株式会社 代表 東市 篤憲氏 </p> <p>株式会社玄光社 コマーシャル・フォト 統括編集長 川本 康氏 </p>	<p>CR-165 先端映像技術への挑戦 <第3弾> ~HDR放送開始直前! HDR映像制作現場から (HLG編)~</p> <p>15:00 - 15:45</p> <p>パナソニック映像株式会社 R&Dグループ 技術顧問 竹内 明弘氏 </p> <p>パナソニック映像株式会社 ポストプロダクションチーム エディター 中垣 宏規氏 </p>
<p>CR-146 映画「太陽の塔」撮影の舞台裏</p> <p>16:00 - 16:45</p> <p>映像作家・映画監督 関根 光才氏 </p> <p>撮影監督・演出家 上野 千蔵氏 </p> <p>株式会社玄光社 コマーシャル・フォト編集部 荒井 努氏 </p>	<p>CR-156 日英同時通訳付 ディズニー「くるみ割り人形と秘密の王国」の 最新のVFX ~ MPCフィルムVFXスーパーバイザーが、 「くるみ割り人形と秘密の王国」で使われている 最新の最先端VFXについて語る Part1</p> <p>16:00 - 16:45</p> <p>MPC Film VFX Supervisor Max Wood氏 </p>	<p>CR-166 ハリウッドをしのぐスケールの 日中共同製作映画! 映画「空海-KU-KAI-美しき王妃の謎」の VFX秘話</p> <p>16:00 - 16:45</p> <p>株式会社オムニバス・ジャパン VFXスーパーバイザー 西田 裕氏 </p> <p>株式会社オムニバス・ジャパン CGスーパーバイザー 青山 寛和氏 </p>



INTER BEE CREATIVE MEET-UP

出展者／会場レイアウト



クリエイターが集うフェス開催! Let's Meet-Up, Let's Start Creating

Meet-up/Work Shopエリア

あの人と話したい、知り合って何かを始めてみたい、そういった来場者ニーズに応えた来場者と来場者を繋げる、来場者同士がネットワークを創り出す場を展開しました。

MEET-UPオリジナル企画「映像研究所」(VOOK LABO)

Inter BEEでローンチされる機材やプロダクト、ソフトウェアを、研究する場所としてMEET-UP内に「映像研究所」を開設しました。Inter BEEは展示される機材がものすごく多いので、どこをどのように見ればいいのか、というところが分からない方が多いと思います。また、それぞれのメーカーや機材ごとに展示しているため、その機材がどこでどのように使えるのか、が見えない部分があります。VOOK LABOでは、「映像研究所」を立ち上げ、メーカーや機材関係なく、制作者目線で、Inter BEEに出てる新しい機材を研究する場を作りました。

11月14日 VRの日 VR(360°Video)

渡邊課とコラボし、VR関係の機材を検証しました。

- 13:00▶14:00 海外VRカメラのトレンド&注目VRカメラ『Insta 360 2』『ObsidianS』のワークフロー
- 14:15▶15:00 45分でわかるInterBEEで注目のVR機材&周辺機材まとめ
- 16:00▶17:00 2018年に見ておくべきVR作品～VR作品をたくさん見て学ぼう～

11月15日 ポスプロの日 PostProduction & Premiere Pro User Group

Adobe Premiere Pro ユーザーグループとコラボ。

ソフトウェアや編集機材に特化コラボセミナーを行いました。

- 11:00▶13:00 Adobe User Group Meeting
- 13:30▶14:30 プティック系ポストプロダクションの作り方
- 14:45▶15:25 ポスプロワークフロー
- 15:30▶15:50 [ポストプロダクションとCinema4D]R20で何が変わったか?
- 16:00▶17:00 Boris FXプラグインアップデートデモンストレーション

11月16日 ビデオグラファァーの日 VIDEOGRAPHER & Next Filmmaker's Summit

カメラからレンズ、三脚など撮影系にフォーカス、さまざまな機材を検証しました。

- 13:00▶14:00 ミラーレス編(DSLR)
- 14:30▶15:30 シネマカメラ編
- 15:45▶16:30 映像拝見部 in Inter BEE



Hands On/コンテンツ体験エリア

動画撮影用カメラ、オーディオレコーダー、VRハングライダー、VRバイク等の体験展示コーナー。



- 【Hands on出展者】株式会社映像センター、株式会社シーンス、タスカム/ティアック株式会社、富士フイルム株式会社
- 【コンテンツ体験エリア】VRハングライダー(株式会社バルール)、VRバイク(有限会社プロトタイプ)

Fireside Chat – INTER BEE CREATIVE

INTER BEE CREATIVEの登壇者との交流の機会として、Fireside Chatを行いました。講演で聞くことのできなかった舞台裏のお話を聞き、Q&Aなど、より近い距離でスピーカーと交流することができました。

11月14日

- ◆MEDIA × CREATIVE: 最先端メディアが切り拓く新たなエンタテインメントの未来
- ◆映画監督をめざした先に～「カランコエの花」の監督にきく～

11月15日

- ◆DigiCon6 ASIA 第20回 開催記念セッション
- ◆「21世紀の映像(動画)人材の育て方」
- ◆出張 MOTION LOUNGE Part1,2
- ◆マイクロドローンがもたらす映像表現の未来



11月16日

- ◆今テレビ業界関係者が知るべきVR映像
- ◆先端映像技術への挑戦 <第3弾> ～HDR放送開始直前! HDR映像制作現場から(HLG編)～

Open Lounge – 緑の奥に砂浜が出現!

食事、休憩、待ち合わせ、多目的にお使いいただけるOpen Lounge。軽食やコーヒー等に加え、Inter BEE限定クラフトビール「INTER BEER」も提供しました。また、16日には聞くだけでInter BEE 2018早わかり! PRONNEWS BEACH RADIOの公開生放送&収録が行われました。



MEET-UP特別協力(五十音順)

鎌倉ビール醸造株式会社、公益社団法人国土緑化推進機構(フォレストサポーターズ)、株式会社stand up guy's、TACHIHI BEACH、DVJ Express「HOT SHOT」、株式会社花とみどり社、VOOK(株式会社アドワール)、PRONNEWS 月刊イベントマーケティング(株式会社MICE研究所)、株式会社ユーコム/株式会社ユニオンアルファ

INTER BEE ROKE-BENTO Grand prix

▶会場: 展示ホール5

今年も大盛況のロケ弁グランプリ

協力:ロケーションジャパン/ロケなび!

展示ホール5で開催したロケ弁グランプリは、12店舗が参加し今年も大盛況。各店がお弁当を並べ始めると、開催初日からたくさんのロケ弁ファンが会場に足を運び、お昼のピークを過ぎる頃には売り切れ店が続出した。Inter BEEのもうひとつの名物としてすっかり定着したロケ弁グランプリ。今年も3日間を通じて数多くの来場者の舌を楽しませた。

【人気投票結果/参加店】

◆グランプリ:SOMY'S DELI おべんとキッチン ◆準グランプリ:ドルフィン ◆第3位:銀座WORLD DINER
その他の参加店:GALETTE STAND TOKYO、キッチンひまわり、yokohama uotoki、アジア食堂アルト、SUNNY、ロケ弁当 Hungry、塩糰弁当 かもし堂、キッチン・プリランテ、四季



Result: Publication and Promotion

■ 広報活動(リリース配信実績)

*出展募集開始告知リリース(3/1)

*開催概要決定・入場事前登録開始(9/26)

*INTER BEE EXPERIENCE 概要決定(10/4)

*INTER BEE CONNECTED 概要決定(10/12)

*INTER BEE IP PAVILION 概要決定(10/25)

*INTER BEE IGNITION 概要決定(10/30)

*INTER BEE CREATIVE 概要決定(11/8)

*開幕告知リリース(11/13)

*プレスルーム設置(11/14~16)

*閉幕リリース(11/16)

■ プレス登録者数

433

名(うち海外12名)

■ 記事掲載(主な掲載実績)

掲載日	媒体名	内容
3/3	日刊放送ジャーナル	Inter BEE 2018 出展募集開始
3/6	映像新聞	Inter BEE 2018 出展募集開始
3/10	電波タイムズ	JEITA Inter BEE 2018 出展募集を開始
3/15	見本市展示会通信	Inter BEE 2018 出展募集説明会開く
4月号	VIDEO JOURnAL	Inter BEE 2018 出展募集を開始
5/21	映像新聞	デジタルコンテンツEXPO 2018 11月にInter BEEと同時開催
8月号	EVENT MARKETING	メディア総合イベントへ - Inter BEE 2018
9月号	Stage Sound Journal	INTER BEE EXPERIENCE 世界規模のSRスピーカー試験体験
9/28	電波新聞	Inter BEE 2018 4K・8K技術を展示 幕張メッセで11月14日-16日
10月号	月刊放送ジャーナル	Inter BEE 2018 11月14日から16日開催
10月号	APB (Asia-Pacific Broadcasting)	Inter BEE 2018 highlights the possibilities of new medeia
10月号	VIDEO JOURnAL	Inter BEE 2018 開催概要決定 入場事前登録/聴講予約開始
10月号	PRONews	Inter BEE 2018 開催概要決定
10/1	ビデオ通信	JEITA Inter BEE 2018の開催概要を発表
10/5	電波タイムズ	Inter BEE 2018 公式Web Siteで事前登録&聴講予約開始
10/9	週刊カメラタイムズ	Inter BEE 2018 幕張メッセで11月14日から3日間
10/10	日刊放送ジャーナル	今年も「INTER BEE EXPERIENCE」を「開催
10/15	家電流通新聞	INTER BEE EXPERIENCE 音に特化した体験型イベント SRスピーカー体験デモ等
10/17	電波タイムズ	メディアビジネスの最新動向を集約 Inter BEE CONNECTED概要決定
10/22	映像新聞	Inter BEE 2018 11月14日から開催「メディア総合イベント」に向け発展
10/29	電波タイムズ	Inter BEE 2018 初のIP実機接続デモを実施
11月号	NEW MEDIA	Inter BEE 2018 連続特集① 今、考えたい4K・8Kの重要論点
11月号	放送技術	Inter BEE 2018 11月14日から開催 出展者リスト・会場案内図
11月号	EVENT MARKETING	Inter BEE 2018 直前インタビュー コンテンツ・サービス切り口へ
11月号	FILM & DIGITAL TIMES	Inter BEE 2018 開催特集
11月号	B-maga	「Inter BEE 2018」開幕直前特集 新4K・8K衛星放送開始までのカウントダウン!
11月号	FDI (Full Digital Innovation)	Inter BEE 2018 特集
11/1	ビデオ通信	JEITA 14~16日に「Inter BEE 2018」開催
11/2	電波タイムズ	INTER BEE IGNITION VR・ARなど次世代の映像表現を発信
11/5	映像新聞	Inter BEE 2018 14日から開催 IP伝送などの特別企画が発表
11/5	電線新聞	Inter BEE 2018 新4K・8Kに傾注
11/12	映像新聞	Inter BEE 2018 開幕特集 11月14-16日 幕張メッセで開催
11/13	電波新聞	《電波時評》様変わりする今年の「Inter BEE」
12月号	SOUND DESIGNER	国際放送機器展「Inter BEE 2018」が幕張メッセで開催
12月号	宣伝会議	「Inter BEE 2018」11月14日-16日まで幕張メッセにて開催
12月号	NEW MEDIA	Inter BEE 2018の見どころ 「過去最大規模」のメディア総合イベント
11/14	電波新聞	「Inter BEE」きょう開幕 過去最高の1152社が披露
11/14	電波タイムズ	Inter BEE Special Interview 8Kで世界一の画質と音質を堪能
11/15	日経産業新聞(東京・大阪)	放送機器展示会「インタービー2018」4K8K機材と技術進化

■ 印刷媒体掲載記事数

	Inter BEE 2018
開催前	135件
開催中	25件
開催後	211件
合計	371件

※2019.1.30現在

掲載日	媒体名	内容
11/15	電波新聞	「Inter BEE」開幕 オープニングセッション 4K8K放送の方向性など示す
11/15	ビデオ通信	Inter BEE 2018 開幕
11/16	《共同配信記事》	千葉・きょうまで映像機器展 4Kスポーツ映像に臨場感 東奥日報/岩手日報/河北新報/山形新聞/千葉日報/大阪日日新聞/奈良新聞/伊勢新聞/日本海新聞 山口新聞/四国新聞/佐賀新聞/熊本日日新聞/宮崎日日新聞
11/16	電波タイムズ	「Inter BEE 2018」開幕 過去最多となる1152社が出展
11/19	映像新聞	Inter BEE 2018フォトレポート 4K8K放送時代が幕明け
11/21	電波新聞	「Inter BEE 2018」から(1) 新しいメディアの幕明け 4K8K衛星放送アピール
11/22	電波新聞	「Inter BEE 2018」から(2) 新しいメディアの幕明け
11/22	日刊放送ジャーナル	Inter BEE 2018開催 放送と通信の融合を展示とプレゼンテーションで提案
11/23	電波新聞	「Inter BEE 2018」から(3) 新しいメディアの幕明け
11/25	家電ニュース	Inter BEE 2018 過去最多の入場者4万強 4K8Kもアピール
11/26	映像新聞	Inter BEE 2018レポート FPGAで実現する柔軟構成/最新LEDディスプレイ競演
11/26	読売新聞 (東京/北海道/北陸・夕)	《Media Monitor》4K8K 認知目指した展示会
11/27	電波新聞	「Inter BEE 2018」から(4) 新しいメディアの幕明け
11/28	電波新聞	「Inter BEE 2018」から(5) 新しいメディアの幕明け
11/29	電波新聞	「Inter BEE 2018」から(6) 新しいメディアの幕明け
11/30	科学新聞	Inter BEE 2018 過去最多の出展社数、小間数、来場者数で閉幕
12月号	FDI (Full Digital Innovation)	《特別記事》Inter BEE 2018 開催速報
12月号	EVENT MARKETING	Inter BEE 2018 盛況のうち閉幕
12月号	月刊ネット販売	放送業界の現状と今後 - Inter BEE でも話題を集めた「5G」
12月号	VIDEO JOURnAL	Inter BEE 2018 閉幕
12/3	電波新聞	「Inter BEE 2018」から(7) 新しいメディアの幕明け
12/3	映像新聞	Inter BEE 2018レポート 新方式「JPEG XS」を初披露 IP環境下の素材伝送に対応
12/4	電波新聞	「Inter BEE 2018」から(8) 新しいメディアの幕明け
12/5	家電ニュース	Inter BEE 2018 登録入場者4万人超 4K8Kもアピール
12/7	電波タイムズ	Inter BEE 2018レポート 初日に基調講演開催 新4K8K衛星放送アピール
12/10	映像新聞	Inter BEE でアピール 新4K8K事業者トップ
12/11	週刊カメラタイムズ	国際放送機器展「Inter BEE 2018」4K・8K放送で活況
12/15	見本市展示会通信	Inter BEE フォーラム 規制緩和でPM実施しやすく
12/19	日刊工業新聞(東京・大阪)	4K8K放送機材 高機能型相次ぎ投入 市場拡大課題はコンテンツ
12/24	映像新聞	Inter BEE 2018レポート 多方面で「AI」を応用 中継では伝送品質が向上
1月号	NEW MEDIA	Inter BEE 会場レポート 見えてきた根幹から変わる放送技術
1月号	放送技術	《特集》「Inter BEE」フォトレポートスペシャル
1月号	ビデオSALON	Inter BEE 2018 Report 映像ジェットと8K HDR映像の祭典
1月号	SOUND DESIGNER	Inter BEE 2018 レポート(出展各社)
1月号	Sound & Recording Magazine	Inter BEE 2018 Report(出展各社)
1月号	Mac Fan	「Inter BEE 2018」に次世代の新技術が大集結!
1月号	月刊ネット販売	放送業界の現状と今後 - 期待値高まるeスポーツ
2月号	NEW MEDIA	《特集記事》新4K8K衛星放送「普及課題と可能性」

■ 国内テレビ放映 / ラジオ放送(主な放映/放送実績)

放送日	放送局	番組名
11月14日(火)	NHK	NHK NEWS
11月14日(火)	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト
11月14日(火)	BSフジ	プライムニュース
11月14日(火)	BSテレビ東京	日経プラス10
11月14日(火)	千葉テレビ	NEWSチバ600/ NEWSチバ930
11月14日(火)	Abema-TV	Abema News
11月14日(火)	ラジオ日本	岩瀬恵子のスマートNEWS
11月15日(木)	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト
11月15日(木)	NHK WORLD-JAPAN	NEWSLINE/ NEWSROOM TOKYO
11月17日(土)	フジテレビ	新・週刊フジテレビ批評

■ 海外テレビ放映(主な放映実績)

放送日	放送局	番組名
11月15日(木)	NHK WORLD/jitv	NEWSLINE
11月15日(木)	NHK WORLD/jitv	NEWSROOM TOKYO

■ Inter BEE Official Mail Magazine

過去の来場者データベースおよび、2018年の事前登録者に向けて、「Inter BEE OFFICIAL MAIL MAGAZINE」を配信。

約 **103,000** 件 **26** 回配信
※情報配信可能なデータ件数

■ Inter BEE 公式 Website

◆ サイト訪問数: **240,013** 件
(11月1日~30日)

Inter BEE Online Magazineでは、年間を通じてInter BEE出展者情報のもとより、関連展示会や業界最新ニュースなど、話題性の高い情報をいち早くキャッチアップして配信しています。

出展者事前取材記事: **27** 本
 会場取材ビデオオンデマンド: **162** 本
 (Inter BEE TV)



■ 公式Facebook

◆ 会期終了直後の「いいね!」数:
4,859 件 (対前年比 **108%**)

◆ Facebookページから公式Websiteへのアクセス数:
8,682 件

■ 公式Twitter

◆ Twitterフォロワー数 (最大):
1,519 件 (対前年比 **133%**)

■ 公式Instagram

◆ Instagramフォロワー数 (開催時):
462 件 (同年9月比 **375%**)



■ 広告掲載(国内)

発行日	掲載紙誌	発行日	掲載紙誌
4/9, 10/24, 11/5	映像新聞	11/1	映画テレビ技術
4/15, 9/15	ビデオジャーナル	11/1	サウンド&レコーディング・マガジン
4/1, 10/20	月刊 放送ジャーナル	11/6	SOUND DESIGNER
5/1, 10/1, 11/1	月刊「フルデジタル・イノベーション」(FDI)	11/7	月間民放
5/18, 9/18	PROSOUND	11/10	FORN
6/1, 11/1	月刊 ニューメディア	11/13, 11/14	日経産業新聞
9/15	ロケーションジャパン	11/14	日刊 電波新聞
9/28	月刊 放送技術	11/14	電波タイムズ
9/30	Stage Sound Journal	11/14	HOT SHOT
10/10	月刊「CGWORLD + digital video」	11/14	PRN Magazine
10/20	月刊「ビデオサロン」		

■ 広告掲載(海外)

発行日	掲載紙誌	発行日	掲載紙誌
4/21, 10/1	APB (Asia Pacific Broadcasting)	9/15	IBC DAILY NEWS
4/9, 4/10, 4/11	NAB DAILY NEWS	10/17	etnews (Korea IT NEWS)
5/1-5/31 10/1-10/31	科訊ネット(WEB/バーナー/中国語圏)		

■ メディアパートナー

関連業界紙誌にはメディアパートナーとしてInter BEEをサポートいただき、多くの出展者の記事を掲載いただいています。



Result: Visitor Profile

日別登録来場者数

	11/14(水)	11/15(木)	11/16(金)	合計
国内登録来場者数	13,999	12,892	13,177	40,068
海外登録来場者数	526	137	108	771
合計	14,525	13,029	13,285	40,839

過去最多 /
登録来場者数：**40,839**名

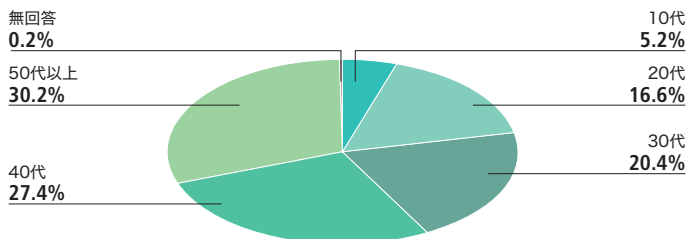
登録来場者数の内訳

エリア	国・地域数 / 来場者数	国・地域別の来場者数
日本国内	1カ国 / 40,068名	日本 40,068名
アジア地域	11カ国・地域 / 647名	韓国 310名 / 中国 125名 / 台湾 90名 / タイ 32名 / インドネシア 29名 / 香港 28名 / シンガポール 20名 / フィリピン 6名 / マレーシア 3名 / ベトナム 2名 / インド 2名
北中南米地域	2カ国・地域 / 54名	アメリカ合衆国 45名 / カナダ 9名
大洋州地域	2カ国・地域 / 10名	オーストラリア 7名 / ニュージーランド 3名
中東・アフリカ地域	1カ国・地域 / 1名	南アフリカ 1名
ヨーロッパ地域	11カ国・地域 / 25名	ドイツ 7名 / イギリス 5名 / フランス 4名 / イタリア 2名 / スペイン 1名 / デンマーク 1名 / ベルギー 1名 / スウェーデン 1名 / チェコ 1名 / 他 2名
不明		34名
	28ヶ国・地域	40,839名

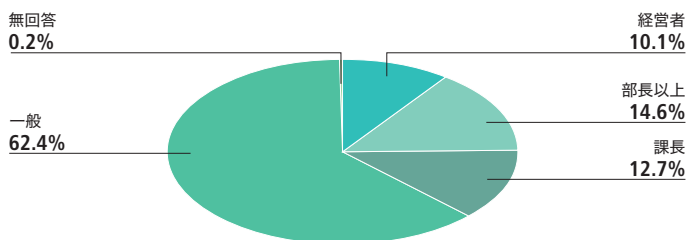


来場者の属性

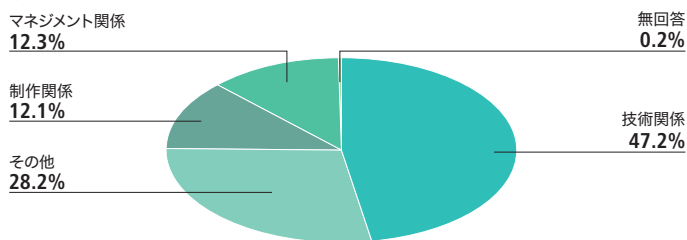
◆年代



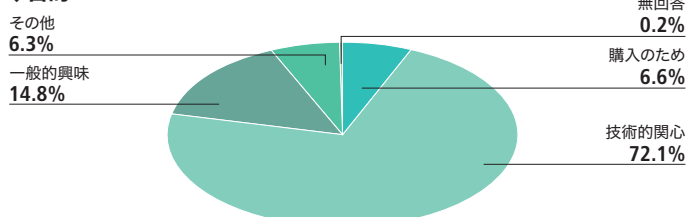
◆職階



◆職種



◆目的



◆業種

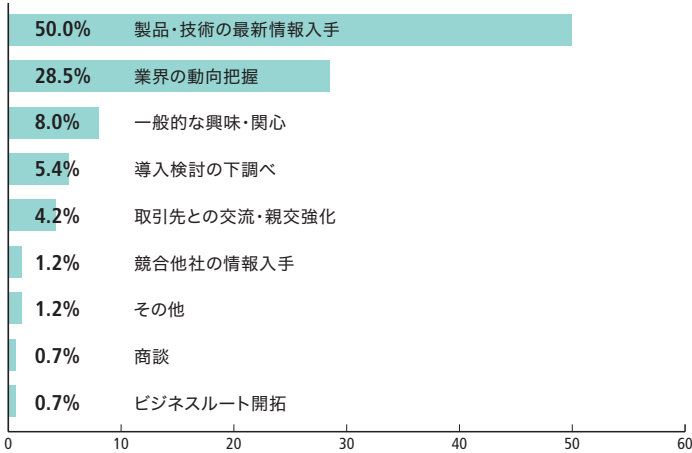
放送機器メーカー	12.0%	通信事業者	3.3%
その他ユーザ	9.4%	インターネット関連	3.3%
民間放送テレビ局	9.0%	舞台・演出・美術・照明関連	2.7%
その他ゲスト	8.7%	CATV関係	2.1%
学生	7.8%	官公庁・団体	2.0%
ポストプロダクション	6.7%	施設・店舗関係	1.5%
映画・映像制作会社	5.9%	コンテンツ配信事業者	1.3%
商社	5.7%	広告代理店	1.3%
コンテンツ制作関連	4.0%	ビデオソフト制作会社	0.7%
プロダクション	3.9%	民間放送ラジオ局	0.7%
PA関係	3.9%	レコード制作会社	0.5%
NHK	3.4%	無回答	0.2%

◆関心(複数回答)

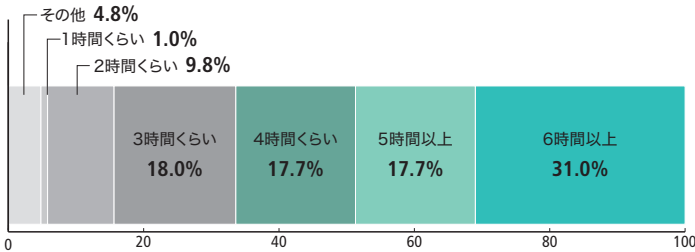
映像機器全般	53.4%	マイクロホン	9.8%
オーディオ機器全般	31.6%	VTR・メモリアード・光ディスク	8.2%
カメラ	25.2%	送出システム	7.9%
編集・制作装置	16.9%	送信システム	8.5%
VR、AR、3D	18.1%	マルチメディアシステム	7.0%
映像モニタ	15.1%	各種特機・周辺製品	6.8%
デジタルコンテンツ	13.9%	照明機器	7.5%
スピーカ	10.8%	デジタルシネマ	6.5%
パブリックビューイング、プロジェクトマッピング、デジタルサイネージ	12.4%	測定機器	5.1%
サーバ・ストレージ	9.4%	OTT、SNS、セカンドスクリーン関連	4.5%
ソフトウェア	10.6%	制作管理システム	4.4%
ミキサ	10.2%	美術・舞台演出関連	4.2%
中継システム	10.1%	電源装置	3.1%
クラウドサービス関連	10.2%	その他	4.1%

来場者アンケート

◆『Inter BEE 2018』にご来場された目的を教えてください。
(複数回答)

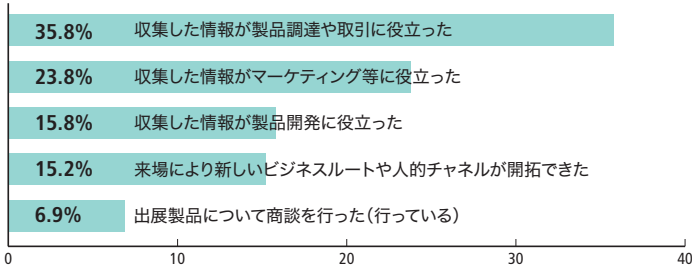


◆『Inter BEE 2018』で過ごされた時間を教えてください。

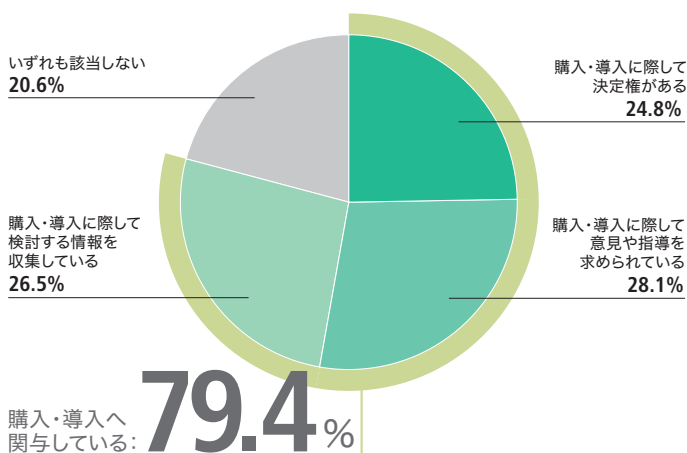


66.4%の人が**4時間以上**滞在

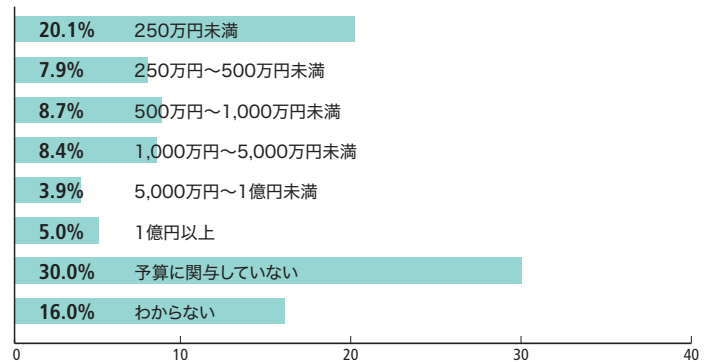
◆『Inter BEE 2018』を見学して、その後のビジネスに役立ちましたか。(複数回答)



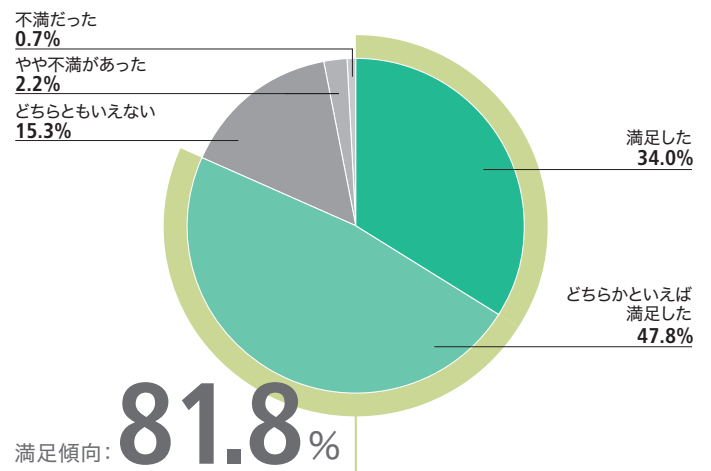
◆御社での製品・サービスの購入・導入にあたって、あなたはどの程度関与されていますか。



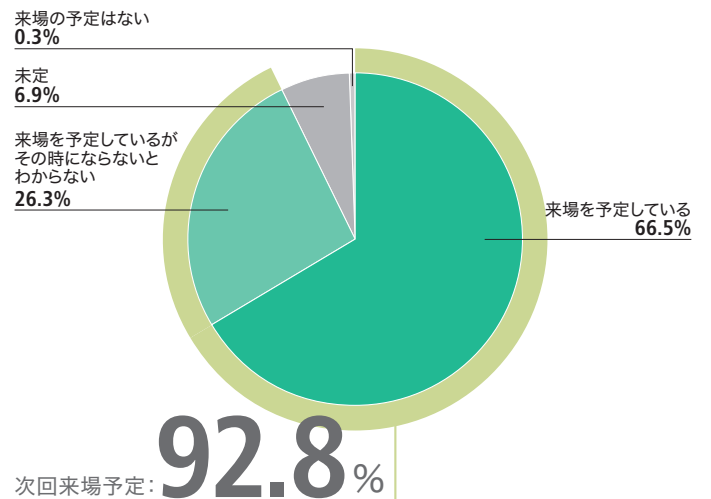
◆あなたが関与する製品・サービスの購入・導入に対する予算は、おおよそ年間いくらくらいですか。



◆Inter BEE 2018 全体を通して、どの程度満足しましたか。



◆次回の『Inter BEE 2019』にご来場いただけますか。



Result: Exhibitor Profile

■ 出展者数

展示部門	出展者数	小間数
プロオーディオ部門	333 社	402 小間
映像表現/プロライティング部門	50 社	67 小間
映像制作/放送関連機材部門	642 社	1,412 小間
ICT/クロスメディア部門	127 社	173 小間
合計	1,152 社	2,054 小間

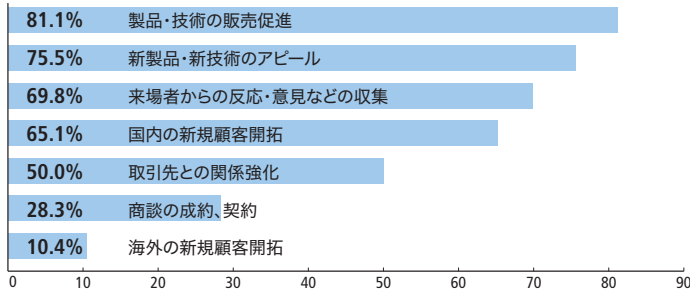
■ 登録出展者数の内訳

エリア	国・地域数/出展者数	国・地域別の出展者数
日本国内	1カ国/506社	日本506
アジア地域	6カ国・地域/116社	中国50/韓国28/台湾33/ インド1/香港3/マレーシア1
北中南米地域	3カ国・地域/229社	アメリカ210/カナダ18/ブラジル1
大洋州・中東・ アフリカ地域	3カ国・地域/18社	オーストラリア8/ニュージーランド1/ イスラエル9
ヨーロッパ地域	22カ国・地域/283社	ドイツ72/イギリス77/フランス24/ オランダ15/イタリア16/スウェーデン12/ スイス12/スペイン11/ベルギー7/ デンマーク7/ノルウェー4/オーストリア5/ ブルガリア4/フィンランド2/ハンガリー 2/ ラトビア2/トルコ4/ポルトガル1/ロシア 2/ リヒテンシュタイン1/スロバキア2/他1
	35カ国・地域	1,152社

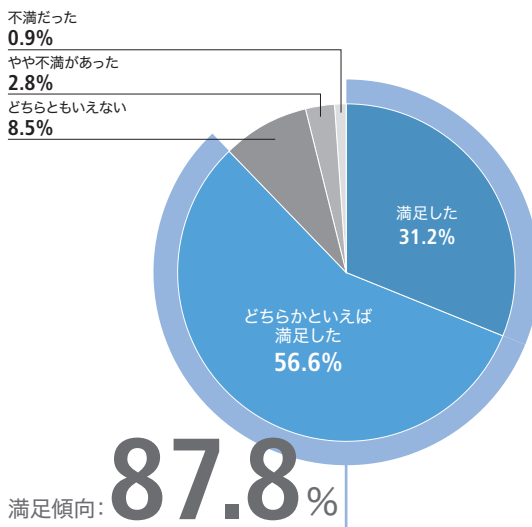
出展国・地域数: **35** カ国・地域
 海外出展者数: **646** 社

■ 出展者アンケート

◆ 出展した目的 (複数回答)



◆ 今回の目的達成の満足度

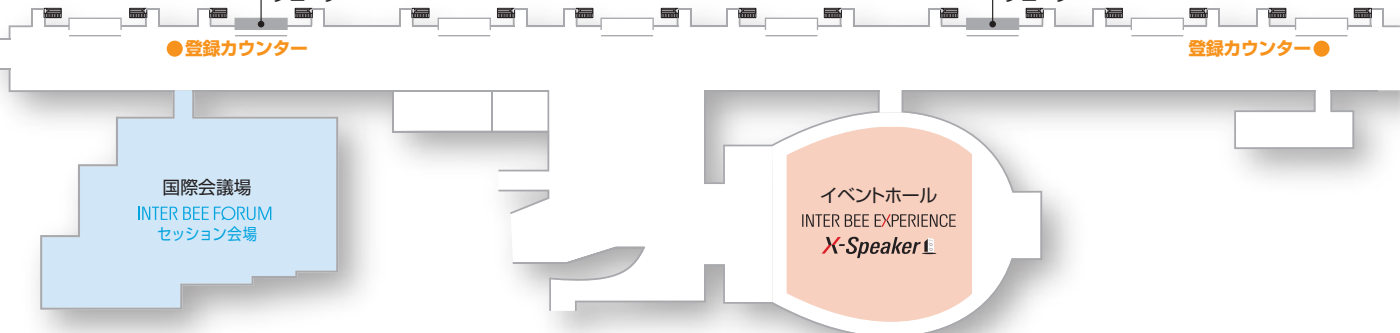


■ 会場構成

1F



2F



Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2018

開催概要

- 名 称 -----
Inter BEE 2018
(第54回)2018年国際放送機器展
International Broadcast Equipment Exhibition 2018
- 会 期 -----
11月14日(水) 10:00 ~ 17:30 (※10:00 ~ 17:50)
11月15日(木) 10:00 ~ 17:30 (※10:00 ~ 18:00)
11月16日(金) 10:00 ~ 17:00 (※10:00 ~ 17:10)
※印はイベントホールでのX-Speaker(スピーカー体験)実施時間
- 会 場 -----
幕張メッセ
展示ホール1 ~ 8・国際会議場・イベントホール
- 入 場 -----
無料(全来場者登録入場制)
- 主 催 -----
一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)
- 後 援 -----
総務省、経済産業省(建制順)
NHK
一般社団法人日本民間放送連盟(JBA)
一般社団法人電波産業会(ARIB)
一般財団法人デジタルコンテンツ協会(DCAJ)
一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)(順不同)

- 協 力 -----
IPDCフォーラム、一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人衛星放送協会、
特定非営利活動法人映像産業振興機構、一般社団法人映像情報メディア学会、
一般社団法人映像配信高度化機構、公益社団法人映像文化製作者連盟、
一般社団法人カメラ映像機器工業会、公益社団法人劇場演出空間技術協会、
一般財団法人最先端表現技術利用推進協会、3Dコンソーシアム、
全国舞台テレビ照明事業協同組合、先進映像協会 日本部会、
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、
一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム、一般社団法人デジタルメディア協会、
一般財団法人電波技術協会、一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構、
一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会、協同組合日本映画撮影監督協会、
一般社団法人日本映画テレビ技術協会、協同組合日本映画テレビ照明協会、
一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会、
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本CATV技術協会、
公益社団法人日本照明家協会、一般社団法人日本動画協会、
一般社団法人日本パブリックビューイング協会、
NPO法人 日本ビデオコミュニケーション協会、一般社団法人日本舞台音響家協会、
日本舞台音響事業協同組合、一般社団法人日本ポストプロダクション協会、
一般財団法人プロジェクトマッピング協会、マルチスクリーン型放送研究会、
一般社団法人モバイルブロードバンド協会

- グローバルパートナー -----
- 

- 運 営 -----
一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会(JESA)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
電話：(03)6212-5231

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2019

11.13 水 ≫≫≫ 15 金 幕張メッセ

WHAT WILL YOU DO NEXT?

新たなメディアの可能性を世界に伝えよう。

#interbee2019



Broadmedia & Entertainment
Inter BEE



■主催：**JEITA** 一般社団法人 電子情報技術産業協会

■お問い合わせ：

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会 (JESA)

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル5階

電話：(03)6212-5231 FAX：(03)6212-5225